

平成 2 4 年 度

植 物 防 疫 事 業 年 報

平 成 2 5 年 3 月

京 都 府 病 害 虫 防 除 所

京 都 府 亀 岡 市 余 部 町 和 久 成 9

T E L 0 7 7 1 - 2 3 - 9 5 1 2

はじめに

病虫害防除所の事業実施に当たりまして、農家や関係機関の皆様にはご指導、ご協力いただき、厚くお礼申し上げます。このたび、本年度に発表しました病虫害発生予報、注意報、月報や毎月の巡回調査結果等をまとめ、平成24年度病虫害防除所植物防疫年報として発行いたしましたので皆様の業務の資料となれば幸いです。

さて、24年の気象は、概して気温の変動が大きく、1月から2月にかけて顕著な低温、7月には京都市・亀岡市で大雨、8月には宇治市を中心に豪雨となり大きな被害が出ました。また、8月から10月の高温、10月から11月に多雨となりました。

一方、病虫害の発生状況ですが、24年度は病虫害の大きく目立った発生はありませんでした。しかし、水稻では、セジロウンカ、斑点米カメムシはやや多い発生で、昨年発生を確認したミナミアオカメムシは越冬を確認しました。豆類では吸実性カメムシ類がやや多い発生でした。茶ではチャノホソガが山城で多発、チャノコカクモンハマキ、チャノミドリヒメヨコバイ、ツマグロアオカスミカメがやや多い発生でした。また、果樹ではナシにクワオオハダニが多発、で炭そ病、カメムシ類、チャノキイロアザミウマが多発しました。野菜ではナスにハダニがやや多くなり、春キャベツでは菌核病、冬キャベツでヨトウガ類が平年比やや多い発生でした。

京都府では、「人と環境にやさしい農業プラン」で環境にやさしい農業の生産拡大を目指しており、病虫害発生予察事業の重要性が更に高くなっております。そのため、引き続き迅速な発生予察情報の提供と精度の向上に努めて参りたいと考えています。今後とも、防除所業務に対してご理解とご支援を関係者の皆様をお願いいたします。

京都府病虫害防除所長

天 野 久

目 次

病虫害防除所の概要

沿革・所管業務・体制	1
------------	---

業務の概要

I 農作物病虫害発生予察事業の実施	
(I) 発生予察事業の実施概要	2
1 調査地点及び施設	2
2 調査対象病虫害の種類	6
3 発生予察情報等の概要	9
(II) 病虫害の発生予察と発生状況	10
1 発生予察調査の結果	10
1) 巡回調査の結果	10
(1)水稲 (2)麦類 (3)黒大豆 (4)小豆 (5)カンキツ (6)ナシ (7)ブドウ	
(8)カキ (9)茶樹 (10)キュウリ (11)トマト (12)ナス (13)トウガラシ	
(14)キャベツ (15)ダイコン (16)カブ (17)ミズナ・ミブナ	
(18)ハウレンソウ (19)ネギ	
2) 予察灯・誘引剤トラップ・黄色水盤による調査の結果	48
(1)予察灯の調査結果 (2)誘引剤トラップの調査結果 (3)黄色水盤の調査結果	
2 病虫害発生予察情報の内容	65
3 対象病虫害の発生状況	76
II 重要病虫害侵入警戒調査の実施	81
III 調査・試験の結果	82
1 京都府におけるミナミアオカメムシの分布	82
2 京都府におけるミナミアオカメムシの発生活消長	84
3 水稲移植直後のコバネイナゴ被害が生育および収量に及ぼす影響	86
4 麦類赤かび病菌子のう胞子の飛散状況調査	88
5 フェロモントラップによるホソヘリカメムシの発生活消長調査	90
6 京都府のアズキにおける子実害虫の種構成	92
7 アズキのチョウ目害虫に対する各種薬剤の防除効果	94
8 フェロモントラップによるナシのモモシクイガの発生活消長調査	96
9 赤色ネットの被覆による葉ネギのアザミウマ防除	98
10 簡易検定法によるネギアザミウマの殺虫剤感受性試験	100
11 プラタナスグンバイに対するマンデロニトリルの殺虫効果	102
IV 緊急防除等に係る協力・指導の実施	104
V 情報提供サービスの実施	
(I) 情報提供の概要	104
(II) 情報の内容と利用の状況	105
VI 病虫害調査協力員の活動状況	107
VII 会議・講演・研修等の実施	108
VIII 普及センター等との連携の推進	110
参考資料	
I PM実践指標	111
平成24年の半旬別気象表・グラフ	114

病虫害防除所の概要

I 沿革

- ◎ 昭和27年4月1日
植物防疫法第32条第1項及び京都府条例第18号に基づき、府内13か所（京都府庁及び各地方事務所）に病虫害防除所を設置し、植物防疫業務を開始した。
- ◎ 昭和50年10月1日
京都府植物防疫法施行条例の一部改正（昭和50年7月18日条例第29号）に基づく機構改革により、山城（田辺町：山城地域5防除所）、丹波（亀岡市：丹波地域5防除所）、丹後（弥栄町：丹後地域3防除所）の3病虫害防除所に統合設置された。
統合に伴い従来の防除所業務が見直され、農薬取締業務は地方事務所が、農薬安全使用指導は農業改良普及所が分担することとなり、発生予察が防除所の主業務とされた。
- ◎ 昭和61年8月1日
京都府植物防疫法施行条例の一部改正（昭和61年7月25日条例第22号）に基づく機構改革により、京都府病虫害防除所（亀岡市：農業総合研究所内（現農林水産技術センター））に統合設置され、当面の措置として北部駐在室（弥栄町：丹後農業研究所内）が設置された。
- ◎ 平成5年4月1日
北部駐在室が廃止された。
- ◎ 平成12年4月1日
京都府病虫害防除所の設置根拠条例であった京都府植物防疫法施行条例が廃止され、新たに京都府行政機関設置条例に基づき、設置されることとなった。

II 所管業務

- 1 農作物病虫害発生予察事業に関すること。
- 2 植物防疫推進事業の実施に関すること。
- 3 緊急防除等に係る協力・指導に関すること。
- 4 情報提供サービスの実施に関すること。
- 5 農薬指導・取締に関すること。
- 6 病虫害調査協力員の活動に関すること。
- 7 病虫害の診断・指導に関すること。

III 体制

(I) 京都府における調査機関等

職名	京都府病虫害防除所					協力機関名
	所長	主任研究員	主査	副主査	計	
人数	1人	2人	1人	1人	5人	農林センター、茶業研究所 丹後農業研究所、農業大学校 農産課

(II) 病虫害調査協力員

所属する団体等	市町村	農業協同組合	農業共済組合	農業者	その他	計	備考
設置人数	—	23人	—	—	—	23人	

業 務 の 概 要

I 農作物病害虫発生予察事業の実施

有害動植物の発生状況を調査し、予察情報を関係機関等に提供することにより適期に、かつ効率的な防除に役立てるとともに、農作物の被害防止と環境保全を図ることを目的とし、植物防疫法及び植物防疫事業実施要領に基づいて病害虫発生予察事業を行う。

(I) 発生予察事業の実施概要

1 調査地点及び施設

1) 予察ほの設置

区 分	対象作物	設 置 場 所	担 当
普通作物	水 稲	亀岡市余部町（農林センター）	防除所
	〃	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	防除所
	〃	京田辺市薪	防除所
	麦	亀岡市余部町（農林センター）	防除所
	大 豆	亀岡市余部町（農林センター）	防除所
〃	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	防除所	
果 樹	ナ シ	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	防除所
	ブ ド	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	防除所
	カ キ	京都市西京区大枝	防除所
茶 樹	茶 樹	宇治市白川（茶業研究所）	茶 研
	〃	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	防除所
野 菜	キュウリ	京都市伏見区深草	防除所
	ト マ ト	久御山町東一口	防除所
	ナ ス	京田辺市興戸	防除所
	〃	京都市西京区大原野	防除所
	キャベツ	京都市南区吉祥院	防除所
	ダイコン	木津川市梅谷	防除所
	ホウレンソウ	久御山町坊之池	防除所
	ネ ギ	京都市伏見区淀	防除所

2) 予察灯等の設置

(1) 設置場所及び種類

設 置 場 所	種 類	対 象 病 害 虫	担 当
京田辺市薪 （府営水道ポンプ 場）	乾式日別予察灯(60W)(BL) フェロモントラップ	別表のとおり ハスモンヨトウ、果樹カメムシ 類、タバコガ、オオタバコガ、 シロイチモジヨトウ、ニカメイ ガ、フタオビコヤガ	防除所 防除所

設置場所	種類	対象病虫害	担当者
宇治市白川 (茶業研究所)	フェロモントラップ	チャノホソガ、チャノコカク モンハマキ	茶 研
亀岡市余部町 (農林センター)	乾式日別予察灯(60W) (BL) フェロモントラップ 黄色水盤	別表のとおり コナガ、ハスモンヨトウ、 果樹カメムシ類、タバコガ、 オオタバコガ、ヨトウガ、カ ブラヤガ、ニカメイガ、フタ オビコヤガ アブラムシ類	防除所 防除所 農林セ
綾部市位田町 (農 大)	フェロモントラップ	チャノホソガ、チャノコカク モンハマキ	農 大
京丹後市弥栄町黒 部 (丹後農研)	乾式日別予察灯(60W) (BL) フェロモントラップ	別表のとおり コナガ、ハスモンヨトウ、果 樹カメムシ類、タバコガ、オ オタバコガ、チャノホソガ、 チャノコカクモンハマキ、ニ カメイガ、フタオビコヤガ	防除所 防除所

[別表] 乾式日別予察灯の調査対象害虫

光源の種類	害虫の区分	対 象 害 虫 名
60W (白熱灯)	ウンカ・ヨ コバイ類	ヒメトビウンカ、セジロウンカ、トビイロウンカ、ツマグロ ヨコバイ
	カメムシ類	アオクサカメムシ、ツヤアオカメムシ、ミナミアオカメム シ、チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、イチモンジカ メムシ、イネクロカメムシ、クモヘリカメムシ、シラホシカ メムシ、トゲシラホシカメムシ、アカヒゲホソミドリカスミ カメ、アカスジカスミカメ、ツマグロアオカスミカメ
	蛾 類	フタオビコヤガ、ニカメイガ、コナガ、シロオビノメイガ
	そ の 他	イネミズゾウムシ
ブラック ライト (蛍光灯)	コガネムシ 類	ドウガネブイブイ、クロコガネ、ヒメコガネ、アカビロウド コガネ
	カメムシ類	チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメム シ、ミナミアオカメムシ
	蛾 類	ゴマフボクトウ

3) 巡回調査地点

(1) 水稻 (30地区/30か所)

山城地域	南丹地域	中丹地域	丹後地域
京都市伏見区向島 京都市西京区大原野 八幡市内里 木津川市加茂町大野 久御山町佐古 精華町祝園	京都市右京区京北下弓削町 亀岡市本梅町平松 亀岡市余部町 南丹市美山町島 南丹市八木町水所 南丹市園部町黒田 京丹波町蒲生 京丹波町井脇 京丹波町安栖里	舞鶴市丸田 福知山市半田 福知山市長田 福知山市夜久野 町今西中 福知山市大江町 河守 綾部市石原町	宮津市日置 京丹後市大宮町森本 京丹後市峰山町長岡 京丹後市網野町木津 京丹後市丹後町竹野 京丹後市弥栄町黒部 京丹後市久美浜町芦原 伊根町本庄上 与謝野町加悦

* 調査地点は、作付面積が概ね500haに1点を設置。

(2) 麦 (5地区/10か所)

山城地域	丹波地域	丹後地域
—	(小麦) 福知山市半田 綾部市私市 (二条) 亀岡市河原林町 亀岡市本梅町平松 (六条) 南丹市美山町鶴ヶ岡	—

(3) 豆類 (大豆: 4地区/8か所、小豆: 4地区/8か所)

作物名	山城地域	丹波地域	丹後地域
黒大豆	—	福知山市夜久野町大油子 京丹波町富田、安栖里	京丹後市久美浜町品田
小豆	—	舞鶴市久田美 福知山市半田 綾部市私市 南丹市園部町若森	—

* 調査地点は、作付面積が概ね50ha以上の市町村に設置。

(4) 果樹 (11地区/21か所)

作物名	か所	山城地域	丹波地域	丹後地域
カンキツ	3	—	—	宮津市石浦
ナシ	10	八幡市内里	—	京丹後市網野町俵野 京丹後市久美浜町 平田、箱石、三分、浦明、大井

作物名	か所	山城地域	丹波地域	丹後地域
ブドウ	5	京都市山科区勸修寺	福知山市三和町大身	—
カキ	3	京都市西京区大枝	—	—

* 調査地点は、作付面積が概ね10ha以上の市町村に設置。

(5) 茶樹 (15地区/30か所)

山城地域	丹波地域	丹後地域
宇治市白川、宇治市伊勢田、宇治市五ヶ庄 城陽市上津屋 京田辺市飯岡 木津川市加茂町例幣 宇治田原町湯屋谷、宇治田原町南 和束町石寺、和束町湯船、和束町杣田	舞鶴市志高 福知山市土 綾部市小西町	京丹後市 久美浜町永留

(6) 野菜 (30地区/57か所)

作物名	か所	山城地域	丹波地域	丹後地区
キュウリ	9	[露地] 京都市伏見区深草 宇治田原町禅定寺 禅定寺 [施設] 京都市伏見区向島 久御山町東一口 八幡市内里	—	—
トマト (施設)	5	京都市伏見区向島 久御山町東一口	亀岡市篠町	—
ナス	8	京都市西京区大原野 八幡市野尻、岩田 京田辺市興戸 久御山町坊之池	—	—
トウガラシ (施設)	5	精華町祝園	舞鶴市三日市、地頭 南丹市園部町黒田	—
キャベツ	6	京都市南区吉祥院 京都市西京区牛ヶ瀬	—	—
ダイコン	3	木津川市梅谷	—	—
カブ	4	—	京都市右京区京北矢代中町 亀岡市篠町	—

作物名	か所	山城地域	丹波地域	丹後地区
ミズナ (施設)	3	—	京都市右京区京北田貫町 京丹波町安栖里、角	—
ミブナ (施設)	2	—	南丹市日吉町田原、殿田	—
ホウレンソウ	4	京都市西京区牛ヶ瀬 久御山町坊之池	—	—
ネギ	8	京都市伏見区淀 京都市西京区牛ヶ瀬	—	—

* 調査地点は、作付面積が果菜類では概ね10ha以上、その他の野菜では概ね20ha以上の産地に設置。

2 調査対象病害虫の種類

作物	指定病害虫	指定外病害虫	
普通作物	水稲	いもち病、紋枯病、セジロウンカ、トビイロウンカ、ヒメトビウンカ、ツマグロヨコバイ、コブノメイガ、ニカメイガ、斑点米カメムシ類、イネミズゾウムシ	苗立枯病、馬鹿苗病、籾枯細菌病、白葉枯病、縞葉枯病、イネクロカメムシ、フタオビコヤガ、イチモンジセセリ、イネドロオイムシ、スクミリンゴガイ、コバネイナゴ
	麦類	赤かび病	
	大豆	吸実性カメムシ類、アブラムシ類、ハスモンヨトウ	べと病、葉焼病、モザイク病、フタスジヒメハムシ、ハダニ類、サヤムシガ類
	小豆		モザイク病、さび病、炭そ病、うどんこ病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、マメノメイガ、アズキノメイガ、サヤムシガ類、ハダニ類、オオタバコガ
果樹等	カンキツ	そうか病、黒点病、かいよう病、ハダニ類、カメムシ類	カイガラムシ類、ミカンハモグリガ
	ナシ	黒斑病、黒星病、カメムシ類、ハダニ類、シンクイムシ類	赤星病、うどんこ病、アブラムシ類
	ブドウ	べと病	フタテンヒメヨコバイ、ハダニ類
	カキ	カキノヘタムシガ、カメムシ類	炭そ病、うどんこ病、円星落葉病、角斑落葉病、アザミウマ類、フジコナカイガラムシ

作物		指定病虫害	指定外病虫害
果樹等	茶樹	炭そ病、ハダニ類、ハマキムシ類	もち病、網もち病、輪斑病、灰色かび病、新梢枯死症、チャノミドリヒメヨコバイ、クワシロカイガラムシ、チャノホソガ、チャノキイロアザミウマ、ツماغロアオカスミカメ、コミカンアブラムシ、チャトゲコナジラミ
	キュウリ	べと病、うどんこ病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ	斑点細菌病、炭そ病、褐斑病、モザイク病、アザミウマ類、ハダニ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類、ワタヘリクロノメイガ
野	トマト	疫病、灰色かび病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ	葉かび病、うどんこ病、モザイク病、アザミウマ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類
	ナス	うどんこ病、灰色かび病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ	褐色腐敗病、すすかび病、褐色円星病、アザミウマ類、ハダニ類、オオタバコガ、ハモグリバエ類
	トウガラシ		うどんこ病、斑点病、モザイク病、アブラムシ類、ハダニ類、アザミウマ類、ハスモンヨトウ、タバコガ
菜	キャベツ	菌核病、黒腐病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、コナガ	べと病、ヨトウガ、モンシロチョウ、ウワバ類
	ダイコン	アブラムシ類、ハスモンヨトウ、コナガ	白さび病、黒斑細菌病、モザイク病、ハイマダラノメイガ
	カブ		軟腐病、べと病、黒斑病、白斑病、白さび病、アブラムシ類、コナガ、ハモグリバエ類
	ミズナ ミブナ		コナガ、キスジノミハムシ
	ホウレンソウ	アブラムシ類、ハスモンヨトウ	べと病、ヨトウガ、シロオビノメイガ
	ネギ	さび病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ	黒斑病、ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ、シロイチモジヨトウ

参考：指定有害動植物発生予察事業の対象とする指定有害動植物

1 指定有害動物（55種類）

- (1)いちご、きく、キャベツ、きゅうり、さといも、すいか、だいこん、大豆、たまねぎ、トマト、なす、にんじん、ねぎ、はくさい、ピーマン、レタス、ばれいしょ及びほうれんそうのアブラムシ類
- (2)イネミズゾウムシ
- (3)カキノヘタムシガ
- (4)かき、かんきつ、キウイフルーツ、なし、びわ及びもものカメムシ類
- (5)カンシャコバネナガカメムシ
- (6)大豆の吸実性カメムシ類
- (7)コナガ
- (8)コブノメイガ
- (9)すもも、なし、もも及びりんごのシンクイムシ類
- (10)セジロウンカ
- (11)ツマグロヨコバイ
- (12)トビイロウンカ
- (13)ニカメイガ
- (14)ハスモンヨトウ
- (15)おうとう、かき、かんきつ、茶、なし、もも及びりんごのハダニ類
- (16)かき、かんきつ、茶、なし、ぶどう、もも及びりんごのハマキムシ類
- (17)斑点米カメムシ類
- (18)ヒメトビウンカ

2 指定有害植物（30種類）

- (1)いちご、きゅうり、トマト、なす及びレタスのはいろいろかび病菌
- (2)いねいもち病菌
- (3)いねもんがれ病菌
- (4)かんきつかいよう病菌
- (5)かんきつこくてん病菌
- (6)かんきつそうか病菌
- (7)きくしろさび病菌
- (8)キャベツ及びレタスのきんかく病菌
- (9)キャベツくろぐされ病菌
- (10)きゅうり、なす及びピーマンのうどんこ病菌
- (11)きゅうりべと病菌
- (12)たまねぎ及びねぎのさび病菌
- (13)茶たんそ病菌
- (14)トマト及びばれいしょのえき病菌
- (15)なしくろほし病菌
- (16)なしこくはん病菌
- (17)ぶどうべと病菌
- (18)むぎあかかび病菌類
- (19)むぎうどんこ病菌類
- (20)ももせんこうさいきん病菌
- (21)りんごはんてんらくよう病菌

3 発生予察情報等の概要

種 類	発 表 時 期	発 表 内 容	主 な 提 供 方 法 ・ 提 供 先 (提 供 数)
予 報	2月～10月 の各月1回	本誌のⅠの(Ⅱ)の2 に記載	<ul style="list-style-type: none"> ・府行政支援ネット送信(約30) 地方振興局・普及センター、研究機関 ・JPPネット送信(一) 国・他府県関係 ・FAX送信(約110) 市町村・農業協同組合・その他 ・冊子送付(約100) 国出先機関、報道機関、定点農家 ・メール送信(約5) ・ホームページに掲載
警 報	発表なし		
注意報	7月13日	果樹全般 果樹カメムシ類	予報と同じ
特殊報	発表なし		
技 術 情 報 (防除所ニュー ース)	4月2日 4月3日 7月25日 7月26日 9月26日 11月2日	第1号：麦類 赤かび病情報 第2号：果樹カメムシ類情報 第3号：水稻 斑点米カメムシ類情報 第4号：ダイズ サヤムシガ類情報 第5号：アズキ マメノメイガ、オオタバコガ情報 第6号：ネギアザミウマ殺虫剤感受性試験情報	<ul style="list-style-type: none"> ・府行政支援ネット送信 (約30) ・FAX送信(約110) ・ホームページに掲載
月 報	4月～11月 2月～3月 の各月1回	[病害虫発生予察巡回調査結果等に基づ く発生病害虫全般の発生状況]	<ul style="list-style-type: none"> ・府行政支援ネット送信 (約10) 普及センター等 ・一部、ホームページに 掲載
年 報	3月末	防除所の病害虫発生予察事業等のまとめ	・ホームページに掲載

(II) 病害虫の発生予察と発生状況

1 発生予察調査の結果

1) 巡回調査の結果

(1) 水稻

生育概要

ア 早植（品種：コシヒカリ 播種期：4月20日 移植期：5月10日）

茎数は平年比99の637本/m²（7月1日）、幼穂形成期は平年比2日遅い7月9日、出穂期は平年並の7月31日、成熟期は平年比1日早い9月4日、有効穂数は平年比97の402本/m²であった。

イ 普通植（コシヒカリ、日本晴 播種期：5月5日 移植期：5月25日）

コシヒカリ：茎数は平年比108の577本/m²（7月15日）、幼穂形成期は平年比2日遅い7月17日、出穂期は平年比1日早い8月6日、成熟期は平年比1日早い9月11日、有効穂数は平年比88の344本/m²であった。

日本晴：茎数は平年比116の683本/m²（7月15日）、幼穂形成期は平年比2日遅い7月25日、出穂期は平年比2日早い8月14日、成熟期は平年比2日早い9月26日、有効穂数は平年比97の371本/m²であった。

（京都府農林水産技術センター農林センター作物部調べ）

病害虫発生状況

ア 苗いもち（指定）

巡回調査では発生を認めなかった。

イ 葉いもち（指定）

6月中旬の調査で、一部発生やや多い地域が認められたが、6月中旬～7月中旬にかけて好適感染条件の出現頻度は低かったことから、全般的には平年並の発生であった。

表1 補植用苗におけるいもち病の発生状況調査（5月第3～4半旬）

年次	地域	補植用苗確認数		発病確認率(%)	
		カ所	苗ブロック	カ所	苗ブロック
24年	山城	—	—	—	—
	南丹	6	31	0.0	0.0
	中丹	6	11	0.0	0.0
	丹後	9	22	0.0	0.0
23年	山城	1	5	0.0	0.0
	南丹	7	44	0.0	0.0
	中丹	6	25	0.0	0.0
	丹後	9	47	0.0	0.0

* 巡回調査は場とその周辺で補植用苗ブロックを認めた際に調査した。

表2 補植用苗におけるいもち病の発生状況調査（6月第3～4半旬）

年次	地域	調査 カ所数	補植用苗確認数		発病苗確認数		発病確認苗塊率(%)	
			カ所	苗ブロック	カ所	苗ブロック	カ所	苗ブロック
24年	山城	6	6	48	0	0	0.0	0.0
	南丹	9	2	13	0	0	0.0	0.0
	中丹	6	1	7	0	0	0.0	0.0
	丹後	9	4	8	0	0	0.0	0.0
23年	山城	6	6	53	1	2	16.7	3.8
	南丹	9	4	26	3	9	33.3	34.6
	中丹	6	3	9	0	0	0.0	0.0
	丹後	9	2	3	0	0	0.0	0.0

* 巡回調査ほ場とその周辺で補植用苗ブロックを認めた際に調査した。

表3 本田における葉いもちの発生状況調査（25株見取り）

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	発病株率 (%)	発病度	発病葉率 (%)
山城	6・3～6・4	24年	6	0.0	0.0	0.0	—
		23年	6	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	0.0	0.0	0.0	—
	7・3～7・4	24年	6	0.0	0.0	0.0	—
		23年	6	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	36.7	12.6	3.2	—
	*8・3～8・4	24年	6	0.0	0.0	—	0.00
		23年	6	16.7	0.7	—	0.00
		平年	—	36.4	6.7	—	0.04
南丹	6・3～6・4	24年	9	0.0	0.0	0.0	—
		23年	9	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	0.0	0.0	0.0	—
	7・3～7・4	24年	9	33.3	17.8	6.9	—
		23年	9	22.2	18.2	6.9	—
		平年	—	50.2	25.1	7.1	—
	*8・3～8・4	24年	9	33.3	3.1	—	0.00
		23年	9	22.2	1.3	—	0.00
		平年	—	40.0	9.8	—	0.18
中丹	6・3～6・4	24年	6	33.3	2.7	0.7	—
		23年	6	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	1.4	0.2	0.04	—
	7・3～7・4	24年	6	16.7	8.0	2.0	—
		23年	6	16.7	13.3	3.7	—
		平年	—	32.2	8.8	2.5	—
	*8・3～8・4	24年	6	0.0	0.0	—	0.00
		23年	6	33.3	3.3	—	0.06
		平年	—	20.5	3.7	—	0.08
丹後	6・3～6・4	24年	9	0.0	0.0	0.0	—
		23年	9	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	0.0	0.0	0.0	—
	7・3～7・4	24年	9	11.1	4.9	1.3	—
		23年	9	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	17.4	3.2	0.8	—
	*8・3～8・4	24年	9	11.1	8.4	—	0.34
		23年	9	0.0	0.0	—	0.00
		平年	—	14.2	1.9	—	0.02

* 止葉及び第2葉の調査。

表4 本田における葉いもちの発病程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～7・4	30	0.0	3.3	0.0	13.3	83.3

ウ 穂いもち（指定）

伝染源となる葉いもちの発生量は平年並であった。8月中旬の調査で、一部発生やや多い地域が認められたが、8月～9月にかけて、気温は平年比高く、降水量は少なく、日照時間は多く推移したことから、全般的には平年比やや少ない発生であった。

表5 本田における穂いもちの発病程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半月)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
8・3～8・4	24	0.0	0.0	0.0	4.2	95.8
9・3～9・4	8	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

表6 本田における穂いもちの発病状況調査（25株見取り）

地域	調査時期(月・半月)	年次	調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	発病株率(%)	発病穂率(%)
山城	8・3～8・4	24年	0	—	—	—
		23年	1	0.0	0.0	0.00
		平年	—	0.0	0.0	0.00
	9・3～9・4	24年	5	0.0	0.0	0.00
		23年	5	0.0	0.0	0.00
		平年	—	15.2	1.6	0.08
南丹	8・3～8・4	24年	9	0.0	0.0	0.00
		23年	9	0.0	0.0	0.00
		平年	—	11.0	3.5	0.28
	9・3～9・4	24年	2	0.0	0.0	0.00
		23年	6	16.7	9.3	0.52
		平年	—	26.4	9.2	1.70
中丹	8・3～8・4	24年	6	0.0	0.0	0.00
		23年	6	16.7	4.7	0.28
		平年	—	6.0	0.8	0.04
	9・3～9・4	24年	1	0.0	0.0	0.00
		23年	2	0.0	0.0	0.00
		平年	—	20.6	4.7	1.00
丹後	8・3～8・4	24年	9	11.1	8.4	0.08
		23年	9	0.0	0.0	0.00
		平年	—	2.1	0.1	0.004
	9・3～9・4	24年	0	—	—	—
		23年	2	0.0	0.0	0.00
		平年	—	13.0	0.9	0.04

エ 紋枯病（指定）

8月に平年比少なく、9月に平年比やや多い発生であった。全般的には平年比やや少ない発生であった。

表7 本田における紋枯病の発病程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半月)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～7・4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
8・3～8・4	30	0.0	0.0	0.0	16.7	83.3
9・3～9・4	8	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0

表8 本田における紋枯病の発病状況調査 (25株見取り)

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	調査ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	発病株率 (%)	発病度 (%)	
山城	7・3～7・4	24年	6	0.0	0.0	0.0	
		23年	6	0.0	0.0	0.0	
		平年	—	18.6	3.8	0.7	
	8・3～8・4	24年	6	6	0.0	0.0	0.0
		23年	6	6	33.3	2.7	0.7
		平年	—	—	50.2	12.0	3.5
	9・3～9・4	24年	5	5	80.0	20.8	8.2
		23年	5	5	60.0	8.0	3.8
		平年	—	—	70.9	17.1	5.5
南丹	7・3～7・4	24年	9	9	0.0	0.0	0.0
		23年	9	9	0.0	0.0	0.0
		平年	—	—	24.3	2.7	0.6
	8・3～8・4	24年	9	9	22.2	5.8	1.6
		23年	9	9	44.4	7.1	4.1
		平年	—	—	54.3	7.7	2.8
	9・3～9・4	24年	2	2	100.0	16.0	5.0
		23年	6	6	66.7	14.7	4.5
		平年	—	—	75.8	19.4	6.1
中丹	7・3～7・4	24年	6	6	0.0	0.0	0.0
		23年	6	6	0.0	0.0	0.0
		平年	—	—	15.7	2.3	0.6
	8・3～8・4	24年	6	6	33.3	2.7	0.7
		23年	6	6	16.7	0.7	0.2
		平年	—	—	38.1	7.6	2.8
	9・3～9・4	24年	1	1	0.0	0.0	0.0
		23年	2	2	0.0	0.0	0.0
		平年	—	—	15.9	1.7	0.6
丹後	7・3～7・4	24年	9	9	0.0	0.0	0.0
		23年	9	9	0.0	0.0	0.0
		平年	—	—	13.0	0.4	0.1
	8・3～8・4	24年	9	9	11.1	1.3	0.4
		23年	9	9	0.0	0.0	0.0
		平年	—	—	21.1	2.5	0.7
	9・3～9・4	24年	0	0	—	—	—
		23年	2	2	0.0	0.0	0.0
		平年	—	—	31.0	2.1	0.5

オ 苗立枯病

巡回調査では発生を認めなかった。

カ 白葉枯病

発生を認めなかった。

キ 粗枯細菌病

巡回調査では発生を認めなかった。

ク 黄化萎縮病

発生を認めなかった。

ケ 馬鹿苗病

発生を認めなかった。

コ 縞葉枯病

発生を認めなかった。

サ ヒメトビウンカ（指定）

越冬密度は平年比やや少なかった。

7月に平年並、8月に平年比やや多い発生であった。

表9 未耕起田等におけるヒメトビウンカの生息密度調査（4月第3～4半旬：20回振りすくい取り）

地域	年次	調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	1ほ場当たり虫数(頭)	成虫比率(%)
山城	24年	4	25.0	0.3	100.0
	23年	4	75.0	2.0	87.5
南丹	24年	4	25.0	0.5	100.0
	23年	4	50.0	1.3	80.0
中丹	24年	4	25.0	0.3	100.0
	23年	4	50.0	0.5	100.0
丹後	24年	4	0.0	0.0	—
	23年	4	0.0	0.0	—

表10 本田におけるヒメトビウンカの生息密度調査

地域	調査時期(月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	1ほ場当たり虫数(頭)	調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	1ほ場当たり虫数(頭)
山城	6・3～6・4	24年	6	16.6	0.2	4	0.0	0.0
		23年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		平年	—	1.4	0.01	—	0.0	0.0
	7・3～7・4	24年	6	50.0	2.0	6	50.0	1.0
		23年	6	33.3	1.2	6	16.7	1.3
		平年	—	41.7	1.6	—	29.1	2.1
	8・3～8・4	24年	6	66.7	3.2	6	83.3	16.5
		23年	6	50.0	3.7	6	83.3	4.5
		平年	—	34.5	1.4	—	70.5	5.9
南丹	6・3～6・4	24年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		23年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	2.0	0.02	—	3.1	0.03
	7・3～7・4	24年	9	0.0	0.0	9	33.3	0.3
		23年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	17.3	0.3	—	12.4	0.2
	8・3～8・4	24年	9	11.1	0.1	9	88.9	8.9
		23年	9	66.7	6.0	9	77.8	36.1
		平年	—	26.6	1.3	—	62.4	9.1
中丹	6・3～6・4	24年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		23年	6	0.0	0.0	6	16.7	0.2
		平年	—	0.0	0.0	—	4.5	0.1
	7・3～7・4	24年	6	50.0	0.5	6	16.7	0.2
		23年	6	16.7	0.2	6	33.3	1.0
		平年	—	13.3	0.3	—	12.4	0.3
	8・3～8・4	24年	6	16.7	0.2	6	83.3	6.8
		23年	6	50.0	0.5	6	66.7	3.8
		平年	—	15.5	0.4	—	59.5	5.9
丹後	6・3～6・4	24年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		23年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	2.0	0.02	—	4.0	0.04
	7・3～7・4	24年	9	22.2	0.2	9	11.1	0.1
		23年	9	22.2	0.2	9	0.0	0.0
		平年	—	18.7	0.4	—	14.3	0.2
	8・3～8・4	24年	9	66.7	0.9	9	88.9	7.6
		23年	9	66.7	2.1	9	88.9	39.1
		平年	—	30.3	0.8	—	64.6	8.0

表11 本田におけるヒメトビウンカの発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3～6・4	28	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
7・3～7・4	30	0.0	0.0	0.0	26.7	73.3
8・3～8・4	30	0.0	3.3	30.0	53.3	13.3

シ ツマグロヨコバイ（指定）

越冬密度は平年比やや少なかったが、全般的には平年並の発生であった。

萎縮病の発生は認めなかった。

表12 未耕起田等におけるツマグロヨコバイの生息密度調査（4月第3～4半旬：20回振りすくい取り）

地域	年次	調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	1ほ場当たり虫数(頭)	成虫比率(%)
山城	24年	4	75.0	1.5	83.3
	23年	4	100.0	35.5	99.3
南丹	24年	4	0.0	0.0	—
	23年	4	0.0	0.0	—
中丹	24年	4	0.0	0.0	—
	23年	4	0.0	0.0	—
丹後	24年	4	25.0	0.5	0.0
	23年	4	0.0	0.0	—

表13 本田におけるツマグロヨコバイの生息密度調査

地域	調査時期(月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	1ほ場当たり虫数(頭)	調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	1ほ場当たり虫数(頭)
山城	6・3～6・4	24年	6	0.0	0.0	4	0.0	0.0
		23年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		平年	—	2.9	0.1	—	7.4	0.1
	7・3～7・4	24年	6	66.7	4.3	6	16.7	3.0
		23年	6	50.0	5.2	6	16.7	0.2
		平年	—	47.1	4.4	—	49.8	7.5
	8・3～8・4	24年	6	66.7	9.5	6	100.0	110.0
		23年	6	83.3	33.8	6	83.3	39.2
		平年	—	73.8	15.4	—	88.3	95.9
南丹	6・3～6・4	24年	9	11.1	0.1	9	0.0	0.0
		23年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	5.0	0.4	—	10.2	0.3
	7・3～7・4	24年	9	22.2	4.4	9	22.2	0.7
		23年	9	44.4	3.7	9	22.2	0.7
		平年	—	45.9	4.9	—	40.1	2.0
	8・3～8・4	24年	9	44.4	3.9	9	66.7	15.3
		23年	9	44.4	7.4	9	44.4	6.9
		平年	—	34.0	2.4	—	66.4	89.8
中丹	6・3～6・4	24年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		23年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		平年	—	1.4	0.01	—	4.3	0.03
	7・3～7・4	24年	6	16.7	0.5	6	0.0	0.0
		23年	6	33.3	0.7	6	16.7	1.5
		平年	—	33.3	1.0	—	23.6	0.6
	8・3～8・4	24年	6	16.7	1.0	6	50.0	3.7
		23年	6	33.3	0.5	6	16.7	0.8
		平年	—	23.8	0.9	—	48.3	31.8
丹後	6・3～6・4	24年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		23年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	3.0	0.1	—	2.0	0.02
	7・3～7・4	24年	9	33.3	1.4	9	22.2	0.3
		23年	9	55.6	2.7	9	11.1	0.1
		平年	—	47.6	2.8	—	31.3	2.2
	8・3～8・4	24年	9	22.2	1.0	9	33.3	9.1
		23年	9	22.2	4.9	9	22.2	50.8
		平年	—	45.6	3.3	—	73.0	42.4

表14 本田におけるツマグロヨコバイの発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3～6・4	28	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
7・3～7・4	30	0.0	0.0	0.0	16.7	83.3
8・3～8・4	30	0.0	0.0	13.3	46.7	40.0

ス セジロウカ（指定）

予察灯への初飛来は、京田辺・亀岡で平年比遅く、京丹後で平年比やや遅かった。飛来数は平年比少なかった。

本田では7月、8月に平年比やや多い発生となった。

表15 セジロウカの予察灯への初飛来日

年次	京田辺市	亀岡市	京丹後市
	月・日		
24年	7.28	7.19	7.5
23年	(8.21)	(9.20)	(8.15)
平年	7.6	7.2	6.30

* 8月以降の初飛来日は（ ）で記載。平年値は7月6半旬までの飛来日より算出。

表16 本田におけるセジロウカの生息密度調査

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	1ほ場当 り虫数(頭)	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	1ほ場当 り虫数(頭)
山城	6・3～6・4	24年	6	0.0	0.0	4	0.0	0.0
		23年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		平年	—	1.4	0.01	—	1.7	0.03
	7・3～7・4	24年	6	83.3	21.0	6	66.7	3.3
		23年	6	83.3	8.5	6	33.3	0.5
		平年	—	73.1	14.0	—	71.7	28.6
	8・3～8・4	24年	6	100.0	33.7	6	100.0	86.3
		23年	6	100.0	28.2	6	100.0	3.0
		平年	—	77.1	14.4	—	100.0	89.8
南丹	6・3～6・4	24年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		23年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	0.0	0.0	—	1.0	0.01
	7・3～7・4	24年	9	77.8	1.9	9	55.6	1.4
		23年	9	88.9	4.1	9	0.0	0.0
		平年	—	64.3	7.5	—	60.8	8.7
	8・3～8・4	24年	9	88.9	20.4	9	100.0	43.8
		23年	9	100.0	10.3	9	88.9	25.9
		平年	—	58.9	7.7	—	91.8	64.6
中丹	6・3～6・4	24年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		23年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		平年	—	1.4	0.01	—	0.0	0.0
	7・3～7・4	24年	6	66.7	3.7	6	33.3	0.8
		23年	6	100.0	5.8	6	0.0	0.0
		平年	—	43.1	3.3	—	52.6	5.4
	8・3～8・4	24年	6	83.3	4.0	6	100.0	23.7
		23年	6	83.3	6.8	6	100.0	41.0
		平年	—	57.6	4.4	—	91.4	43.6
丹後	6・3～6・4	24年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		23年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	0.0	0.0	—	1.0	0.01
	7・3～7・4	24年	9	100.0	15.7	9	55.6	3.1
		23年	9	88.9	3.4	9	22.2	0.2
		平年	—	63.9	4.1	—	65.8	16.9
	8・3～8・4	24年	9	83.3	5.8	9	100.0	25.1
		23年	9	100.0	16.7	9	100.0	18.7
		平年	—	60.6	6.0	—	88.0	44.6

表17 本田におけるセジロウカの発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3～6・4	28	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
7・3～7・4	30	0.0	0.0	0.0	53.3	46.7
8・3～8・4	30	0.0	0.0	13.3	86.7	0.0

セ トビイロウンカ（指定）

予察灯での誘殺は、9月上旬以降に認められた。

本田では発生を認めなかった。

表18 トビイロウンカの予察灯への初飛来日

年次	京田辺市	亀岡市	京丹後市
	月.日		
24年	—	—	(9.10)
23年	(9.10)	(8.16)	—
平年	7.16	—	7.21

* 8月以降の初飛来日は（ ）で記載。平年値は7月6半旬までの飛来日より算出。

表19 本田におけるトビイロウンカの生息密度調査

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	1ほ場当 たり虫数(頭)	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	1ほ場当 たり虫数(頭)
山城	7・3～7・4	24年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		23年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
	8・3～8・4	24年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		23年	6	0.0	0.0	6	16.6	0.2
	9・3～9・4	24年	5	0.0	0.0	—	—	—
		23年	5	0.0	0.0	—	—	—
南丹	7・3～7・4	24年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		23年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	8・3～8・4	24年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		23年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	9・3～9・4	24年	2	0.0	0.0	—	—	—
		23年	6	0.0	0.0	—	—	—
中丹	7・3～7・4	24年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		23年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
	8・3～8・4	24年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		23年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
	9・3～9・4	24年	1	0.0	0.0	—	—	—
		23年	2	0.0	0.0	—	—	—
丹後	7・3～7・4	24年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		23年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	8・3～8・4	24年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		23年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	9・3～9・4	24年	0	—	—	—	—	—
		23年	2	0.0	0.0	—	—	—

表20 本田におけるトビイロウンカの発生程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～7・4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
8・3～8・4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
9・3～9・4	8	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

表21 本田におけるトビイロウンカの発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～7・4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
8・3～8・4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

ソ ニカメイガ（指定）

予察灯では7月中旬と9月上旬に誘殺を認めた。

本田では6月に中丹地域で発生を認めた。

タ コブノメイガ（指定）

8～9月に発生を確認した。8月に平年並、9月に平年比少ない発生であった。

チ イネミズゾウムシ（指定）

予察灯への初飛来は京田辺で平年並、亀岡で平年比遅く、京丹後で平年比やや早かった。飛来数は平年並であった。

本田では5月に平年並、6月に平年比やや多い発生であった。

表22 イネミズゾウムシ越冬世代成虫の予察灯への初飛来日と総誘殺数

年度	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	初飛来日 (月・日)	総誘殺数 (頭)	初飛来日 (月・日)	総誘殺数 (頭)	初飛来日 (月・日)	総誘殺数 (頭)
24年	6.11	46	5.8	115	4.30	108
23年	5.17	59	5.6	188	5.7	130
平年	6.13	44.8	5.1	196.6	5.5	96.1

表23 本田におけるイネミズゾウムシの生育密度調査（6月第3～4半旬：25株見取り）

地域	年次	調査ほ場数	被害確認 ほ場率(%)	食害株率 (%)	被害度	1ほ場当たり 虫数(頭)
山城	24年	6	50.0	11.3	2.8	0.0
	23年	6	50.0	22.7	6.8	0.3
	平年	—	70.5	26.1	7.3	0.7
南丹	24年	9	88.9	69.3	31.6	3.0
	23年	9	88.9	76.9	31.1	4.1
	平年	—	82.6	56.2	17.6	1.5
中丹	24年	6	100.0	39.3	10.0	0.8
	23年	6	100.0	76.0	22.3	4.0
	平年	—	85.5	40.6	10.8	0.8
丹後	24年	9	88.9	50.2	16.9	0.8
	23年	9	100.0	50.2	13.2	0.9
	平年	—	87.9	37.7	9.7	0.6

表24 本田におけるイネミズゾウムシの発生程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
5・3～5・4	21	0.0	0.0	4.8	47.6	47.6
6・3～6・4	30	3.3	6.7	23.3	50.0	16.7

ツ 斑点米カメムシ類（指定）

畦畔雑草では6月～8月に平年比やや多い発生であった。

本田では6月に平年比やや少なく、7月、8月に平年並の発生であった。

種別では、アカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメ、ホソハリカメムシの割合が高かった。ミナミアオカメムシについて、予察灯では7～11月に京田辺で誘殺を認めた。本田では9月に山城地域で発生を認めた。

表25 本田における斑点米カメムシ類の発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3～6・4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
7・3～7・4	30	0.0	0.0	0.0	16.7	83.3
8・3～8・4	30	0.0	3.3	3.3	30.0	63.3

表26 畦畔における斑点米カメムシ類の虫数別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	31頭≤(%)	11～30頭(%)	4～10頭(%)	1～3頭(%)	0頭(%)
6・3～6・4	30	0.0	10.0	10.0	26.7	53.3
7・3～7・4	30	13.3	0.0	6.7	30.0	50.0
8・3～8・4	30	3.3	10.0	13.3	26.7	46.7

表27 斑点米カメムシ類の生息密度調査（20回振りすくい取り）

地域	調査時期 (月・半月)	年次	本田			畦畔		
			調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	1ほ場当 たり虫数(頭)	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	1ほ場当 たり虫数(頭)
山城	6・3～6・4	24年	6	0.0	0.0	6	66.7	4.8
		23年	6	0.0	0.0	6	33.3	1.5
		平年	—	5.7	0.1	—	36.2	2.2
	7・3～7・4	24年	6	33.3	0.7	6	83.3	50.8
		23年	6	16.7	0.2	6	83.3	39.0
		平年	—	17.9	0.2	—	66.4	13.0
	8・3～8・4	24年	6	33.3	0.3	6	66.7	14.5
		23年	6	33.3	0.5	6	100.0	6.7
		平年	—	19.3	0.6	—	58.1	5.1
南丹	6・3～6・4	24年	9	0.0	0.0	9	22.2	0.3
		23年	9	11.1	0.1	9	44.4	2.0
		平年	—	3.1	0.03	—	34.4	1.2
	7・3～7・4	24年	9	22.2	0.2	9	33.3	0.3
		23年	9	0.0	0.0	9	11.1	0.2
		平年	—	12.2	0.3	—	44.8	4.1
	8・3～8・4	24年	9	55.6	1.1	9	22.2	0.7
		23年	9	44.4	0.6	9	22.2	0.4
		平年	—	44.9	1.2	—	39.9	3.1
中丹	6・3～6・4	24年	6	0.0	0.0	6	50.0	2.7
		23年	6	0.0	0.0	6	33.3	4.7
		平年	—	6.4	0.1	—	31.9	2.0
	7・3～7・4	24年	6	0.0	0.0	6	66.7	1.8
		23年	6	16.7	0.1	6	50.0	6.0
		平年	—	23.6	0.5	—	48.8	3.4
	8・3～8・4	24年	6	33.3	2.0	6	66.7	2.0
		23年	6	66.7	1.7	6	50.0	1.2
		平年	—	56.4	1.1	—	43.3	1.9
丹後	6・3～6・4	24年	9	0.0	0.0	9	55.6	3.0
		23年	9	11.1	0.1	9	44.4	6.4
		平年	—	1.1	0.01	—	46.2	2.7
	7・3～7・4	24年	9	11.1	0.1	9	33.3	0.6
		23年	9	11.1	0.1	9	77.8	12.7
		平年	—	10.3	0.2	—	40.6	5.3
	8・3～8・4	24年	9	22.2	0.4	9	66.7	1.3
		23年	9	44.4	2.2	9	22.2	0.4
		平年	—	29.3	0.7	—	22.1	1.0

表28 本田と畦畔での斑点米カメムシ類の種別構成割合(%)（8月第3～4半月：20回振りすくい取り）

種名 年次	シラホ カメムシ	トゲシラホ カメムシ	ホリホ カメムシ	クモホ カメムシ	コハ [△] ホヨ タカメムシ	アカヒケ [△] ホ ミ [△] リカスミカメ	アサシ [△] カスミカメ	その他
24年	2.1	6.9	16.6	2.8	2.8	46.2	19.3	3.4
23年	4.3	24.5	21.3	3.2	0.0	29.8	16.0	1.0
22年	3.6	3.6	15.5	1.8	0.0	18.4	55.9	1.2

テ イネツトムシ（イチモンジセセリ）

6月に平年比やや多く、7月に平年並の発生であった。

ト フタオビコヤガ

広域で、6～8月にかけて発生を認めた。

ナ イネクロカメムシ

巡回調査では発生を認めなかった。

ニ スクミリンゴガイ

山城で発生を認めた。

(2) 麦類

病害虫の発生状況

ア 赤かび病

通常の巡回調査(5月中旬)では、小麦、二条大麦、六条大麦とも発生を認めなかった(平年並、例年並)。

追加調査(5月下旬～6月上旬)でも、小麦、二条大麦、六条大麦とも発生を認めなかった(但し、調査株外で僅かに発病を確認)。

表1 麦類における赤かび病の発生状況

調査時期 (月・半月)	年次	小麦			二条大麦			六条大麦		
		発病穂率(%)	発病度	発病ほ場率(%)	発病穂率(%)	発病度	発病ほ場率(%)	発病穂率(%)	発病度	発病ほ場率(%)
5・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平(例)年	1.9	0.4	11.1	6.6	0.9	20.0	13.8	4.6	22.2

注1)調査場所:(小麦)綾部市、福知山市、(二条大麦)亀岡市、(六条大麦)南丹市

注2)小麦、六条大麦は例年値、二条大麦は平年値

(3) 黒大豆

病害虫の発生状況

- ア アブラムシ類：7月に平年比やや多い発生を、9月に平年比少ない発生を認めた。
- イ 吸蜜性カメムシ類：8、9月に平年並～平年比やや多い発生を認めた。
- ウ ハスモンヨトウ：8、9月に平年並～平年比やや少ない発生を認めた。
- エ モザイク病：7月に平年並の発生を認めた。
- オ ペト病：8、9月に平年並～平年比やや多い発生を認めた。
- カ 葉焼病：8、9月に平年並の発生を認めた。
- キ ハダニ類：7、8月に平年比やや多い～多い発生を、9月に平年比少ない発生を認めた。
- ク フタスジヒメハムシ：7、8月に平年並～平年比やや多い発生を、9月に平年比やや少ない発生を認めた。
10月に平年比やや多い被害を認めた。
- ケ サヤムシガ類：7、8月に平年比多い発生を、9月に平年比やや少ない発生を認めた。

表1 巡回調査結果(ダイズ、7～9月)

調査時期	年次	アブラムシ類			吸蜜性カメムシ類			ハスモンヨトウ			
		寄生株率(%)	25小葉当虫数(頭)	確認ほ率(%)	寄生株率(%)	25株当虫数(頭)	確認ほ率(%)	寄生株率(%)	25株当虫数(頭)	寄生株確認ほ率(%)	白変葉箇所数/10a
7月 3～4 半旬	H24年	1.0	1.1	25.0	—	—	—	—	—	—	—
	H23年	0.5	0.4	12.5	—	—	—	—	—	—	—
	平年値等	1.0	0.4	14.2	—	—	—	—	—	—	—
8月 3～4 半旬	H24年	0.0	0.0	0.0	3.5	1.1	75.0	1.0	0.5	25.0	1.5
	H23年	0.0	0.0	0.0	3.0	0.9	25.0	1.5	0.4	37.5	2.3
	平年値等	1.6	1.9	18.8	2.0	0.6	25.0	1.1	1.3	20.0	0.6
9月 3～4 半旬	H24年	7.0	13.0	75.0	2.0	1.5	25.0	1.0	0.8	25.0	4.3
	H23年	27.5	72.1	87.5	3.5	1.1	37.5	7.5	2.6	50.0	3.1
	平年値等	29.4	59.6	82.5	2.1	0.8	25.0	7.2	4.9	51.3	4.5

調査時期	年次	モザイク病		ペト病			葉焼病		
		発病株率(%)	確認ほ率(%)	発病株率(%)	発病度(指数)	確認ほ率(%)	発病株率(%)	発病度(指数)	確認ほ率(%)
7月 3～4 半旬	H24年	2.3	62.5	—	—	—	—	—	—
	H23年	3.4	87.5	—	—	—	—	—	—
	平年値等	2.0	36.9	—	—	—	—	—	—
8月 3～4 半旬	H24年	—	—	6.5	1.63	37.5	12.5	3.13	62.5
	H23年	—	—	1.5	0.38	12.5	12.5	3.50	75.0
	平年値等	—	—	4.7	0.56	13.8	8.2	1.57	41.3
9月 3～4 半旬	H24年	—	—	23.0	5.75	37.5	31.0	8.13	75.0
	H23年	—	—	21.5	5.38	25.0	38.0	9.63	62.5
	平年値等	—	—	17.7	3.72	33.8	46.0	12.26	85.0

調査時期	年次	ハダニ類			フタスジヒメハムシ			サヤムシガ類			
		寄生株率(%)	25小葉当虫数(頭)	確認ほ率(%)	寄生株率(%)	25株当虫数(頭)	確認ほ率(%)	寄生株率(%)	25株当虫数(頭)	200莢当虫数(頭)	被害株確認ほ率(%)
7月 3～4 半旬	H24年	0.5	0.3	12.5	2.0	0.5	37.5	8.0	2.1	—	87.5
	H23年	0.0	0.0	0.0	1.0	0.3	25.0	3.0	0.8	—	87.5
	平年値等	0.1	0.0	3.9	0.7	0.2	10.8	3.2	0.8	—	64.7
8月 3～4 半旬	H24年	21.0	82.0	75.0	2.0	0.5	37.5	4.5	1.1	—	100.0
	H23年	7.5	30.3	37.5	1.5	0.8	25.0	3.5	0.9	—	62.5
	平年値等	2.3	5.3	26.3	2.3	0.7	25.0	1.8	0.5	—	75.0
9月 3～4 半旬	H24年	2.5	2.1	37.5	10.0	2.8	75.0	0.5	—	0.1	12.5
	H23年	18.5	63.9	75.0	21.0	8.5	100.0	2.0	—	2.8	50.0
	平年値等	14.4	51.7	68.8	17.4	7.4	71.3	1.1	—	0.7	22.5

注：サヤムシガ類の確認ほ率は、7月中旬、8月中旬は被害確認ほ場、9月中旬は寄生確認ほ場

表2 巡回調査結果(10月)

調査時期	年次	フタスジヒメハムシ		鱗翅目害虫	
		食害莢率(%)	確認ほ率(%)	食害莢率(%)	確認ほ率(%)
10月 3～4 半旬	H24年	21.4	100.0	7.3	100.0
	H23年	10.0	100.0	3.1	87.5
	平年値等	13.8	98.8	2.3	86.6

(4)小豆

病害虫の発生状況

- ア モザイク病：8月に平年並の発生を認めた。
- イ アブラムシ類：9月に平年並の発生を認めた。
- ウ ハスモンヨトウ：8、9月に平年比やや多い～多い発生を認めた。
- エ さび病：9月に平年比やや少ない発生を認めた。
- オ ハダニ類：9月に平年比やや多い発生を認めた。
- カ サヤムシガ類：8、9月に平年並～平年比やや多い発生を認めた。
- キ アズキノメイガ：9月に平年並の発生を認めた。
- ク マメノメイガ：9月に平年比多い発生を認めた。

表1 巡回調査結果（アズキ、8～9月）

調査時期	年次	モザイク病		アブラムシ類			ハスモンヨトウ			
		発病株率 (%)	確認ほ率 (%)	寄生株率 (%)	25小葉当虫数 (頭)	確認ほ率 (%)	寄生株率 (%)	25株当虫数 (頭)	寄生株確認ほ率 (%)	白変葉箇所数 /10a
8月 3～4 半旬	H24年	1.8	50.0	0.5	0.5	12.5	1.0	0.3	25.0	0.3
	H23年	2.5	87.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.1	12.5	0.3
	平年	1.6	41.0	0.6	0.3	15.0	0.2	0.0	4.5	0.3
9月 3～4 半旬	H24年	—	—	0.5	0.1	12.5	5.5	1.5	67.5	0.3
	H23年	—	—	0.5	0.1	12.5	2.5	0.9	37.5	0.3
	平年	—	—	0.6	0.4	13.8	4.5	2.1	42.3	1.7

調査時期	年次	うどんこ病		炭そ病		さび病		ハダニ類		
		発病株率 (%)	確認ほ率 (%)	発病株率 (%)	確認ほ率 (%)	発病株率 (%)	確認ほ率 (%)	寄生株率 (%)	25小葉当虫数 (頭)	確認ほ率 (%)
8月 3～4 半旬	H24年	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	H23年	—	—	0.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	—	—	0.1	2.3	0.3	2.5	0.4	0.8	7.3
9月 3～4 半旬	H24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	12.5	7.0	11.1	50.0
	H23年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.4	12.5
	平年	0.2	3.0	5.4	18.0	8.6	18.6	4.8	11.0	31.5

調査時期	年次	サヤムシガ類			アズキノメイガ			マメノメイガ		
		寄生株率 (%)	25株当虫数 (頭)	被害株確認ほ率 (%)	寄生株率 (%)	25株当虫数 (頭)	被害株確認ほ率 (%)	寄生株率 (%)	200花・莢当虫数 (頭)	寄生株確認ほ率 (%)
8月 3～4 半旬	H24年	1.0	0.3	12.5	—	—	—	—	—	—
	H23年	1.5	0.4	25.0	—	—	—	—	—	—
	平年	0.7	0.2	9.8	—	—	—	—	—	—
9月 3～4 半旬	H24年	1.0	0.3	25.0	1.0	0.3	1.5	28.5	10.3	100.0
	H23年	1.5	0.4	25.0	5.0	1.6	7.5	1.0	0.3	25.0
	平年	1.2	0.3	34.5	2.0	0.6	3.7	11.4	1.4	53.3

表2 巡回調査結果（10月）

調査時期	年次	鱗翅目害虫	
		食害莢率 (%)	確認ほ率 (%)
10月 3～4 半旬	H24年	21.2	100.0
	H23年	16.9	100.0
	平年	22.3	98.9

(5)カンキツ

病害虫発生状況

- ア そうか病
発生を認めなかった。
- イ ハダニ類
9月に平年比やや多い発生を、その他の月は平年並～平年比やや少ない発生を認めた。
- ウ ヤノネカイガラムシ
4、8月に平年並の発生を認めた。
- エ ミカンハモグリガ
5月に平年比やや多い発生を、4、9月に平年並の発生を認めた。

表1 巡回調査結果(カンキツ) (%)

調査時期 (月・半旬)	年次	そうか病		ハダニ類		ヤノネカイガラムシ			ミカンハモグリガ	
		寄生果率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率	寄生葉率	寄生果率	ほ場率	被害葉率	ほ場率
4・3～4	24年	—	—	6.3	33.3	1.7	—	66.7	0.7	33.3
	23年	—	—	0.0	0.0	0.3	—	33.3	0.3	33.3
	平年	—	—	10.1	55.0	2.0	—	53.3	1.2	36.7
5・3～4	24年	—	—	5.7	100.0	0.0	—	0.0	2.7	33.3
	23年	—	—	5.3	100.0	0.0	—	0.0	0.7	33.3
	平年	—	—	23.9	86.7	2.5	—	50.0	1.9	40.0
6・3～4	24年	—	—	6.7	100.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
	23年	—	—	7.0	66.7	0.0	—	0.0	0.0	0.0
	平年	—	—	24.1	76.7	0.8	0.0	33.4	0.6	13.3
7・3～4	24年	0.0	0.0	5.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	23年	0.0	0.0	3.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.3	33.3
	平年	0.0	0.0	11.3	73.3	1.0	0.1	30.0	0.3	16.7
8・3～4	24年	0.0	0.0	18.3	100.0	1.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	23年	0.0	0.0	3.3	33.3	0.0	0.0	0.0	2.3	66.7
	平年	0.0	0.0	15.1	70.0	1.9	0.6	50.0	1.1	30.0
9・3～4	24年	0.0	0.0	41.3	66.7	0.0	0.0	0.0	2.3	66.7
	23年	0.0	0.0	30.0	100.0	0.7	0.0	33.3	3.7	66.7
	平年	0.0	0.0	26.7	96.7	3.6	1.6	63.3	2.0	33.3

(6) ナシ

病害虫発生状況

- ア 黒斑病
 平年並～平年比やや少ない発生を認めた。
- イ 黒星病
 8～10月に平年並～平年比やや多い発生を認めた。
- ウ 赤星病
 6～9月に平年並～平年比やや多い発生を認めた。
- エ うどんこ病
 9、10月に平年並～平年比やや少ない発生を認めた。
- オ シンクイムシ類
 8月に平年比多い発生を認めた。
- カ ハダニ類
 8月に平年比やや多い発生を、その他の月は平年並～平年比やや少ない発生を認めた。

表1 巡回調査結果(ナシ) (%)

調査時期 (月・半旬)	年次	黒斑病		黒星病		赤星病	
		発病葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率
5・3～4	24年	0.7	66.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	23年	5.0	66.6	0.0	0.0	1.0	14.3
	平年	2.2	55.4	0.5	7.3	0.4	11.4
6・3～4	24年	2.2	80.0	0.0	0.0	1.2	45.5
	23年	2.2	100.0	4.0	50.0	1.4	71.4
	平年	3.1	69.2	1.9	31.5	1.6	34.5
7・3～4	24年	0.4	20.0	0.0	0.0	0.9	45.5
	23年	3.0	60.0	0.3	33.3	1.8	62.5
	平年	4.2	59.5	2.2	30.5	1.4	30.0
8・3～4	24年	3.8	60.0	0.3	25.0	1.3	54.5
	23年	5.6	80.0	0.0	0.0	0.6	50.0
	平年	8.9	84.5	0.3	8.3	0.7	17.5
9・3～4	24年	5.6	80.0	0.3	25.0	0.6	45.5
	23年	7.8	60.0	0.0	0.0	0.3	12.5
	平年	5.7	72.3	0.1	10.2	0.4	13.2
10・3～4	24年	5.0	80.0	0.3	25.0	0.0	0.0
	23年	9.0	100.0	0.0	0.0	0.9	75.0
	平年	9.1	77.8	0.7	18.5	0.3	14.3

調査時期 (月・半旬)	年次	うどんこ病		ハダニ類	
		寄生葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率
5・3～4	24年	—	—	0.3	20.0
	23年	—	—	2.0	42.9
	平年	—	—	0.8	13.9
6・3～4	24年	—	—	2.2	54.5
	23年	—	—	6.9	57.1
	平年	—	—	4.2	43.0
7・3～4	24年	0.0	0.0	18.4	40.0
	23年	0.0	0.0	51.9	87.5
	平年	0.4	2.9	19.7	62.4
8・3～4	24年	0.0	0.0	11.7	54.5
	23年	0.1	12.5	2.5	37.5
	平年	1.2	14.0	7.3	44.1
9・3～4	24年	0.9	36.4	2.8	18.2
	23年	2.4	25.0	17.9	87.5
	平年	4.2	26.5	10.0	51.6
10・3～4	24年	15.8	81.8	1.7	45.5
	23年	12.3	87.5	12.0	50.0
	平年	23.2	71.2	8.1	54.5

(7) ブドウ

病害虫発生状況

- ア ベと病
7～9月に平年並～平年比やや少ない発生を認めた。
- イ フタテンヒメヨコバイ
7～9月に平年比やや少ない～少ない発生を認めた。
- ウ ハダニ類
9月に平年比やや多い発生を認めた。

表1 巡回調査結果(ブドウ) (%)

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病		フタテンヒメヨコバイ		ハダニ類	
		発病葉率	ほ場率	被害葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率
5・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	1.0	0.7	11.5	0.0	1.1
6・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	23年	1.0	40.0	0.0	0.0	0.2	20.0
	平年	0.2	7.0	1.3	13.7	0.3	11.9
7・3～4	24年	4.2	60.0	0.2	20.0	0.0	0.0
	23年	20.2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	5.6	36.3	4.5	17.9	0.3	7.0
8・3～4	24年	19.8	60.0	2.2	40.0	0.0	0.0
	23年	16.8	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	16.9	52.4	10.3	35.0	1.0	12.3
9・3～4	24年	25.0	60.0	1.0	40.0	0.2	20.0
	23年	22.8	80.0	2.6	40.0	0.0	0.0
	平年	30.3	62.1	11.9	32.1	0.4	9.1

(8)カキ

病害虫発生状況

- ア うどんこ病
6～10月に平年並～平年比やや少ない発生を認めた。
- イ 落葉病
8月に平年比多い発生を、9、10月に平年並の発生を認めた。
- ウ 炭そ病
8～10月に平年比やや多い～多い発生を認めた。
- エ カキノヘタムシガ
被害を認めなかった(但し、調査果以外で被害を確認)。
- オ カメムシ類
8、10月に平年比やや多い～多い被害を認めた。
- カ チャノキイロアザミウマ
7～10月に平年比多い被害を認めた。
- キ カキクダアザミウマ
5月に平年並の被害を、7、9、10月に平年比やや多い～多い被害を認めた。
- ク カイガラムシ類
7月に平年並の発生を認めた。

表1 巡回調査結果(カキ) (%)

調査時期 (月・半旬)	年次	うどんこ病		落葉病		炭そ病	
		発病葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率	被害果率	ほ場率
5・3～4	24年	0.0	0.0	—	—	—	—
	23年	0.0	0.0	—	—	—	—
	平年	0.5	28.7	—	—	—	—
6・3～4	24年	7.0	100.0	—	—	0.0	0.0
	23年	2.0	100.0	—	—	0.0	0.0
	平年	14.5	98.0	—	—	0.0	0.0
7・3～4	24年	27.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	23年	6.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	25.9	100.0	0.2	6.0	0.0	0.0
8・3～4	24年	27.7	100.0	1.7	100.0	1.3	66.7
	23年	6.7	100.0	1.7	66.7	0.0	0.0
	平年	32.0	100.0	0.2	8.7	0.0	0.0
9・3～4	24年	17.0	100.0	0.3	33.3	2.0	100.0
	23年	13.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	34.7	96.4	3.1	37.6	0.1	3.6
10・3～4	24年	36.3	100.0	14.3	66.7	1.3	66.7
	23年	27.3	100.0	3.3	33.3	0.7	33.3
	平年	58.2	98.0	21.0	85.3	0.8	11.7

調査時期 (月・半旬)	年次	カキノヘタムシガ		カメムシ		チャノキイロアザミウマ	
		被害果率	ほ場率	被害果率	ほ場率	被害葉率	ほ場率
7・3～4	24年	—	—	0.0	0.0	0.7	33.3
	23年	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	—	—	0.0	2.0	0.1	2.0
8・3～4	24年	0.0	0.0	2.7	66.7	6.7	100.0
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	66.7
	平年	0.0	0.0	0.1	6.0	0.4	8.7
9・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	14.7	100.0
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	66.7
	平年	0.1	4.8	1.2	18.0	1.5	24.9
10・3～4	24年	0.0	0.0	2.0	66.7	15.3	100.0
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0
	平年	0.04	2.0	2.2	28.3	2.7	28.3

調査時期 (月・半旬)	年次	カキクダアザミウマ				カイガラムシ類			
		被害葉率	ほ場率	被害果率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率	寄生果率	ほ場率
5・3～4	24年	0.3	33.3	—	—	0.0	0.0	—	—
	23年	0.0	0.0	—	—	0.3	33.3	—	—
	平年	1.2	28.0	—	—	0.1	5.3	—	—
6・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	平年	0.8	23.3	0.4	4.0	—	—	0.2	2.0
7・3～4	24年	—	—	1.3	33.3	—	—	0.7	33.3
	23年	—	—	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	平年	—	—	0.7	12.0	—	—	0.7	12.0
8・3～4	24年	—	—	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	23年	—	—	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	平年	—	—	0.4	8.0	—	—	1.8	18.0
9・3～4	24年	—	—	2.0	66.7	—	—	0.0	0.0
	23年	—	—	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	平年	—	—	0.4	6.7	—	—	1.5	31.4
10・3～4	24年	—	—	0.7	33.3	—	—	0.0	0.0
	23年	—	—	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	平年	—	—	1.5	8.7	—	—	4.2	41.7

(果樹・その他調査)

プラムポックスウイルス (PPV) 発生状況調査

1. 調査の目的

平成21年4月、東京都青梅市のウメに国内で初めてプラムポックスウイルスによる植物の病気の発生が確認され、全国的な発生状況調査が実施された。本府においても、ウメ及びモモの主要な生産園地を中心に発生状況調査を実施した。

2. 調査対象植物 ウメ、モモ

3. 調査時期 平成24年5月9～10日：福知山市、綾部市、京丹後市

平成24年5月24日：精華町

平成24年5月29日：京都市

平成24年5月30日：城陽市

4. 調査及び検定体制 調査実施機関：京都府、検定実施機関：神戸植物防疫所

5. 調査地域 京都市、城陽市、福知山市、綾部市、京丹後市、精華町

6. 調査方法

①調査園及び周辺園を見取り調査。

②調査園から5樹を選定し、1樹当たり5葉を採取して低温保管し、検定実施機関に送付。

7. 調査結果

①発病を認めなかった。

②全て陰性であった。

種類	調査地域数	調査区域数	検定試料数	ELISA 陽性試料数
ウメ	5	11	56	0
モモ	3	12	77	0
アーモンド	1	1	2	0
プラム	1	1	1	0
合計	10	25	136	0

エ カンザワハダニ (指定)

表7 越冬状況 平成24年2月第5半旬調査

項目	山城			丹波		
	平成24年	平成23年	平年	平成24年	平成23年	平年
寄生葉率 (%)	0.3	0.2	1.5	0.2	0.0	1.6
赤色化虫率 (%)	56.8	0.0	37.7	0.0	-	50.9
産卵葉率 (%)	0.0	0.1	0.5	0.0	0.0	0.6
着色卵率 (%)	-	100.0	46.5	-	-	27.6
発生ほ場率 (%)	18.2	13.6	38.2	16.7	0.0	31.7

表8 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
山城	並	やや少	並	やや少	並	やや少	やや少	並
丹波	やや多	やや多	並	並	並	やや少	並	

表9 発生状況

項目	月・半旬	山城			丹波		
		平成24年	平成23年	平年	平成24年	平成23年	平年
寄生葉率 (%)	3. 3~4	1.3	1.3	2.9	2.7	0.0	3.3
	4. 3~4	1.5	1.0	2.2	5.0	0.7	3.1
	5. 3~4	0.7	1.8	3.0	1.3	0.0	3.8
	6. 3~4	8.5	4.1	9.5	10.3	1.3	12.9
	7. 3~4	1.0	5.4	2.8	2.3	16.3	3.4
	8. 3~4	2.6	3.2	4.4	2.3	0.3	3.2
	9. 3~4	2.0	0.5	7.2	0.7	0.7	5.7
	10. 3~4	0.2	0.1	2.0	1.3	1.0	2.7
成・幼若虫数 (匹/100葉)	3. 3~4	1.8	2.0	7.5	4.3	0.0	8.7
	4. 3~4	13.5	10.4	17.8	23.0	2.0	24.1
	5. 3~4	5.3	6.5	10.0	2.3	0.0	12.3
	6. 3~4	52.5	12.3	87.6	77.0	4.3	199.8
	7. 3~4	1.3	11.5	5.5	22.0	74.7	13.2
	8. 3~4	8.5	6.2	16.6	5.3	1.0	17.8
	9. 3~4	3.5	0.8	32.9	3.7	2.0	49.9
	10. 3~4	0.3	0.1	7.7	1.7	1.0	11.3
発生ほ場率 (%)	3. 3~4	22.7	13.6	37.9	33.3	0.0	48.3
	4. 3~4	31.8	13.6	30.6	33.3	33.3	36.7
	5. 3~4	13.6	22.7	25.8	16.7	0.0	15.0
	6. 3~4	68.2	42.1	51.6	50.0	33.3	53.3
	7. 3~4	13.6	38.1	34.6	16.7	100.0	40.3
	8. 3~4	31.8	0.0	40.5	50.0	16.7	41.7
	9. 3~4	13.6	4.5	50.9	16.7	33.3	46.7
	10. 3~4	4.5	4.5	29.1	33.3	16.7	38.3

(参考)

平成25年 2月、3月の越冬状況

項目	山城			丹波			
	平成25年	平成24年	平年	平成25年	平成24年	平年	
2月	寄生葉率 (%)	0.0	0.3	1.4	0.0	0.2	1.4
	赤色化虫率 (%)	0.0	56.8	37.2	-	0.0	38.0
	産卵葉率 (%)	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.6
	着色卵率 (%)	-	-	46.9	-	-	36.7
	発生ほ場率 (%)	4.5	18.2	35.5	0.0	16.7	25.0
3月	寄生葉率 (%)	1.5	1.3	2.5	0.0	0.0	2.9
	産卵葉率 (%)	1.0	0.7	1.5	0.0	0.0	1.8
	発生ほ場率 (%)	27.3	22.7	35.2	0.0	0.0	41.7

オ チャノコカクモンハマキ (指定)

表 1 0 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
山城	並	並	やや多	多	やや多	多	やや多	やや多
丹波	並	やや多	並	多	並	並	やや多	

表 1 1 発生状況

項目	月・半月	山城			丹波		
		平成24年	平成23年	平年	平成24年	平成23年	平年
幼虫・蛹数 (㎡当たり)	4. 3~4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
	5. 3~4	0.0	0.3	0.0	0.2	0.0	0.2
	6. 3~4	0.0	0.6	0.1	0.3	1.5	0.5
	7. 3~4	0.7	0.0	0.1	5.8	0.5	1.1
	8. 3~4	0.1	0.0	0.5	0.0	0.0	1.1
	9. 3~4	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.2
	10. 3~4	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0	0.2
綴葉数 (㎡当たり)	4. 3~4	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.7
	5. 3~4	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0
	6. 3~4	0.4	0.9	0.2	1.5	1.7	3.3
	7. 3~4	1.8	0.0	0.2	12.0	0.7	2.1
	8. 3~4	1.8	0.1	0.8	0.8	0.0	2.6
	9. 3~4	7.0	0.8	1.3	2.5	0.0	3.1
	10. 3~4	2.5	0.1	0.7	0.2	0.0	0.7
発生ほ場率 (%)	4. 3~4	0.0	0.0	4.1	0.0	0.0	15.0
	5. 3~4	0.0	11.1	1.8	16.7	0.0	6.7
	6. 3~4	9.1	21.1	4.4	33.3	50.0	22.8
	7. 3~4	28.6	0.0	5.9	83.3	33.3	35.0
	8. 3~4	19.0	0.0	5.5	16.7	0.0	20.0
	9. 3~4	42.9	18.2	15.0	50.0	0.0	23.3
	10. 3~4	22.7	6.3	5.6	16.7	0.0	18.3

カ チャノホソガ

表 1 2 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
山城	多	多	並	多	やや少	やや少	やや少	並
丹波	並	並	やや多	並	少	やや少	並	

表 1 3 発生状況

項目	月・半月	山城			丹波		
		平成24年	平成23年	平年	平成24年	平成23年	平年
寄生芽率 (%)	4. 3~4	-	-	2.7	-	-	17.8
	5. 3~4	5.6	0.2	1.4	0.0	0.0	0.5
	6. 3~4	10.6	2.7	12.6	74.0	0.0	29.4
	7. 3~4	27.0	0.1	11.6	2.3	0.8	9.0
	8. 3~4	4.5	3.5	15.4	0.0	0.0	18.5
	9. 3~4	14.4	14.6	26.7	0.0	0.3	8.3
	10. 3~4	6.1	16.5	11.6	2.0	9.0	25.0
三角葉巻数 (㎡当たり)	4. 3~4	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5. 3~4	0.4	0.0	0.5	0.0	0.0	1.2
	6. 3~4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
	7. 3~4	4.0	0.6	0.6	0.2	0.0	0.9
	8. 3~4	0.3	2.1	3.9	0.0	0.0	1.2
	9. 3~4	1.3	6.4	8.4	0.3	0.0	1.6
	10. 3~4	1.1	27.7	14.1	0.0	2.2	4.7
発生ほ場率 (%)	4. 3~4	18.2	0.0	11.1	0.0	0.0	13.3
	5. 3~4	38.9	5.9	17.9	0.0	0.0	22.0
	6. 3~4	31.8	15.8	26.5	16.7	16.7	31.2
	7. 3~4	100.0	14.3	46.9	50.0	16.7	57.7
	8. 3~4	33.3	0.0	55.9	0.0	0.0	45.0
	9. 3~4	57.1	59.1	63.2	16.7	16.7	47.3
	10. 3~4	36.4	62.5	54.9	33.3	50.0	46.7

キ チャノキイロアザミウマ

表 1 4 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
山城	-	少	並	やや少	少	やや少	並	やや少
丹波	-	少	並	やや少	やや少	やや少	やや少	

表 1 5 発生状況

項目	月・半旬	山城			丹波		
		平成24年	平成23年	平年	平成24年	平成23年	平年
被害芽率 (%)	4. 3~4	-	-	11.5	-	-	11.2
	5. 3~4	1.7	8.5	8.5	0.0	0.3	2.3
	6. 3~4	16.6	3.3	28.6	22.0	44.0	23.4
	7. 3~4	39.1	24.6	50.1	6.0	15.2	22.5
	8. 3~4	16.7	47.7	34.9	25.3	24.3	32.9
	9. 3~4	22.3	13.2	27.4	8.4	4.7	22.5
	10. 3~4	28.7	13.8	28.1	6.7	5.5	22.6
虫数 (100芽当たり)	4. 3~4	-	-	4.8	-	-	0.7
	5. 3~4	0.9	13.1	25.0	0.0	0.0	1.5
	6. 3~4	15.1	1.0	25.4	8.0	14.0	13.5
	7. 3~4	72.7	32.6	178.9	1.3	14.0	33.0
	8. 3~4	23.2	18.8	56.9	0.0	5.0	34.8
	9. 3~4	5.4	11.7	41.9	1.6	4.0	13.0
	10. 3~4	15.3	21.9	54.1	0.0	6.0	11.3
発生ほ場率 (%)	4. 3~4	-	-	69.1	-	-	100.0
	5. 3~4	30.8	73.3	58.2	0.0	16.7	45.5
	6. 3~4	83.3	80.0	79.6	100.0	100.0	77.8
	7. 3~4	100.0	100.0	97.6	66.7	100.0	85.0
	8. 3~4	73.7	100.0	95.3	100.0	100.0	87.5
	9. 3~4	84.2	90.9	89.5	80.0	33.3	77.0
	10. 3~4	91.7	93.8	88.2	66.7	75.0	79.5

ク チャノミドリヒメヨコバイ

表 1 6 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
山城	-	やや多	やや多	やや多	並	多	やや多	やや多
丹波	-	並	並	やや少	やや少	多	やや多	

表 1 7 発生状況

項目	月・半旬	山城			丹波		
		平成24年	平成23年	平年	平成24年	平成23年	平年
被害芽率 (%)	4. 3~4	-	-	0.5	-	-	0.4
	5. 3~4	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3
	6. 3~4	1.4	0.0	0.8	2.0	2.0	9.4
	7. 3~4	3.0	2.6	1.5	0.7	3.2	8.4
	8. 3~4	0.8	4.9	2.0	1.0	17.3	7.1
	9. 3~4	9.0	7.3	2.4	20.8	1.3	6.5
	10. 3~4	4.0	8.1	2.7	24.0	3.5	6.0
虫数 (100芽当たり)	4. 3~4	-	-	0.0	-	-	0.0
	5. 3~4	0.0	0.2	0.2	0.3	0.7	0.3
	6. 3~4	1.7	0.0	0.8	2.0	2.0	12.7
	7. 3~4	3.6	2.6	2.7	0.0	2.8	10.8
	8. 3~4	0.8	5.0	2.2	0.3	7.3	5.7
	9. 3~4	14.7	10.6	3.4	22.8	1.7	8.6
	10. 3~4	8.4	12.4	3.9	14.0	3.5	8.1
発生ほ場率 (%)	4. 3~4	-	-	11.0	-	-	16.7
	5. 3~4	14.3	5.9	5.7	16.7	16.7	15.0
	6. 3~4	42.9	28.6	8.5	100.0	100.0	63.0
	7. 3~4	42.9	56.3	17.1	16.7	60.0	50.7
	8. 3~4	23.8	59.1	22.0	33.3	83.3	56.5
	9. 3~4	76.2	63.6	26.4	80.0	33.3	35.3
	10. 3~4	35.7	62.5	24.4	66.7	50.0	34.0

ケ ツマグロアオカスミカメ

表 18 発生量の年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
山城	平成23年	多	並	やや少	多	やや多	やや多	やや多
丹波	平成24年	多	並	並	並	やや多	並	

表 19 発生状況

項目	月・半旬	山城			丹波		
		平成24年	平成23年	平成22年	平成24年	平成23年	平成22年
被害芽率 (%)	4. 3~4	-	-	0.2	-	-	0.0
	5. 3~4	0.3	0.0	1.1	9.3	0.0	3.4
	6. 3~4	0.3	4.0	0.6	0.0	2.0	0.6
	7. 3~4	0.9	0.1	0.2	10.7	17.6	8.7
	8. 3~4	0.5	2.3	0.7	25.3	10.7	5.6
	9. 3~4	0.0	0.0	0.5	1.8	1.3	1.0
	10. 3~4	3.0	0.0	0.7	0.0	0.5	1.2
被害芽数 (㎡当たり)	4. 3~4	0.4	0.0	0.0	3.5	0.8	0.2
	5. 3~4	0.4	0.9	1.2	6.3	1.0	11.4
	6. 3~4	0.0	0.5	0.7	3.2	4.8	1.8
	7. 3~4	1.2	0.0	0.2	22.2	37.5	13.4
	8. 3~4	1.8	0.4	0.8	5.7	23.0	11.4
	9. 3~4	1.0	0.2	0.5	0.0	0.5	1.7
	10. 3~4	0.4	0.1	0.4	0.0	5.2	2.6
発生ほ場率 (%)	4. 3~4	4.5	0.0	2.3	50.0	16.7	6.7
	5. 3~4	11.1	22.2	18.4	66.7	33.3	72.7
	6. 3~4	4.5	26.3	13.5	33.3	83.3	38.7
	7. 3~4	42.9	4.8	9.2	66.7	83.3	68.5
	8. 3~4	47.6	63.6	27.3	83.3	100.0	66.7
	9. 3~4	23.8	4.5	13.2	33.3	66.7	44.0
	10. 3~4	40.9	6.3	12.5	0.0	66.7	42.3

コ クワシロカイガラムシ

表 20 発生量の年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
山城	少	やや少	並	少	やや少	並	並	やや少
丹波	並	並	並	やや多	並	並	多	

表 21 発生状況

項目	月・半旬	山城			丹波		
		平成24年	平成23年	平成22年	平成24年	平成23年	平成22年
寄生株率 (%)	4. 3~4	3.9	31.4	17.4	0.8	16.7	8.4
	5. 3~4	4.7	26.7	15.2	5.0	28.3	8.8
	6. 3~4	16.1	20.7	18.2	6.7	28.3	15.7
	7. 3~4	3.4	8.8	17.3	16.7	30.0	15.0
	8. 3~4	16.6	9.5	15.0	35.0	45.8	21.6
	9. 3~4	22.0	9.1	16.4	7.5	5.0	9.7
	10. 3~4	27.3	7.7	17.5	44.2	40.0	17.9
発生ほ場率 (%)	4. 3~4	27.3	72.7	54.8	16.7	100.0	46.7
	5. 3~4	33.3	88.9	55.9	33.3	83.3	41.7
	6. 3~4	63.6	72.7	58.4	50.0	83.3	63.3
	7. 3~4	31.8	28.6	66.0	100.0	83.3	48.3
	8. 3~4	45.5	54.5	60.0	66.7	83.3	63.3
	9. 3~4	54.5	40.9	60.5	66.7	50.0	43.3
	10. 3~4	59.1	31.8	60.5	100.0	83.3	56.7

サ チャトゲコナジラミ
表 2.2 発生状況

項目	月・半旬	山城			丹波		
		平成24年	平成23年	平年	平成24年	平成23年	平年
寄生箇所率 (%)	4. 3～4	48.6	63.4	0.0	13.3	1.7	0.0
	5. 3～4	46.8	60.0	0.0	6.7	5.0	0.0
	6. 3～4	34.5	40.0	0.0	14.2	5.0	0.0
	7. 3～4	56.1	40.0	0.0	35.0	5.0	0.0
	8. 3～4	34.1	40.0	0.0	25.0	5.0	0.0
	9. 3～4	24.8	23.4	0.0	40.8	8.3	0.0
	10. 3～4	13.6	23.4	0.0	38.3	8.3	0.0
発生ほ場率 (%)	4. 3～4	90.9	90.9	0.0	66.7	33.3	0.0
	5. 3～4	77.3	81.8	0.0	83.3	50.0	0.0
	6. 3～4	77.3	70.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	7. 3～4	95.5	70.0	0.0	83.3	50.0	0.0
	8. 3～4	72.7	70.0	0.0	66.7	50.0	0.0
	9. 3～4	68.2	81.8	0.0	66.7	33.3	0.0
	10. 3～4	54.5	81.8	0.0	66.7	33.3	0.0

(9) 茶 樹

生育概要

本年は、年明け以降3月までの平均気温が低く、新芽の始動が緩慢となった。そのため、平成24年の一番茶萌芽日は、自然仕立て園で平年比3日遅い4月9日、弧状仕立て園で平年比11日遅い4月19日となった。萌芽日以降の新芽の生育は、4月中旬まで平均気温が低く経過したことから、平年と比較して緩慢に推移した。

その後、4月下旬の気温の上昇により、生育が回復し、最終の生育調査日（5月5日）における生育ステージは、自然仕立て園の新芽長が12.1cm（平年差+1.5cm）と平年より伸育した。また、自然仕立ての新葉数が3.8枚、弧状仕立て園では、新芽長が4.8cm、新葉数が3.3枚と平年並であった。

（茶業研究所発表の「平成24年一番茶萌芽・生育状況」一部抜粋）

病害虫発生状況

ア 炭そ病（指定）

表1 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
山城	並	並	やや多	やや多	多	多	多	多
丹波	並	並	やや多	並	やや多	やや多	多	

表2 発生状況

項目	月・半月	山城			丹波		
		平成24年	平成23年	平年	平成24年	平成23年	平年
病葉数（枚／㎡）	4. 3～4	0.5	0.0	0.8	0.8	0.0	0.8
	5. 3～4	0.2	2.0	1.1	0.0	0.0	0.3
	6. 3～4	3.2	3.4	2.0	5.2	2.3	1.1
	7. 3～4	1.2	0.0	0.4	1.0	1.8	0.8
	8. 3～4	3.5	0.0	0.2	2.0	10.7	2.8
	9. 3～4	5.0	0.0	0.4	1.8	0.5	2.6
	10. 3～4	3.5	0.8	0.8	6.2	0.5	0.9
発生ほ場率（％）	4. 3～4	9.1	0.0	18.9	50.0	0.0	16.7
	5. 3～4	22.2	11.1	15.4	0.0	0.0	11.7
	6. 3～4	50.0	63.2	26.0	50.0	83.3	45.2
	7. 3～4	57.1	0.0	6.3	50.0	33.3	31.2
	8. 3～4	52.4	0.0	6.8	66.7	50.0	26.7
	9. 3～4	52.4	0.0	9.5	66.7	16.7	41.7
	10. 3～4	36.4	12.5	12.2	100.0	16.7	25.0

イ もち病

表3 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
山城	並	並	並	並	並	並	並	並
丹波	並	並	並	並	並	並	並	

表4 発生状況

項目	月・半月	山城			丹波		
		平成24年	平成23年	平年	平成24年	平成23年	平年
病葉数 (枚/m ²)	4. 3~4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5. 3~4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6. 3~4	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
	7. 3~4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	8. 3~4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	9. 3~4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10. 3~4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6
発生ほ場率 (%)	4. 3~4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7
	5. 3~4	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0
	6. 3~4	0.0	15.8	3.1	0.0	0.0	0.0
	7. 3~4	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0
	8. 3~4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	9. 3~4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10. 3~4	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	8.3

ウ 輪斑病

表5 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
山城	並	並	並	並	並	並	並	並
丹波	並	並	並	並	並	並	やや少	

表6 発生状況

項目	月・半月	山城			丹波		
		平成24年	平成23年	平年	平成24年	平成23年	平年
病葉数 (枚/m ²)	4. 3~4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5. 3~4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6. 3~4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	7. 3~4	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.3
	8. 3~4	0.0	0.0	0.3	0.0	0.5	3.6
	9. 3~4	0.0	0.0	0.5	0.0	0.3	2.4
	10. 3~4	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	0.6
発生ほ場率 (%)	4. 3~4	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0
	5. 3~4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7
	6. 3~4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	7. 3~4	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	6.7
	8. 3~4	0.0	0.0	3.6	0.0	33.3	26.7
	9. 3~4	0.0	0.0	5.5	0.0	16.7	18.3
	10. 3~4	4.5	0.0	5.0	0.0	16.7	21.7

(10) キュウリ

病害虫の発生状況

ア ベと病

- ・露地栽培：全般的に平年並の発生で推移した。5月、6月は発生を認めなかった（5月：平年並、6月：やや少ない）。
- ・施設栽培：発病株率が9月に2.0%、10月に32.0%、11月に42.7%となった。

イ うどんこ病

- ・露地栽培：全般的に平年並の発生で推移した。5月、8月は発生を認めなかった。
- ・施設栽培：発病株率が9月に8.0%、10月に50.7%、11月に88.0%となった。

ウ 炭そ病：7月に平年比多い発生を認めた。

エ 斑点細菌病：発生を認めなかった（平年並）。

オ 褐斑病：11月の施設栽培でのみ発生を認めた。

カ アブラムシ類

- ・露地栽培：全般的に平年比やや少ない～少ない発生で推移した。6月、8月は発生を認めなかった。
- ・施設栽培：10月に0.7%の発病葉率となった。

キ アザミウマ類

- ・露地栽培：5月、7月は平年比やや多く、6月は平年並、8月は発生を認めなかった（平年並）。
- ・施設栽培：発生を認めなかった。

ク ハダニ類

- ・露地栽培：5月に平年並、7月に平年比多い発生であった。6月、8月は発生を認めなかった。カンザワハダニを中心に、ナミハダニの発生も認めた。
- ・施設栽培：発生を認めなかった。

ケ ハモグリバエ類

- ・露地栽培：6月に平年比やや多く、7月、8月に平年比やや少ない発生を認めた。
- ・施設栽培：被害株率が9月に94.0%、10月に58.7%、11月に37.3%となった。

コ ハスモンヨトウ：発生を認めなかった。

表1 巡回調査結果（露地栽培） (25株(2葉)調査(%))

調査 時期 (月・半旬)	年次	べと病			うどんこ病			炭そ病			斑点細菌病			褐斑病		
		発病 葉率	発病 株率	発生 ほ場率	発病 葉率	発病 株率	発生 ほ場率	発病 葉率	発病 株率	発生 ほ場率	発病 葉率	発病 株率	発生 ほ場率	発病 葉率	発病 株率	発生 ほ場率
5・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0	—	—	—
	23年	0.0	11.0	75.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0	—	—	—
	平年	0.3	1.9	12.0	0.1	0.1	2.5	—	—	—	0.0	0.0	0.0	—	—	—
6・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	2.0	6.0	75.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0	—	—	—
	23年	0.5	26.0	100.0	0.5	1.0	25.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0	—	—	—
	平年	2.2	11.3	43.5	5.8	11.3	43.8	—	—	—	0.0	0.0	0.0	—	—	—
7・3～4	24年	8.7	25.3	100.0	9.7	24.0	66.7	0.3	6.7	50.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—
	23年	66.3	66.7	66.7	3.3	6.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—
	平年	18.0	27.2	58.9	15.6	23.1	49.1	0.2	0.8	5.8	0.2	1.8	5.7	—	—	—
8・3～4	24年	4.0	38.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	23年	5.0	30.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.0	30.0	100.0
	平年	26.0	42.7	82.3	5.4	11.0	34.5	0.2	0.5	7.5	1.9	3.9	12.7	15.0	26.4	54.7

表2 巡回調査結果（露地栽培） (25株(2葉)調査(%)、害虫の個体数は1葉当たり)

調査 時期 (月・半旬)	年次	アブラムシ類			アザミウマ類			ハダニ類			ハモグリバエ類		
		寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率	被害 葉率	被害 株率	発生 ほ場率
5・3～4	24年	0.01	0.5	25.0	0.43	24.0	100.0	0.01	1.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	23年	0.03	5.0	50.0	0.46	31.0	100.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.05	4.7	56.5	0.23	14.5	63.5	0.08	3.3	21.5	0.1	0.9	12.5
6・3～4	24年	0.00	0.0	0.0	0.58	24.5	75.0	0.00	0.0	25.0	7.5	33.0	100.0
	23年	0.01	0.5	25.0	0.32	18.5	50.0	0.00	0.0	0.0	2.0	9.0	50.0
	平年	0.07	1.6	38.5	0.63	23.4	76.6	0.11	1.9	18.6	3.5	14.2	63.8
7・3～4	24年	0.01	0.3	16.7	1.30	31.7	100.0	0.22	10.7	83.3	2.7	10.7	100.0
	23年	4.69	8.3	16.7	0.05	3.0	33.3	0.00	0.0	0.0	6.3	13.3	83.3
	平年	0.66	2.1	28.3	1.57	20.4	65.5	0.21	2.8	21.6	10.5	26.6	87.0
8・3～4	24年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	4.0	28.0	100.0
	23年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	3.0	18.0	100.0
	平年	4.58	6.5	42.0	0.01	0.7	11.2	0.53	4.0	22.3	18.1	46.2	86.7

表3 巡回調査結果（施設栽培） (25株(2葉)調査(%))

調査 時期 (月・半旬)	年次	べと病			うどんこ病			斑点細菌病			褐斑病		
		発病 葉率	発病 株率	発生 ほ場率	発病 葉率	発病 株率	発生 ほ場率	発病 葉率	発病 株率	発生 ほ場率	発病 葉率	発病 株率	発生 ほ場率
9・1～2	24年	0.0	2.0	50.0	0.0	8.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	42.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10・1～2	24年	13.3	32.0	66.7	16.7	50.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	23年	0.0	0.0	0.0	29.3	58.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11・1～2	24年	30.0	42.7	66.7	40.0	88.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.7	2.7	33.3
	23年	9.3	18.7	100.0	73.3	96.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※ 平成21年から病害虫発生調査の時期を変更しました。

表4 巡回調査結果（施設栽培） (25株(2葉)調査(%)、害虫の個体数は1葉当たり)

調査 時期 (月・半旬)	年次	アブラムシ類			アザミウマ類			ハダニ類			ハモグリバエ類			ハスモンヨトウ		
		寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率	被害 葉率	被害 株率	発生 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率
9・1～2	24年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	13.0	94.0	100.0	0.00	0.0	0.0
	23年	0.00	0.0	0.0	0.02	2.0	50.0	0.00	0.0	0.0	0.0	44.0	100.0	0.00	0.0	0.0
	平年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10・1～2	24年	0.11	0.7	33.3	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	8.0	58.7	66.7	—	—	—
	23年	0.01	0.7	33.3	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	27.3	65.3	66.7	—	—	—
	平年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11・1～2	24年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	8.0	37.3	100.0	—	—	—
	23年	0.67	1.3	33.3	0.17	5.3	66.7	0.00	0.0	0.0	10.0	44.0	100.0	—	—	—
	平年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※ 平成21年から病害虫発生調査の時期を変更しました。

(11) トマト

病害虫の発生状況

- ア 疫病：発生を認めなかった。
- イ 灰色かび病：発生を認めなかった。
- ウ 葉かび病：6月に発生を認めた。
- エ モザイク病：6月に発生を認めた。
- オ うどんこ病：6月に発生を認めた。
- カ アブラムシ類：6月に発生を認めた。
- キ アザミウマ類：3月、5～6月に発生を認めた。
- ク コナジラミ類：発生は認めなかった。
- ケ ハモグリバエ類：5～6月に発生を認めた。

表1 巡回調査結果(トマト、病害)

調査時期 月・半年	年次	疫病		灰色かび病		葉かび病			モザイク病		うどんこ病	
		発病 株率	発生 ほ場率	発病 果率	発生 ほ場率	発病 葉率	発病 株率	発生 ほ場率	発病 株率	発生 ほ場率	発病 株率	発生 ほ場率
3・3～4	24年	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	23年	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	(平年)	(0.0)	(0.0)	-	-	(1.0)	(2.9)	(6.7)	(0.0)	(0.0)	-	-
4・1～2	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	(平年)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(4.3)	(11.4)	(17.4)	(0.0)	(0.0)	-	-
5・1～2	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	(平年)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(5.6)	(17.0)	(45.9)	(0.0)	(1.7)	-	-
6・1～2	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	7.2	40.0	0.8	20.0	0.8	20.0
	23年	0.0	0.0	0.4	40.0	2.8	17.6	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	(平年)	(0.0)	(0.0)	(0.2)	(11.1)	(24.0)	(37.7)	(67.5)	(0.3)	(7.6)	(18.5)	(40.0)

注：施設栽培、()内の平年値は調査時期(3月：第5半年、4～6月：第3～4半年)が現在と異なるため参考とすること

表2 巡回調査結果(トマト、害虫)

(単位：%、頭/葉)

調査時期 月・半年	年次	アブラムシ類			アザミウマ類			コナジラミ類			ハモグリバエ類		
		寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率	被害 葉率	被害 株率	発生 ほ場率
3・3～4	24年	0.00	0.0	0.0	0.03	1.5	25.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	23年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	(平年)	(0.00)	(0.1)	(3.3)	(0.01)	(0.2)	(2.0)	(0.00)	(0.0)	(0.0)	(0.3)	(2.2)	(3.7)
4・1～2	24年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	23年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	(平年)	(0.01)	(1.0)	(12.8)	(0.00)	(0.1)	(4.0)	(0.00)	(0.0)	(1.4)	(0.1)	(2.9)	(8.9)
5・1～2	24年	0.00	0.0	0.0	0.01	0.4	20.0	0.00	0.0	0.0	0.0	4.8	40.0
	23年	0.01	0.4	20.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	(平年)	(0.01)	(0.7)	(24.8)	(0.01)	(0.3)	(7.0)	(0.01)	(0.3)	(2.9)	(1.0)	(9.8)	(31.9)
6・1～2	24年	0.02	1.2	20.0	0.02	1.6	40.0	0.00	0.0	0.0	2.8	18.4	40.0
	23年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	(平年)	(0.01)	(0.3)	(10.0)	(0.02)	(0.8)	(17.5)	(0.68)	(2.3)	(21.1)	(10.2)	(35.5)	(72.4)

注：施設栽培、()内の平年値は調査時期(3月：第5半年、4～6月：第3～4半年)が現在と異なるため参考とすること

(12) ナス

病害虫の発生状況

- ア うどんこ病：5月～7月には発生を認めなかったが、8月、9月は平年並、10月には平年比やや多くなった。
- イ 灰色かび病：発生を認めなかった。
- ウ 褐色円星病：8月は平年並、9月は平年比やや多く、10月には平年比多い発生となった。
- エ アブラムシ類：5月の発生は平年比やや少なく、6月は平年並、7月、9月は平年比やや多かった。8月、10月は発生を認めなかった。
- オ アザミウマ類：全般的に平年比やや多い～多く推移した。8月、10月の発生は平年比やや少なかった。
- カ ハダニ類：6月～9月に平年並～平年比多い発生を認めた。発生種は、ナミハダニ、カンザワハダニであった。
- キ ハモグリバエ類：全般的に平年比やや少ない～少ない発生で推移した。6月は平年並の発生であったものの、9月、10月は平年比やや少なく、5月、7月、8月は平年比少なかった。

表1 巡回調査結果 (10株(5葉・5果)調査(%))

調査時期 (月・半月)	年次	うどんこ病			灰色かび病		褐色円星病		
		発 病 葉 率	発 病 株 率	発 生 ほ 場 率	発 病 果 率	発 生 ほ 場 率	発 病 葉 率	発 病 株 率	発 生 ほ 場 率
5・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0
	23年	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0
6・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.0	4.9	15.1	0.0	0.0	0.2	2.8	9.3
8・3～4	24年	2.8	12.5	50.0	0.0	0.0	0.0	2.5	12.5
	23年	11.0	31.3	75.0	0.0	0.0	1.5	22.5	75.0
	平年	7.2	19.5	36.2	0.0	0.0	2.2	14.7	34.4
9・3～4	24年	15.3	45.0	62.5	0.0	0.0	9.8	41.3	75.0
	23年	13.0	46.3	62.5	0.0	0.0	5.8	30.0	62.5
	平年	14.6	37.4	63.6	0.0	1.1	5.6	27.4	50.7
10・3～4	24年	33.0	61.7	100.0	0.0	0.0	31.3	55.0	100.0
	23年	27.0	58.8	87.5	0.0	0.0	8.8	30.0	50.0
	平年	20.5	48.4	78.1	0.0	0.0	6.7	24.9	49.6

注：灰色かび病は例年値

表2 巡回調査結果

〈10株(5葉・5果)調査(%)、害虫個体数は1葉当たり〉

調査時期 (月・半旬)	年次	アブラムシ類			アザミウマ類			ハダニ類		
		寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率
5・3～4	24年	0.15	10.7	83.3	0.04	3.7	50.0	0.00	0.0	0.0
	23年	0.13	11.5	100.0	0.01	0.8	25.0	0.00	0.0	0.0
	平年	0.23	15.6	95.0	0.02	1.7	33.7	0.02	1.0	16.3
6・3～4	24年	0.13	7.0	75.0	0.26	16.0	100.0	0.30	1.8	25.0
	23年	0.27	11.8	75.0	0.05	3.5	62.5	0.03	0.5	12.5
	平年	0.15	7.3	71.2	0.15	8.4	62.5	0.03	0.8	20.4
7・3～4	24年	0.42	6.5	12.5	0.11	7.8	50.0	1.18	6.8	50.0
	23年	0.00	0.0	0.0	0.01	1.0	25.0	0.00	0.0	0.0
	平年	0.11	0.3	16.9	0.03	2.2	39.2	0.16	1.0	12.6
8・3～4	24年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.3	12.5	0.40	6.5	37.5
	23年	0.07	2.5	37.5	0.01	0.8	25.0	0.31	3.3	37.5
	平年	0.05	1.7	29.4	0.02	1.7	34.3	0.83	3.4	15.7
9・3～4	24年	0.05	0.8	25.0	0.01	0.5	25.0	0.03	1.5	12.5
	23年	0.00	0.3	12.5	0.00	0.3	12.5	0.96	14.8	25.0
	平年	0.03	0.8	14.2	0.04	1.5	17.1	0.34	3.4	21.1
10・3～4	24年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	23年	0.85	15.0	50.0	0.01	0.8	12.5	17.77	24.0	25.0
	平年	0.26	3.9	26.8	0.01	0.6	22.0	1.92	4.0	23.1

表3 巡回調査結果

〈10株(5葉・5果)調査(%)、害虫個体数は1葉当たり〉

調査時期 (月・半旬)	年次	ハモグリバエ類			コナジラミ類		
		被害 葉率	被害 株率	発生 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率
5・3～4	24年	1.3	6.7	33.3	—	—	—
	23年	4.5	20.0	75.0	—	—	—
	平年	9.7	29.2	68.6	—	—	—
6・3～4	24年	3.0	20.0	87.5	—	—	—
	23年	7.0	37.5	100.0	—	—	—
	平年	4.4	23.9	66.3	—	—	—
7・3～4	24年	0.0	5.0	37.5	0.00	0.3	12.5
	23年	2.8	18.8	62.5	0.00	0.0	0.0
	平年	4.9	28.5	73.8	0.08	2.4	15.5
8・3～4	24年	3.0	16.3	62.5	0.01	0.5	12.5
	23年	8.0	42.5	87.5	0.01	0.8	37.5
	平年	12.2	54.4	87.8	0.19	5.9	48.4
9・3～4	24年	15.0	50.0	75.0	0.07	4.8	25.0
	23年	13.5	52.5	87.5	0.02	1.0	37.5
	平年	35.1	81.2	95.3	1.00	12.0	55.1
10・3～4	24年	25.7	33.3	33.3	0.03	1.7	50.0
	23年	16.0	53.0	87.5	0.07	4.5	75.0
	平年	44.5	88.8	98.8	0.38	6.4	41.7

注：コナジラミ類は例年値。

(13) トウガラシ

病害虫の発生状況

- ア うどんこ病：7月に発生を認めた。
- イ 斑点病：7～9月に発生を認めた。
- ウ モザイク病：発生を認めなかった。
- エ アブラムシ類：5～6月、8～9月に発生を認めた。
- オ アザミウマ類：6～8月に発生を認めた。
- カ ハダニ類：5月、7～8月に発生を認めた。
- キ タバコガ：被害を認めなかった。
- ク コナジラミ類：7月に発生を認めた。

表1 巡回調査結果(トウガラシ)

(単位：%、頭/葉)

調査 時期 月・半旬	年次	うどんこ病			斑点病			モザイク病		アブラムシ類		
		発病 葉率	発病 株率	発生 ほ場率	発病 葉率	発病 株率	発生 ほ場率	発病 株率	発生 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率
5・1～2	24年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.05	3.6	40.0
	23年	1.2	6.0	20.0	—	—	—	0.0	0.0	0.28	4.4	40.0
	(平年)	(2.6)	(6.0)	(10.8)	—	—	—	(10.2)	(16.7)	(0.02)	(0.5)	(18.0)
6・1～2	24年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.56	5.2	40.0
	23年	16.0	25.0	25.0	—	—	—	0.0	0.0	0.01	0.5	25.0
	(平年)	(5.4)	(10.0)	(16.7)	—	—	—	(0.5)	(1.7)	(0.10)	(2.0)	(23.3)
7・1～2	24年	2.0	10.0	60.0	2.0	18.0	40.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	23年	0.0	0.0	0.0	0.7	3.3	33.3	0.0	0.0	0.13	4.0	33.3
	(平年)	(6.1)	(14.5)	(34.3)	(0.5)	(3.3)	(7.2)	(3.0)	(8.0)	(0.03)	(0.7)	(13.7)
8・1～2	24年	0.0	0.0	0.0	4.5	25.0	25.0	0.0	0.0	0.24	7.0	75.0
	23年	1.3	3.3	33.3	4.7	30.0	33.3	3.3	33.3	0.03	0.7	33.3
	(平年)	(14.9)	(26.7)	(47.5)	(2.8)	(14.7)	(18.3)	(1.7)	(1.7)	(0.20)	(5.9)	(14.2)
9・1～2	24年	0.0	0.0	0.0	20.7	33.3	33.3	0.0	0.0	1.42	10.0	33.3
	23年	8.0	20.0	50.0	22.0	50.0	50.0	0.0	0.0	3.31	24.0	50.0
	(平年)	(50.0)	(66.0)	(86.7)	(10.5)	(19.0)	(19.0)	(1.0)	(5.0)	(0.03)	(1.2)	(33.3)

注：施設栽培、()内の平年値は調査時期(第3～4半旬)が異なるため参考とすること

表2 巡回調査結果(トウガラシ)

(単位：%、頭/葉)

調査 時期 月・半旬	年次	アザミウマ類			ハダニ類			タバコガ		コナジラミ類		
		寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率	被害 果率	発生 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率
5・1～2	24年	0.00	0.0	0.0	0.01	0.8	40.0	—	—	0.00	0.0	0.0
	23年	0.004	0.4	20.0	0.18	7.2	20.0	—	—	0.004	0.4	20.0
	(平年)	(0.00)	(0.1)	(3.3)	(0.16)	(4.6)	(25.4)	—	—	(0.03)	(1.6)	(5.6)
6・1～2	24年	0.004	0.4	20.0	0.00	0.0	0.0	—	—	0.00	0.0	0.0
	23年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	—	—	0.11	6.0	25.0
	(平年)	(0.00)	(0.8)	(22.0)	(0.20)	(3.5)	(35.7)	—	—	(0.00)	(0.3)	(11.1)
7・1～2	24年	0.01	0.8	10.0	0.06	2.0	40.0	0.0	0.0	0.02	2.0	40.0*
	23年	0.00	0.0	0.0	0.08	4.0	33.3	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	(平年)	(0.02)	(1.5)	(20.3)	(0.34)	(7.5)	(32.3)	(0.0)	(1.7)	(0.03)	(1.9)	(16.7)
8・1～2	24年	0.01	0.5	25.0	0.01	0.5	25.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	23年	0.00	0.0	0.0	0.01	1.3	33.3	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	(平年)	(0.01)	(0.5)	(18.3)	(0.02)	(0.9)	(15.0)	(0.0)	(1.7)	(0.00)	(0.3)	(16.7)
9・1～2	24年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	23年	0.00	0.0	0.0	0.06	15.0	50.0	1.0	50.0	0.00	0.0	0.0
	(平年)	(0.00)	(0.0)	(0.0)	(0.01)	(0.5)	(17.5)	(0.3)	(2.5)	(0.00)	(0.0)	(0.0)

注：施設栽培、()内の平年値は調査時期(第3～4半旬)が現在と異なるため参考とすること

*幼虫の寄生を確認したので、ほ場率に含めた。

(14) キャベツ

病害虫の発生状況

- ア 菌核病：3月に平年比やや多い発生を認め、4月にも周辺ほ場で発生を認めた。
- イ 黒腐病：発生を認めなかった。
- ウ ベと病：発生を認めなかった。
- エ アブラムシ類：4月は平年比やや多く、4月、10月は平年並、9月は平年比やや少ない発生であった。5月、11月は発生を認めなかった（平年比少ない）。
- オ コナガ：発生を認めなかった（平年並～平年比少ない）。
- カ ハスモンヨトウ：発生を認めなかった（平年並）。
- キ モンシロチョウ：9月、10月に平年並の発生を認めた。
- ク ヨトウガ：9月に平年比やや多い発生を認めた以外は発生を認めなかった（平年並）。
- ケ ウワバ類：発生を認めなかった（平年並～平年比少ない）。

表1 巡回調査結果(春キャベツ)

〈25株調査(%)、害虫個体数は10株当たり〉

調査時期 (月・半旬)	年次	菌核病		黒腐病		べと病		アブラムシ類		
		発病株率	発生ほ場率	発病株率	発生ほ場率	発病株率	発生ほ場率	寄生虫数	寄生株率	発生ほ場率
3・3～4	24年	0.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	4.7	83.3
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	2.0	33.3
	平年	1.1	6.7	0.0	0.0	0.1	1.7	0.5	3.3	30.3
4・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	5.3	66.7
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	43.3	100.0
	平年	0.3	5.0	0.0	0.0	0.3	5.0	3.2	13.3	68.7
5・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	38.4	100.0
	平年	0.0	0.0	0.1	1.7	0.0	0.0	5.8	21.3	80.7

調査時期 (月・半旬)	年次	コナガ			モンシロチョウ			ウワバ類		
		幼虫・蛹数	寄生株率	発生ほ場率	幼虫数	寄生株率	発生ほ場率	幼虫数	寄生株率	発生ほ場率
3・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.2	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	23年	0.1	0.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.3	1.8	26.5	0.1	1.3	18.3	0.0	0.1	2.5
5・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	23年	0.1	0.8	20.0	1.0	9.6	80.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.8	12.3	69.0	0.5	3.8	33.0	0.1	0.8	15.3

表2 巡回調査結果(夏秋、冬キャベツ)

〈25株調査(%)、害虫個体数は10株当たり〉

調査時期 (月・半旬)	年次	菌核病		黒腐病		べと病		アブラムシ類		
		発病株率	発生ほ場率	発病株率	発生ほ場率	発病株率	発生ほ場率	寄生虫数	寄生株率	発生ほ場率
9・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.3	33.3
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.5	10.0	50.0
	平年	0.0	0.0	1.4	6.7	0.0	0.0	3.1	6.0	56.5
10・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	1.0	25.0
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	6.7	83.3
	平年	0.0	0.0	0.7	6.7	0.0	0.0	1.1	4.0	37.3
11・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	23年	0.0	0.0	45.3	100.0	0.7	16.7	35.4	13.3	100.0
	平年	0.9	12.0	10.7	30.3	5.3	11.7	9.6	6.7	53.7

調査時期 (月・半旬)	年次	コナガ			ハスモンヨトウ				モンシロチョウ		
		幼虫・蛹数	寄生株率	発生ほ場率	卵塊数	幼虫数	寄生株率	発生ほ場率	幼虫数	寄生株率	発生ほ場率
9・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	2.0	33.3
	23年	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	1.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	平年	0.5	4.1	33.2	0.2	2.2	3.0	34.0	0.6	5.1	31.0
10・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	6.0	50.0
	23年	0.1	0.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.3	33.3
	平年	0.3	2.4	16.0	0.1	0.6	3.1	25.0	0.9	6.4	40.8
11・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	23年	0.1	0.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	13.3	66.7
	平年	0.7	5.0	28.3	0.0	0.2	1.6	10.0	1.2	7.8	50.7

調査時期 (月・半旬)	年次	ヨトウガ				ウワバ類		
		卵塊数	幼虫数	寄生株率	発生ほ場率	幼虫数	寄生株率	発生ほ場率
9・3～4	24年	0.1	0.0	0.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	6.7	33.3
	平年	0.0	0.0	0.2	4.2	0.9	6.8	36.3
10・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	6.0	66.7
	平年	0.0	0.6	2.1	32.5	0.4	3.6	36.7
11・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	23年	0.0	0.1	0.7	16.7	1.7	4.0	33.3
	平年	0.0	0.0	0.3	5.7	0.8	4.3	34.3

(15) ダイコン

病害虫の発生状況

- ア 黒斑細菌病：調査期間を通じて発生を認めず平年並であった。
- イ 白さび病：発生を認めなかった（9月、10月：平年並、11月：平年比やや少ない）。
- ウ モザイク病：発生を認めなかった。
- エ アブラムシ類：9月に平年並の発生を認めた。それ以外は発生を認めなかった（10月：平年並、11月：平年比少ない）。
- オ コナガ：発生を認めなかった。
- カ ハスモンヨトウ：発生を認めなかった。
- キ ハイマダラノメイガ：9月の発生は平年並、10月の発生は平年比やや多かった。

表 巡回調査結果

〈25株調査（%）、害虫個体数は10株当たり〉

調査時期 (月・半旬)	年次	黒斑細菌病		白さび病		モザイク病		アブラムシ類		
		発病株率	発生ほ場率	発病株率	発生ほ場率	発病株率	発生ほ場率	寄生虫数	寄生株率	発生ほ場率
9・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.1	1.3	33.3
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.5	4.0	33.3
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.3	2.7	33.3
10・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	2.7	33.3
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	3.7	0.3	1.6	23.3
11・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	9.3	18.7	100.0
	平年	6.1	16.7	19.1	66.7	—	—	11.3	15.2	80.0

調査時期 (月・半旬)	年次	コナガ			ハスモンヨトウ				ハイマダラノメイガ		
		幼虫・蛹数	寄生株率	発生ほ場率	卵塊数	幼虫数	寄生株率	発生ほ場率	幼虫数	寄生株率	発生ほ場率
9・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	2.7	33.3
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	2.7	66.7
	平年	0.0	0.4	10.0	0.0	0.0	0.1	3.3	0.4	3.6	40.0
10・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	1.5	66.7
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	4.0	66.7	0.1	0.1	33.3
	平年	3.1	9.1	33.3	0.0	0.6	5.6	48.2	1.5	1.5	30.0
11・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	1.2	100.0
	平年	2.4	12.4	56.7	0.0	0.2	1.8	29.6	0.7	0.7	0.0

(16) カブ

病害虫の発生状況

- ア ベと病：10月の発生は平年比少なく、11月の発生は平年比やや少なかった。
- イ 白さび病：発生を認めなかった。
- ウ 白斑病：11月に平年比やや多い発生を認めた。
- エ 黒斑病：11月に平年比やや多い発生を認めた。
- オ 軟腐病：発生を認めなかった。
- カ アブラムシ類：全般に平年並の発生であった。
- キ コナガ：発生を認めなかった。
- ク ハモグリバエ類：11月に平年比少少ない発生を認めた。

表 巡回調査結果

(25株調査(%)、害虫個体数は10株当たり)

調査時期 (月・半月)	年次	べと病		白さび病		白斑病		黒斑病		軟腐病	
		発病株率	発生ほ場率	発病株率	発生ほ場率	発病株率	発生ほ場率	発病株率	発生ほ場率	発病株率	発生ほ場率
9・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	19.8	31.3	0.0	0.0	1.3	18.8	0.3	6.3	0.0	0.0
10・3～4	24年	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	23年	39.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	51.3	67.5	2.9	7.5	1.1	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
11・3～4	24年	29.0	50.0	0.0	0.0	2.0	25.0	1.0	25.0	0.0	0.0
	23年	49.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	51.7	72.5	5.1	15.0	4.0	12.5	1.1	10.0	0.2	5.0

調査時期 (月・半月)	年次	アブラムシ類			コナガ			ハモグリバエ類	
		寄生虫数	寄生株率	発生ほ場率	幼虫・蛹数	寄生株率	発生ほ場率	被害株率	発生ほ場率
9・3～4	24年	0.2	2.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.7	3.3	43.8	0.3	2.3	12.5	4.5	43.8
10・3～4	24年	3.2	2.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	23年	0.9	9.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.8	4.1	45.0	0.0	0.2	5.0	6.1	25.0
11・3～4	24年	14.3	8.0	75.0	0.0	0.0	0.0	1.0	25.0
	23年	3.3	14.0	75.0	0.1	1.0	25.0	13.0	50.0
	平年	5.6	5.7	50.0	0.2	1.9	20.7	25.6	55.0

(17) ミズナ・ミブナ

病害虫の発生状況

ア キスジノハムシ

ミズナ：4～10月に被害を認めた。

ミブナ：4、5月、8～10月に被害を認めた。

イ キスジノハムシ

ミズナ：9、10月に成虫の発生を認めた。

ミブナ：発生を認めなかった。

表1 ミズナ巡回調査結果 (キスジノミハムシ)

(25株調査)

調査時期 (月・半旬)	項目	24年	23年	平年
3・1～2	被害株率(%)	0.0	1.3	(9.2)
	被害葉率(%)	0.0	0.3	(3.3)
	平均食痕数(個/葉)	0.00	0.003	(0.07)
	寄生虫数(25株当たり)	0.0	0.0	(0.0)
	平均葉数(1株当たり)	2.5	3.1	(5.3)
	被害ほ率(%)	0.0	33.3	(65.0)
4・1～2	被害株率(%)	4.0	5.3	(12.4)
	被害葉率(%)	0.6	0.9	(3.2)
	平均食痕数(個/葉)	0.01	0.91	(0.05)
	寄生虫数(25株当たり)	0.0	0.0	(0.1)
	平均葉数(1株当たり)	6.8	5.6	(5.0)
	被害ほ率(%)	100.0	66.7	(69.7)
5・1～2	被害株率(%)	4.0	14.7	(16.6)
	被害葉率(%)	0.6	3.3	(5.5)
	平均食痕数(個/葉)	0.01	0.07	(0.14)
	寄生虫数(25株当たり)	0.0	0.0	(0.1)
	平均葉数(1株当たり)	7.0	5.3	(4.8)
	被害ほ率(%)	100.0	100.0	(69.2)
6・1～2	被害株率(%)	2.0	2.7	(30.3)
	被害葉率(%)	0.4	1.0	(15.7)
	平均食痕数(個/葉)	0.02	0.01	(0.39)
	寄生虫数(25株当たり)	0.0	0.0	(0.8)
	平均葉数(1株当たり)	5.4	2.8	(4.0)
	被害ほ率(%)	50.0	33.3	(80.0)
7・1～2	被害株率(%)	16.0	45.3	(39.3)
	被害葉率(%)	4.6	15.0	(20.2)
	平均食痕数(個/葉)	0.09	1.55	(0.77)
	寄生虫数(25株当たり)	0.0	0.0	(0.5)
	平均葉数(1株当たり)	5.5	4.3	(4.6)
	被害ほ率(%)	100.0	66.7	(92.6)
8・1～2	被害株率(%)	84.0	4.0	(12.0)
	被害葉率(%)	39.1	2.7	(3.5)
	平均食痕数(個/葉)	1.53	0.05	(0.09)
	寄生虫数(25株当たり)	0.04	0.0	(0.0)
	平均葉数(1株当たり)	5.5	6.0	(4.9)
	被害ほ率(%)	100.0	100.0	(66.7)
9・1～2	被害株率(%)	96.0	16.0	(29.1)
	被害葉率(%)	42.3	4.5	(13.4)
	平均食痕数(個/葉)	1.11	0.10	(0.52)
	寄生虫数(25株当たり)	2.0	0.0	(0.5)
	平均葉数(1株当たり)	8.3	4.4	(4.6)
	被害ほ率(%)	100.0	100.0	(85.0)
10・1～2	被害株率(%)	13.3	2.0	(11.6)
	被害葉率(%)	4.9	0.5	(4.0)
	平均食痕数(個/葉)	0.18	0.00	(0.08)
	寄生虫数(25株当たり)	0.0	0.0	(0.1)
	平均葉数(1株当たり)	4.6	4.3	(3.8)
	被害ほ率(%)	100.0	50.0	(53.3)
11・1～2	被害株率(%)	0.0	0.0	(2.3)
	被害葉率(%)	0.0	0.0	(0.9)
	平均食痕数(個/葉)	0.00	0.00	(0.01)
	寄生虫数(25株当たり)	0.0	0.0	(0.0)
	平均葉数(1株当たり)	5.6	3.8	(3.4)
	被害ほ率(%)	0.0	0.0	(35.0)

注：施設栽培、()内の平年値は調査時期(3月：第5半旬、4～11月：第3～4半旬)が現在と異なるため参考とすること

表2 ミブナ巡回調査結果(キスジノミハムシ)

(25株調査)

調査時期 (月・半旬)	項目	24年	23年	平年
3・1～2	被害株率(%)	0.0	0.0	(6.3)
	被害葉率(%)	0.0	0.0	(2.4)
	平均食痕数(個/葉)	0.00	0.00	(0.06)
	寄生虫数(25株当たり)	0.0	0.0	(0.1)
	平均葉数(1株当たり)	3.8	3.7	(5.7)
	被害ほ率(%)	0.0	0.0	(50.0)
4・1～2	被害株率(%)	12.0	0.0	(12.4)
	被害葉率(%)	4.3	0.0	(3.2)
	平均食痕数(個/葉)	0.05	0.00	(0.05)
	寄生虫数(25株当たり)	0.0	0.0	(0.1)
	平均葉数(1株当たり)	4.4	6.0	(5.0)
	被害ほ率(%)	50.0	50.0	(69.7)
5・1～2	被害株率(%)	34.0	30.0	(8.7)
	被害葉率(%)	12.2	15.0	(3.7)
	平均食痕数(個/葉)	0.20	0.19	(0.07)
	寄生虫数(25株当たり)	0.0	0.5	(0.0)
	平均葉数(1株当たり)	3.7	2.2	(3.4)
	被害ほ率(%)	50.0	50.0	(65.0)
6・1～2	被害株率(%)	0.0	0.0	(19.8)
	被害葉率(%)	0.0	0.0	(11.7)
	平均食痕数(個/葉)	0.00	0.00	(0.50)
	寄生虫数(25株当たり)	0.0	0.0	(0.6)
	平均葉数(1株当たり)	3.2	2.6	(3.8)
	被害ほ率(%)	0.0	0.0	(70.0)
7・1～2	被害株率(%)	0.0	36.0	(29.4)
	被害葉率(%)	0.0	18.8	(14.8)
	平均食痕数(個/葉)	0.00	0.65	(0.83)
	寄生虫数(25株当たり)	0.00	0.0	(0.6)
	平均葉数(1株当たり)	4.0	4.1	(3.9)
	被害ほ率(%)	0.0	100.0	(83.3)
8・1～2	被害株率(%)	6.0	56.0	(22.5)
	被害葉率(%)	2.2	29.5	(9.6)
	平均食痕数(個/葉)	0.12	1.29	(0.34)
	寄生虫数(25株当たり)	0.0	0.0	(0.4)
	平均葉数(1株当たり)	4.5	4.5	(3.9)
	被害ほ率(%)	50.0	100.0	(70.0)
9・1～2	被害株率(%)	12.0	2.0	(10.1)
	被害葉率(%)	3.7	1.1	(4.5)
	平均食痕数(個/葉)	0.21	0.05	(0.14)
	寄生虫数(25株当たり)	0.0	0.0	(0.1)
	平均葉数(1株当たり)	4.0	4.5	(3.9)
	被害ほ率(%)	50.0	50.0	(76.7)
10・1～2	被害株率(%)	18.0	10.0	(8.6)
	被害葉率(%)	4.0	3.6	(3.4)
	平均食痕数(個/葉)	0.09	0.12	(0.06)
	寄生虫数(25株当たり)	0.0	0.0	(0.1)
	平均葉数(1株当たり)	5.0	3.9	(3.6)
	被害ほ率(%)	100.0	50.0	(56.7)
11・1～2	被害株率(%)	0.0	6.0	(4.4)
	被害葉率(%)	0.0	1.4	(1.3)
	平均食痕数(個/葉)	0.00	0.01	(0.02)
	寄生虫数(25株当たり)	0.0	0.0	(0.0)
	平均葉数(1株当たり)	3.5	3.8	(3.5)
	被害ほ率(%)	0.0	50.0	(36.7)

注：施設栽培、()内の平年値は調査時期(3月：第5半旬、4～11月：第3～4半旬)が
現在と異なるため参考とすること

(18) ホウレンソウ

病害虫の発生状況

- ア ベと病：発生を認めず、平年並の発生であった。
- イ アブラムシ類：4月は平年比やや少なく、5月は例年並、10月、11月は発生を認めなかった（10月：平年並、11月：平年比やや少ない）。
- ウ ヨトウガ：発生を認めず、平年並の発生であった。
- エ シロオビノメイガ：発生を認めず、平年並の発生であった。

表 巡回調査結果

〈25株調査(%)〉

調査時期 (月・半旬)	年次	ベと病		アブラムシ類		ヨトウガ		シロオビノメイガ	
		発病株率	発生ほ場率	寄生株率	発生ほ場率	寄生株率	発生ほ場率	寄生株率	発生ほ場率
4・3～4	24年	0.0	0.0	1.0	25.0	0.0	0.0	—	—
	23年	0.0	0.0	2.0	50.0	0.0	0.0	—	—
	平年	2.3	5.0	7.6	52.5	0.0	0.0	—	—
5・3～4	24年	0.0	0.0	28.0	100.0	0.0	0.0	—	—
	23年	0.0	0.0	6.7	66.7	0.0	0.0	—	—
	例年	2.9	5.4	31.6	84.2	0.1	1.8	—	—
10・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	1.0	15.0	0.4	7.5	0.3	8.3
11・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	23年	0.0	0.0	5.0	75.0	0.0	0.0	2.0	50.0
	平年	0.0	0.0	3.2	34.2	0.1	2.5	0.4	10.0

(19) ネギ

病害虫の発生状況

- ア さび病：発生を認めず、平年並の発生であった。
- イ 黒斑病：9月に平年比多い発生であったが、それ以外は発生を認めず、平年並であった。
- ウ アブラムシ類：4月、6月は平年比やや多く、5月は発生を認めず、平年比やや少ない発生であった。6月以降は発生を認めなかった（平年並）。
- エ シロイチモジヨトウ：9月に平年並の発生を認めた。それ以外は発生を認めなかった（平年並）。
- オ ネギハモグリバエ：5月は平年比多く、10月は平年比やや多く、11月は少なかった。他の月は平年並の発生であった。
- カ ネギアザミウマ：全般的に平年比やや多い発生で推移した。4月は平年比やや少なかったものの、6月、7月、9月及び10月は平年比やや多くなり、他の月は平年並の発生であった。

表 巡回調査結果

〈25株調査(%)〉

調査時期 (月・半旬)	年次	さび病		黒斑病		アブラムシ類		シロイチモジヨトウ		ネギハモグリバエ		ネギアザミウマ	
		発病株率	発生ほ場率	発病株率	発生ほ場率	寄生株率	発生ほ場率	寄生株率	発生ほ場率	被害株率	発生ほ場率	被害株率	発生ほ場率
4・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	37.5	0.0	0.0	0.5	12.5	1.5	25.0
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	62.5	0.0	0.0	11.0	87.5	16.5	87.5
	平年	0.7	6.9	0.0	0.0	0.9	16.3	0.0	0.0	7.7	35.8	7.5	39.2
5・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.5	100.0	62.5	87.5
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	37.5	0.0	0.0	44.5	100.0	48.0	87.5
	平年	1.2	11.9	0.0	0.0	2.2	29.2	0.1	1.3	55.3	97.8	49.7	87.3
6・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	25.0	0.0	0.0	55.0	100.0	87.5	100.0
	23年	2.3	25.0	0.0	0.0	3.4	62.5	0.0	0.0	78.9	100.0	84.0	100.0
	平年	5.7	23.5	0.0	0.0	0.7	12.5	0.0	0.0	54.7	83.8	60.9	88.8
7・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	82.0	100.0	43.3	83.3
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.0	100.0	54.0	100.0
	平年	0.5	4.7	0.6	4.7	0.0	0.0	0.1	3.5	73.3	98.8	29.8	62.1
8・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	62.7	100.0	2.0	33.3
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	72.0	100.0	14.7	83.3
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.3	68.7	98.6	7.5	35.0
9・3～4	24年	0.0	0.0	2.0	25.0	0.0	0.0	0.5	12.5	71.0	100.0	12.0	62.5
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	85.6	100.0	10.4	14.3
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	2.9	0.8	20.7	78.8	100.0	5.8	16.5
10・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	87.0	100.0	19.5	75.0
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	12.5	0.0	0.0	78.0	100.0	4.0	25.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	3.5	2.7	11.7	73.8	98.8	9.6	28.1
11・3～4	24年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0	25.0	19.0	37.5
	23年	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	28.6	0.0	0.0	39.4	71.4	33.7	85.7
	平年	0.0	0.0	0.1	1.3	0.1	2.9	0.9	10.8	37.8	88.6	18.3	55.5

2) 予察灯・誘引剤トラップ・黄色水盤による調査の結果

(1) 予察灯(白熱電灯：60W、ブラックライト：BL)の調査結果

設置場所	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H24 (2012)	平年値等 (参考)	H24 (2012)	平年値等 (参考)	H24 (2012)	平年値等 (参考)
ヒメビウンカ (60W)	0	1.4	0	0.5	0	3.0
セジロウンカ (60W)	2	15.7	2	32.6	13	170.3
トビイロウンカ (60W)	0	4.4	0	6.8	3	50.6
ツマグロヨコバイ (60W)	40	179.3	27	1950.8	23	262.2
イネミズゾウムシ (60W)	46	44.8	115	196.2	108	96.1
アオクサカメムシ (60W)	0	3.3	0	4.0	0	3.0
チャバネアオカメムシ (60W)	48	33.5	4	14.0	53	56.6
チャバネアオカメムシ (BL)	770	121.1	31	40.2	124	281.2
クサキカメムシ (60W)	19	2.3	1	3.3	11	8.6
クサキカメムシ (BL)	82	14.2	7	2.9	51	41.4
イチモンジカメムシ (60W)	0	0.7	1	6.6	1	3.6
イネクロカメムシ (60W)	73	101.8	1	0.1	1	1.6
クモヘリカメムシ (60W)	0	0.1	1	3.0	1	6.2
シラホシカメムシ (60W)	0	0.7	0	0.8	0	1.0
アカヒゲホリドリカスミカメ (60W)	19	21.5	7	56.5	140	154.6
アカスジカスミカメ (60W)	12	1.8	9	136.3	86	167.4
ツマグロアオカスミカメ (60W)	4	31.3	0	24.8	18	31.7
フタオビコヤガ (60W)	41	27.6	15	57.7	163	142.5
ニカメイガ (60W)	1	0.3	1	0.3	2	0.5
コナガ (60W)	11	16.3	5	96.5	8	34.6
シロオビノメイガ (60W)	1	3.0	2	21.9	62	22.7
ドウガネブイブイ (BL)	540	285.5	122	69.9	642	456.7
クロコガネ (BL)	77	74.6	49	10.0	16	20.9
ヒメコガネ (BL)	6,102	2640.3	39	20.4	1,507	1410.1
アカビロウドコガネ(BL)	81	122.1	15	15.6	18	23.6

注：数字は調査期間内(4～10月)の総誘殺数(頭)

：平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

ヒメピウンカ(予察灯60W)

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H24	平年	H24	平年	H24	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.2
5	0	0.0	0	0.0	0	0.2
6	0	0.1	0	0.1	0	0.2
8・1	0	0.1	0	0.0	0	0.6
2	0	0.1	0	0.0	0	0.1
3	0	0.1	0	0.0	0	0.1
4	0	0.2	0	0.0	0	0.3
5	0	0.5	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.3	0	0.4
9・1	0	0.1	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.3
6	0	0.1	0	0.0	0	0.1
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	1.4	0	0.5	0	3.0

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

セジロウンカ(予察灯60W)

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H24	平年	H24	平年	H24	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.2	0	0.0
5	0	0.4	0	0.1	0	0.3
6	0	0.0	0	0.6	0	1.3
7・1	0	1.1	0	1.5	2	11.2
2	0	0.2	0	1.2	4	2.2
3	0	0.5	0	0.9	0	8.9
4	0	0.3	2	0.6	0	2.8
5	0	0.9	0	2.1	0	11.8
6	1	1.1	0	1.2	0	1.7
8・1	0	1.6	0	1.2	0	6.3
2	0	0.8	0	0.6	0	5.3
3	0	0.6	0	5.7	0	19.8
4	0	0.6	0	2.0	0	10.5
5	0	2.4	0	8.3	2	25.3
6	0	2.5	0	3.1	0	27.0
9・1	1	0.8	0	0.7	1	4.4
2	0	0.6	0	0.9	3	2.1
3	0	0.5	0	0.3	0	8.0
4	0	0.1	0	0.2	0	6.8
5	0	0.5	0	0.4	1	4.8
6	0	0.0	0	0.3	0	4.3
10・1	0	0.1	0	0.3	0	2.5
2	0	0.0	0	0.1	0	1.6
3	0	0.0	0	0.1	0	1.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1
計	2	15.7	2	32.6	13	170.3

トビロウンカ(予察灯60W)

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H24	平年	H24	平年	H24	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.1	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1
8・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.2	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.5
6	0	0.1	0	0.2	0	1.0
9・1	0	0.1	0	0.0	0	0.3
2	0	0.1	0	0.3	1	0.2
3	0	1.2	0	0.7	1	6.4
4	0	0.2	0	0.7	1	9.3
5	0	2.0	0	1.1	0	6.4
6	0	0.1	0	0.8	0	10.3
10・1	0	0.1	0	2.3	0	7.3
2	0	0.3	0	0.2	0	4.2
3	0	0.0	0	0.2	0	3.3
4	0	0.0	0	0.0	0	0.7
5	0	0.0	0	0.0	0	0.5
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	4.4	0	6.8	3	50.6

ツマグロヨコバイ(予察灯60W)

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H24	平年	H24	平年	H24	平年
4・1	0	0.0	0	0.2	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.2	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.2	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.1	0	0.1
2	0	0.0	0	0.4	0	0.0
3	0	0.1	0	0.2	0	0.0
4	0	0.0	0	0.2	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.3	0	0.0
2	0	0.0	0	0.2	0	0.1
3	0	0.0	0	0.1	11	1.0
4	0	0.1	0	1.0	0	0.0
5	1	0.1	0	0.9	0	1.0
6	0	0.1	0	3.9	0	5.3
7・1	1	0.0	3	5.6	1	12.7
2	0	0.6	0	4.6	0	16.3
3	0	1.4	0	2.0	0	5.5
4	0	3.0	1	7.8	0	7.4
5	2	4.8	0	13.2	0	5.1
6	2	8.1	2	36.0	0	14.5
8・1	6	7.0	1	31.2	1	78.7
2	3	5.6	1	14.3	0	9.8
3	1	6.3	4	9.7	6	1.7
4	0	4.6	2	6.2	0	0.7
5	0	3.6	0	6.5	0	0.6
6	4	6.4	0	14.4	0	1.0
9・1	2	31.5	2	53.4	1	6.6
2	3	29.5	1	141.8	3	66.9
3	10	32.3	4	858.9	0	15.1
4	5	23.3	4	714.9	0	10.7
5	0	9.0	2	13.5	0	1.1
6	0	0.4	0	3.4	0	0.1
10・1	0	0.8	0	2.7	0	0.0
2	0	0.2	0	1.9	0	0.1
3	0	0.0	0	0.2	0	0.0
4	0	0.1	0	0.3	0	0.0
5	0	0.1	0	0.6	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.1
計	40	179.3	27	1950.8	23	262.2

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

イネミズゾウムシ(予察灯60W)

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H24	平年	H24	平年	H24	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.9	0	0.0
6	0	0.0	0	1.4	12	0.1
5・1	0	0.0	0	9.4	20	2.4
2	0	0.0	6	23.8	5	7.9
3	0	0.0	3	8.5	1	2.2
4	0	0.2	1	16.7	1	14.0
5	0	1.0	3	13.6	0	0.8
6	0	0.3	4	7.4	1	3.2
6・1	0	0.3	1	3.0	1	1.9
2	0	0.2	0	2.1	2	0.8
3	2	0.3	0	0.4	5	1.4
4	0	0.3	0	0.2	0	1.0
5	2	0.5	0	0.0	0	1.8
6	0	0.1	0	0.3	0	3.9
7・1	0	0.0	0	0.7	8	1.6
2	0	0.2	0	0.6	21	3.0
3	0	0.0	2	4.1	1	3.9
4	1	2.4	10	18.2	3	9.2
5	1	9.8	18	30.2	5	14.0
6	7	8.2	30	25.7	1	11.2
8・1	13	4.5	22	15.8	18	7.4
2	8	5.0	6	4.5	0	1.8
3	9	3.9	8	4.3	1	0.3
4	2	6.3	1	2.3	0	1.5
5	1	0.7	0	1.2	2	0.3
6	0	0.5	0	0.7	0	0.2
9・1	0	0.0	0	0.1	0	0.1
2	0	0.1	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	46	44.8	115	196.2	108	96.1

アオクサカメムシ(予察灯60W)

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H24	平年	H24	平年	H24	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.3	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.2	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.1	0	0.0
7・1	0	0.2	0	0.0	0	0.0
2	0	0.3	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.6	0	0.0
4	0	0.2	0	0.3	0	0.0
5	0	0.3	0	0.1	0	0.2
6	0	0.5	0	0.3	0	0.1
8・1	0	0.2	0	0.3	0	0.0
2	0	0.2	0	0.0	0	0.4
3	0	0.2	0	0.2	0	0.3
4	0	0.0	0	0.2	0	0.3
5	0	0.0	0	0.2	0	0.7
6	0	0.0	0	0.2	0	0.2
9・1	0	0.0	0	0.1	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.3	0	0.1
4	0	0.0	0	0.1	0	0.3
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6	0	0.3	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.3	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.1
5	0	0.1	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	3.3	0	4.0	0	3.0

チャパネアオカメムシ(予察灯60W・BL)

設置場所 月・半年	京田辺市(60W)		京田辺市(BL)		亀岡市(60W)		亀岡市(BL)		京丹後市弥栄町(60W)		京丹後市弥栄町(BL)	
	H24	平年	H24	平年	H24	平年	H24	平年	H24	平年	H24	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	1	0.1	0	0.3	0	0.0	0	0.0	1	0.2	0	2.0
2	0	0.2	1	0.6	0	0.0	0	0.1	0	0.1	0	3.2
3	0	0.5	0	0.5	0	1.0	0	0.5	0	0.1	0	1.3
4	0	0.3	1	0.6	0	0.1	0	0.0	0	1.2	1	12.3
5	0	2.3	1	6.1	0	0.6	0	2.0	0	0.6	1	2.3
6	0	0.2	4	3.0	0	0.5	1	0.1	0	0.2	1	3.3
6・1	0	0.0	1	1.6	0	0.0	0	0.0	1	0.2	0	0.9
2	0	0.3	4	1.4	0	0.0	0	0.0	0	0.4	0	1.0
3	0	0.4	4	0.7	0	0.0	0	0.1	1	0.5	0	1.9
4	0	0.8	0	8.8	0	0.1	0	0.2	1	1.4	0	17.8
5	0	1.7	10	7.0	0	0.2	0	0.7	0	2.0	0	4.8
6	0	1.3	7	6.3	0	1.0	0	0.6	0	2.0	0	9.2
7・1	3	1.2	62	5.4	0	0.3	0	1.4	3	4.7	4	11.4
2	6	3.6	60	12.7	0	0.6	1	2.7	1	1.7	3	17.4
3	8	0.9	211	6.3	0	0.7	3	1.2	24	8.7	27	21.4
4	8	9.7	135	18.1	0	1.2	3	3.1	8	4.2	18	13.9
5	4	1.6	86	18.7	1	0.4	2	2.6	2	3.0	7	17.4
6	5	1.1	100	7.2	0	0.8	1	7.4	1	2.2	6	17.1
8・1	5	1.4	18	4.7	0	0.7	1	2.9	0	5.2	7	28.3
2	4	2.2	34	4.2	0	0.8	2	5.0	0	3.0	7	19.4
3	3	1.3	16	2.3	1	0.9	5	3.1	4	7.5	11	14.4
4	1	1.8	7	1.6	1	1.8	6	1.9	0	1.7	7	13.0
5	0	0.2	3	0.7	1	0.3	1	0.5	0	1.3	10	6.0
6	0	0.3	3	0.2	0	0.8	4	0.6	1	1.7	2	13.0
9・1	0	0.0	0	0.2	0	0.7	0	0.7	0	0.8	6	10.9
2	0	0.1	0	0.7	0	0.3	1	1.3	1	0.5	3	5.1
3	0	0.0	0	0.8	0	0.0	0	0.6	0	0.4	2	4.0
4	0	0.0	2	0.3	0	0.1	0	0.4	4	0.6	1	4.8
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.2	0	0.2	0	1.6
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.1	0	0.1	0	1.4
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.1	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.1	0	0.2
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.5
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	48	33.5	770	121.1	4	14.0	31	40.2	53	56.6	124	281.2

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

クサギカメシ(予察灯60W・BL)

設置場所 月・半月	京田辺市(60W)		京田辺市(BL)		亀岡市(60W)		亀岡市(BL)		京丹後市弥栄町(60W)		京丹後市弥栄町(BL)	
	H24	平年	H24	例年	H24	平年	H24	平年	H24	平年	H24	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.3
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.5	0	1.3
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6・1	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0	0	0.0	0	0.2
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.3
4	1	0.1	0	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
5	0	0.1	0	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.2	2	0.8	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.8
7・1	1	0.0	1	0.2	0	0.1	0	0.0	1	0.3	1	0.5
2	1	0.0	0	1.0	0	0.2	1	0.0	0	0.1	2	1.4
3	8	0.2	19	0.7	0	0.8	2	0.4	3	0.5	2	3.9
4	4	0.1	24	1.1	0	1.1	0	0.2	4	0.5	9	1.4
5	2	0.2	7	1.4	0	0.0	0	0.3	1	0.5	6	1.7
6	1	0.1	14	1.5	0	0.1	1	0.4	1	0.8	16	4.0
8・1	0	0.5	7	1.2	0	0.2	0	0.7	0	1.4	6	4.7
2	0	0.0	0	1.2	0	0.2	1	0.6	0	1.0	1	3.4
3	1	0.2	1	1.3	0	0.1	1	0.0	0	0.5	5	3.4
4	0	0.2	3	1.1	1	0.3	0	0.1	0	0.3	1	3.3
5	0	0.2	2	0.6	0	0.0	0	0.0	0	0.5	1	2.2
6	0	0.0	1	0.4	0	0.0	0	0.2	0	1.0	0	4.4
9・1	0	0.1	0	0.4	0	0.0	0	0.0	1	0.1	0	2.2
2	0	0.0	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.6
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.3
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.3	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	19	2.3	82	14.2	1	3.3	7	2.9	11	8.6	51	41.4

イチモンジカメムシ(予察灯60W)

設置場所	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H24	平年	H24	平年	H24	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.2	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.1	0	0.1	0	0.0
6	0	0.1	0	0.4	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.2	0	0.2
2	0	0.0	0	0.4	0	0.2
3	0	0.0	0	0.0	0	0.5
4	0	0.0	0	1.1	0	0.2
5	0	0.0	0	0.3	0	0.1
6	0	0.0	0	0.3	0	0.3
8・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.3
3	0	0.0	0	0.1	0	0.2
4	0	0.0	0	0.2	0	0.1
5	0	0.0	0	0.2	0	0.5
6	0	0.0	0	0.7	0	0.2
9・1	0	0.0	1	0.5	0	0.1
2	0	0.2	0	0.3	0	0.1
3	0	0.2	0	0.6	0	0.1
4	0	0.0	0	0.3	0	0.4
5	0	0.1	0	0.1	1	0.0
6	0	0.0	0	0.4	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	0.7	1	6.6	1	3.6

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

イネクロカメムシ(予察灯60W)

設置場所	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H24	平年	H24	平年	H24	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.0
5	0	0.5	0	0.0	0	0.0
6	0	2.4	0	0.0	0	0.0
6・1	1	1.1	0	0.0	0	0.0
2	8	7.6	0	0.0	0	0.3
3	7	2.6	0	0.0	0	0.0
4	8	3.8	1	0.0	0	0.1
5	0	9.2	0	0.0	0	0.1
6	1	3.5	0	0.1	0	0.2
7・1	2	2.6	0	0.0	1	0.0
2	1	1.4	0	0.0	0	0.0
3	1	1.3	0	0.0	0	0.0
4	0	3.0	0	0.0	0	0.0
5	2	3.4	0	0.0	0	0.1
6	1	4.5	0	0.0	0	0.1
8・1	2	2.9	0	0.0	0	0.2
2	0	4.1	0	0.0	0	0.2
3	4	1.6	0	0.0	0	0.1
4	0	1.3	0	0.0	0	0.2
5	0	0.3	0	0.0	0	0.0
6	0	4.5	0	0.0	0	0.0
9・1	3	5.5	0	0.0	0	0.0
2	1	6.5	0	0.0	0	0.0
3	12	9.9	0	0.0	0	0.0
4	13	11.8	0	0.0	0	0.0
5	4	4.1	0	0.0	0	0.0
6	1	1.5	0	0.0	0	0.0
10・1	1	0.4	0	0.0	0	0.0
2	0	0.2	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	73	101.8	1	0.1	1	1.6

クモヘリカメムシ(予察灯60W)

設置場所	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H24	平年	H24	平年	H24	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.2	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.1	0	0.2
8・1	0	0.0	0	0.2	0	0.4
2	0	0.0	0	0.2	0	0.8
3	0	0.0	0	0.3	1	0.9
4	0	0.0	0	0.2	0	1.1
5	0	0.0	1	0.1	0	0.5
6	0	0.1	0	0.3	0	0.6
9・1	0	0.0	0	0.5	0	0.3
2	0	0.0	0	0.3	0	0.2
3	0	0.0	0	0.2	0	0.2
4	0	0.0	0	0.1	0	0.4
5	0	0.0	0	0.1	0	0.2
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	0.1	1	3.0	1	6.2

シラホシカメムシ(予察灯60W)

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H24	平年	H24	平年	H24	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.1
5	0	0.3	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.1
4	0	0.0	0	0.1	0	0.4
5	0	0.1	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1
8・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	0.7	0	0.8	0	1.0

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

アカヒゲホソミドリカスミカメ(予察灯60W)

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H24	平年	H24	平年	H24	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	2	1.0
3	0	0.0	0	0.5	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	1	0.2
5	0	0.0	0	0.0	1	0.5
6	0	0.0	0	0.2	0	0.3
6・1	0	0.0	0	0.4	0	0.2
2	0	0.1	0	0.5	1	1.8
3	0	0.3	1	1.4	3	3.8
4	2	0.4	4	5.9	9	15.4
5	2	1.3	0	7.0	5	26.6
6	4	0.7	0	5.6	13	33.9
7・1	3	1.0	0	5.9	40	16.9
2	0	3.0	0	7.7	13	11.9
3	1	2.0	0	4.0	4	10.0
4	0	1.8	2	3.0	18	8.1
5	3	0.5	0	3.0	13	3.5
6	2	2.2	0	2.1	4	2.2
8・1	2	1.5	0	1.1	0	2.5
2	0	1.1	0	0.7	0	1.5
3	0	1.4	0	0.7	1	1.4
4	0	0.5	0	1.2	1	1.2
5	0	0.4	0	0.7	0	1.7
6	0	1.3	0	0.7	1	1.9
9・1	0	0.6	0	0.6	0	1.4
2	0	0.4	0	0.3	0	1.4
3	0	0.7	0	1.0	0	1.3
4	0	0.1	0	0.5	4	1.3
5	0	0.0	0	0.3	4	0.4
6	0	0.1	0	0.0	1	0.4
10・1	0	0.0	0	0.1	1	0.5
2	0	0.0	0	0.1	0	0.6
3	0	0.0	0	0.7	0	0.5
4	0	0.0	0	0.3	0	0.0
5	0	0.1	0	0.2	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	19	21.5	7	56.5	140	154.6

アカスジカスミカメ(予察灯60W)

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H24	平年	H24	平年	H24	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	1	0.0
3	0	0.0	0	0.7	0	0.0
4	0	0.0	0	0.6	0	0.1
5	0	0.0	0	1.4	1	0.6
6	0	0.0	2	2.0	3	2.4
6・1	0	0.0	0	1.4	6	2.6
2	0	0.0	0	2.4	5	4.4
3	0	0.0	0	1.3	4	2.9
4	0	0.0	3	6.0	2	4.2
5	0	0.0	0	5.4	3	11.8
6	0	0.2	1	11.5	2	24.7
7・1	1	0.1	0	9.4	11	25.2
2	0	0.1	0	10.5	10	17.0
3	2	0.1	0	6.8	3	8.8
4	0	0.1	0	5.4	4	7.4
5	0	0.1	0	3.0	2	3.8
6	4	0.2	0	2.6	0	3.7
8・1	3	0.0	1	4.4	6	4.6
2	1	0.0	1	3.1	2	4.2
3	0	0.3	0	4.2	0	3.0
4	0	0.2	0	3.4	1	3.6
5	0	0.0	0	4.2	0	2.4
6	0	0.0	1	11.3	1	5.4
9・1	0	0.0	0	10.4	0	4.7
2	0	0.0	0	6.2	1	4.1
3	0	0.0	0	4.8	1	4.6
4	0	0.3	0	6.9	9	3.0
5	0	0.1	0	3.0	3	2.1
6	1	0.0	0	1.0	2	1.9
10・1	0	0.0	0	1.2	1	2.1
2	0	0.0	0	0.3	1	0.9
3	0	0.0	0	0.9	1	1.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.1
5	0	0.0	0	0.3	1	0.1
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
計	12	1.8	9	136.3	86	167.4

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

ツマグロアオカスミカメ(予察灯60W)

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H24	平年	H24	平年	H24	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.2	0	0.0
5	0	0.5	0	0.6	0	0.4
6	0	0.0	0	0.7	0	1.1
6・1	0	0.0	0	0.8	0	1.4
2	0	0.1	0	0.4	1	1.2
3	0	0.0	0	1.0	1	0.9
4	0	0.2	0	0.2	0	1.2
5	0	0.0	0	0.4	0	1.8
6	0	0.3	0	0.6	3	1.6
7・1	0	0.2	0	0.8	1	1.0
2	0	0.5	0	0.6	3	1.8
3	0	0.1	0	0.4	0	1.4
4	0	0.1	0	0.3	1	2.1
5	0	0.3	0	0.4	2	1.9
6	0	0.3	0	0.5	1	1.6
8・1	0	0.1	0	0.3	3	0.4
2	0	0.1	0	0.4	1	0.2
3	0	0.1	0	0.5	0	0.6
4	0	0.4	0	0.2	0	0.5
5	0	0.3	0	0.2	0	0.6
6	0	0.8	0	0.6	0	0.8
9・1	0	1.1	0	0.9	0	0.4
2	2	2.5	0	1.0	0	0.5
3	0	3.5	0	0.8	0	0.4
4	0	2.9	0	0.8	1	0.3
5	0	3.2	0	0.8	0	1.4
6	0	1.4	0	0.6	0	0.7
10・1	0	3.5	0	0.9	0	0.9
2	0	1.5	0	2.0	0	0.8
3	1	1.3	0	3.4	0	0.8
4	0	1.8	0	1.3	0	0.7
5	1	2.2	0	1.3	0	0.7
6	0	2.0	0	0.7	0	1.6
計	4	31.3	0	24.8	18	31.7

フタオビコヤガ(予察灯60W)

設置場所 月・半月	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H24	平年	H24	平年	H24	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	1	0.0
3	1	0.0	1	0.1	0	0.0
4	1	0.0	1	0.0	0	0.0
5	1	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	1	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.2	0	0.3
5	0	0.1	1	0.1	0	0.6
6	0	0.0	0	0.1	2	1.4
7・1	0	0.1	0	0.4	0	0.5
2	0	0.3	2	0.6	0	0.5
3	0	0.7	0	1.9	0	2.6
4	1	0.7	2	4.4	7	5.4
5	1	1.2	2	6.9	15	9.0
6	6	1.7	1	5.5	7	7.8
8・1	1	2.8	0	5.1	4	7.2
2	0	5.5	2	4.9	8	13.7
3	3	4.1	0	9.5	21	20.0
4	5	4.2	2	8.9	34	24.7
5	12	3.6	0	5.2	34	19.3
6	5	1.6	0	3.2	20	18.3
9・1	2	0.8	0	0.4	9	7.7
2	0	0.1	1	0.0	0	2.1
3	1	0.0	0	0.0	0	0.8
4	0	0.0	0	0.0	0	0.3
5	0	0.0	0	0.0	0	0.2
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	1	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	41	27.6	15	57.7	163	142.5

ニカメイガ(予察灯60W)

設置場所 月・半月	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H24	平年	H24	平年	H24	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	1	0.1	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	1	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	1	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	1	0.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	1	0.3	1	0.3	2	0.5

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

コナガ(予察灯60W)

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H24	平年	H24	平年	H24	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	2	0.1	0	0.3	0	0.1
3	0	0.1	0	0.8	0	0.3
4	0	0.2	0	0.5	1	0.2
5	0	0.1	0	0.7	0	0.4
6	0	0.3	0	0.3	0	0.5
5・1	0	0.8	1	1.2	1	0.0
2	1	1.8	0	2.3	0	0.4
3	1	1.2	0	2.4	0	1.4
4	1	2.3	0	5.7	0	1.1
5	0	1.0	1	5.9	1	1.5
6	1	1.0	0	4.3	0	1.2
6・1	1	0.7	0	2.2	1	1.2
2	0	0.7	0	1.7	1	1.0
3	1	0.7	0	1.9	2	2.3
4	0	0.8	1	8.4	0	2.2
5	0	0.5	0	7.0	0	2.7
6	1	0.3	0	10.4	1	2.6
7・1	0	0.7	1	9.3	0	3.3
2	0	0.2	0	8.3	0	2.0
3	0	0.2	0	4.9	0	0.8
4	0	0.6	0	4.4	0	2.2
5	0	0.1	1	2.7	0	0.6
6	1	0.3	0	2.3	0	1.1
8・1	0	0.1	0	2.0	0	0.7
2	1	0.3	0	0.8	0	0.2
3	0	0.3	0	0.6	0	0.7
4	0	0.2	0	1.1	0	0.4
5	0	0.2	0	0.8	0	0.1
6	0	0.0	0	0.7	0	0.3
9・1	0	0.3	0	0.3	0	0.1
2	0	0.0	0	0.4	0	0.0
3	0	0.0	0	0.2	0	0.4
4	0	0.1	0	0.1	0	0.1
5	0	0.0	0	0.1	0	0.4
6	0	0.0	0	0.3	0	1.1
10・1	0	0.1	0	0.2	0	0.2
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.2
4	0	0.0	0	0.7	0	0.0
5	0	0.0	0	0.2	0	0.4
6	0	0.0	0	0.0	0	0.2
計	11	16.3	5	96.5	8	34.6

シロオビノメイガ(予察灯60W)

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H24	平年	H24	平年	H24	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	1	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.2
5	0	0.0	0	0.4	0	0.2
6	0	0.1	0	0.2	0	0.2
8・1	0	0.1	0	0.2	0	0.1
2	0	0.2	0	0.2	0	0.4
3	0	0.2	0	0.7	0	1.2
4	0	0.3	0	0.5	0	1.1
5	1	0.2	0	0.6	0	1.0
6	0	0.4	0	0.7	0	0.5
9・1	0	0.1	0	1.2	0	0.8
2	0	0.1	0	1.4	4	1.3
3	0	0.1	0	4.0	3	2.2
4	0	0.1	1	3.9	9	1.9
5	0	0.1	0	2.1	17	1.7
6	0	0.3	0	0.6	8	2.7
10・1	0	0.2	0	0.7	8	2.0
2	0	0.0	0	1.4	12	1.9
3	0	0.2	0	0.9	0	1.0
4	0	0.2	1	0.8	0	0.6
5	0	0.0	0	0.9	0	0.5
6	0	0.0	0	0.4	0	0.7
計	1	3.0	2	21.9	62	22.7

ドウガネブイブイ(予察灯BL)

設置場所	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	月・半旬	H24	平年	H24	平年	H24
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.2
6	0	1.2	0	0.0	0	0.0
6・1	2	0.9	0	0.3	0	0.0
2	3	4.3	0	0.5	2	0.3
3	7	5.4	1	0.3	2	1.4
4	0	10.4	0	1.1	0	7.0
5	12	12.3	2	1.4	6	13.0
6	20	19.6	6	3.9	23	20.7
7・1	19	17.8	7	3.3	62	22.7
2	38	26.0	9	6.5	50	40.2
3	67	24.6	5	4.5	81	41.0
4	105	29.0	10	5.0	118	37.9
5	43	27.9	9	7.0	68	40.2
6	77	26.7	29	6.1	68	41.1
8・1	42	19.5	14	6.7	42	41.8
2	24	17.7	8	5.9	30	46.2
3	12	11.2	1	4.7	28	25.9
4	31	8.4	5	4.3	26	29.0
5	16	7.2	5	2.7	9	13.9
6	13	7.7	3	1.4	14	18.0
9・1	4	2.9	4	2.6	4	8.6
2	2	2.6	2	0.9	4	4.3
3	2	0.8	2	0.4	2	1.8
4	1	0.8	0	0.1	2	1.2
5	0	0.3	0	0.0	1	0.2
6	0	0.1	0	0.0	0	0.1
10・1	0	0.1	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	540	285.5	122	69.9	642	456.7

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

クロコガネ(予察灯BL)

設置場所	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	月・半旬	H24	平年	H24	平年	H24
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	1	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.2	0	0.1	0	0.1
2	0	0.0	0	0.3	0	0.4
3	0	0.1	0	0.3	0	0.4
4	0	0.0	8	0.4	0	1.8
5	0	0.2	2	0.9	1	1.3
6	0	0.4	2	0.3	0	0.9
6・1	1	0.2	2	0.2	1	2.2
2	3	2.2	2	0.2	1	1.5
3	9	1.9	0	0.2	0	1.2
4	0	3.6	0	0.5	0	0.9
5	4	5.1	0	0.7	1	1.4
6	4	5.5	0	1.1	2	1.2
7・1	13	5.1	7	0.9	2	1.1
2	12	5.0	2	0.7	1	1.2
3	14	5.3	12	0.8	2	0.6
4	9	4.5	5	0.3	1	0.7
5	2	3.2	3	1.0	3	0.4
6	1	16.4	2	0.4	0	0.5
8・1	0	2.2	0	0.1	0	0.3
2	0	3.7	1	0.0	0	0.6
3	0	2.6	0	0.3	0	0.2
4	0	1.1	0	0.1	0	1.1
5	0	2.2	0	0.0	1	0.0
6	0	1.4	0	0.0	0	0.2
9・1	0	1.2	0	0.1	0	0.6
2	4	1.1	0	0.0	0	0.1
3	0	0.1	1	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	77	74.6	49	10.0	16	20.9

ヒメコガネ(予察灯BL)

設置場所	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H24	平年	H24	平年	H24	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.9	0	0.0	0	0.1
6・1	0	0.2	0	0.0	0	0.0
2	0	1.3	0	0.0	0	0.2
3	5	3.1	0	0.0	0	0.3
4	0	6.6	0	0.1	0	3.7
5	27	18.8	0	0.4	1	10.5
6	40	38.1	0	0.8	13	21.3
7・1	80	42.7	3	0.7	36	47.3
2	178	70.2	5	1.5	93	93.1
3	345	116.8	2	1.4	143	150.5
4	519	160.6	6	1.7	231	196.9
5	382	227.6	1	3.4	268	205.3
6	800	345.7	5	2.5	280	224.9
8・1	948	290.9	3	3.2	124	170.4
2	701	328.9	4	1.3	124	129.5
3	343	245.0	4	1.1	103	75.3
4	564	207.2	2	0.7	48	42.9
5	483	190.5	2	0.7	30	19.0
6	316	147.1	1	0.2	9	14.6
9・1	153	86.6	0	0.4	3	3.8
2	84	56.0	1	0.1	0	0.3
3	107	32.0	0	0.0	1	0.1
4	16	15.4	0	0.0	0	0.0
5	7	6.0	0	0.2	0	0.0
6	2	1.6	0	0.0	0	0.0
10・1	2	0.3	0	0.0	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	6,102	2,640	39	20.4	1,507	1,410

アカビロウドコガネ(予察灯BL)

設置場所	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H24	平年	H24	平年	H24	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.2	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.2
3	0	0.1	0	0.1	0	0.5
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5	1	0.1	0	0.2	3	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.2
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.7
2	0	0.9	0	0.0	1	0.3
3	0	1.1	0	0.2	0	0.4
4	0	3.3	0	0.0	0	1.4
5	3	2.7	1	0.8	0	0.6
6	4	7.5	1	1.1	0	1.4
7・1	3	9.8	0	1.6	2	2.6
2	7	12.5	2	1.7	0	2.5
3	10	20.3	5	2.5	2	2.5
4	12	15.8	0	1.1	0	4.0
5	16	9.8	1	1.8	2	1.2
6	4	10.1	1	0.8	7	2.4
8・1	3	7.7	0	0.9	0	0.9
2	1	4.8	0	0.1	0	0.3
3	0	4.3	0	0.2	0	0.3
4	9	1.1	0	0.4	0	0.5
5	1	1.9	0	0.1	0	0.2
6	3	3.5	1	0.4	0	0.2
9・1	2	0.9	2	0.4	0	0.0
2	0	1.1	0	0.2	0	0.0
3	1	0.6	1	0.0	1	0.0
4	0	0.9	0	0.1	0	0.1
5	0	0.7	0	0.1	0	0.1
6	0	0.4	0	0.0	0	0.0
10・1	1	0.1	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	81	122.1	15	15.6	18	23.6

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

(2) 誘引剤トラップの調査結果

設置場所	京田辺市	亀岡市	京丹後市
チャバネアオカメムシ	92.0(81.9)	52.1(259.6)	82.0(113.7)
コナガ	—	109.2(540.3)	26.3(224.6)
ハスモンヨトウ	970.2(1983.4)	1539.1(2838.4)	814.0(1471.4)
タバコガ	36.0(24.6)	31.9(87.3)	15.8(61.1)
オオタバコガ	9.0(40.3)	268.0(332.8)	15.9(16.6)

*コナガは4月～10月の総誘殺数、その他は5月～10月の総誘殺数。

* () 内は、ハスモンヨトウは例年値、その他は平年値。

*平成16年に京田辺市のフェロモントラップ設置場所を変更した。

*平成22年に亀岡市のハスモンヨトウのフェロモントラップの種類及び設置場所を変更した。

設置場所	宇治市	綾部市	京丹後市
チャノコカクモンハマキ	4658.0(3430.3)	2643.9(4659.9)	854.0(223.6)
チャノホソガ	6596.0(12766.4)	3816.7(11701.2)	9.9(20.1)

*4月～10月の総誘殺数。

* () 内は、京丹後市は例年値、その他は平年値。

チャバネアオカメムシ（フェロモントラップ）

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H24	平年	H24	平年	H24	平年
5・1	0.0	0.4	0.0	0.6	1.1	0.2
2	0.0	0.3	0.0	1.6	0.9	0.1
3	0.0	0.2	0.0	2.7	0.0	1.2
4	0.7	0.8	0.0	1.7	1.4	1.7
5	3.9	1.3	0.7	3.0	1.2	1.0
6	2.4	0.9	0.3	2.1	1.4	1.6
6・1	4.2	0.8	0.0	3.3	5.0	0.9
2	0.8	0.6	3.0	2.2	1.0	0.8
3	0.9	1.6	0.0	2.2	0.6	1.2
4	2.1	3.7	0.8	1.9	1.4	2.2
5	0.7	3.4	2.3	2.2	0.7	1.6
6	3.3	2.1	1.9	4.7	2.0	1.7
7・1	8.0	6.8	1.9	10.5	4.9	2.7
2	8.3	8.0	3.9	18.9	12.9	4.2
3	12.0	5.9	5.3	17.0	12.3	4.9
4	7.7	7.1	1.7	20.6	10.4	9.7
5	0.0	6.7	1.8	29.0	7.9	5.6
6	13.7	7.7	6.9	21.2	5.1	11.5
8・1	5.1	4.2	4.8	21.5	2.0	10.9
2	5.0	7.5	2.8	25.4	1.1	9.3
3	7.1	6.2	3.3	18.5	0.7	7.6
4	1.4	3.5	1.8	15.3	0.0	9.2
5	2.3	1.4	2.5	11.0	0.4	9.3
6	2.3	0.4	1.8	7.2	1.1	6.4
9・1	0.0	0.1	1.8	4.2	1.4	2.6
2	0.0	0.0	2.0	2.5	0.7	1.4
3	0.0	0.0	0.0	0.9	0.3	1.2
4	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.7
5	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.4
6	0.0	0.0	0.0	0.3	0.6	0.3
10・1	0.0	0.1	0.0	0.3	1.0	0.2
2	0.0	0.0	0.7	0.7	1.4	0.2
3	0.0	0.0	0.3	0.9	0.0	0.3
4	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.2
5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.1	0.3
6	0.0	0.0	0.0	0.7	0.9	0.2
11・1	0.0	-	0.0	-	0.0	-
2	0.0	-	0.0	-	0.0	-
3	0.0	-	0.0	-	0.0	-
4	0.0	-	0.0	-	0.0	-
5	0.0	-	0.0	-	0.0	-
6	0.0	-	0.0	-	0.0	-
5～10月計	92.0	81.9	52.1	259.6	82.0	113.7

平成16年に京田辺市のフェロモントラップ設置場所を変更した。

コナガ（フェロモントラップ）

設置場所 月・半旬	亀岡市		京丹後市	
	H24	平年	H24	平年
4・1	1.0	6.5	2.2	5.9
2	0.8	8.5	4.3	6.4
3	1.8	6.2	2.6	8.5
4	1.1	4.6	2.1	7.9
5	1.1	4.1	2.1	9.9
6	5.3	6.5	0.8	15.0
5・1	0.8	6.7	0.2	13.0
2	0.2	13.2	0.0	14.1
3	0.0	15.5	0.0	17.0
4	3.0	39.2	1.4	15.8
5	4.3	45.8	1.2	17.7
6	8.7	39.9	1.4	17.5
6・1	12.5	29.5	0.8	7.9
2	6.5	37.4	1.9	6.8
3	10.7	36.8	1.6	4.3
4	20.8	51.0	0.7	5.1
5	8.5	39.5	0.7	6.5
6	1.9	27.6	0.3	6.7
7・1	2.7	29.0	0.0	3.9
2	7.7	20.6	0.0	2.3
3	2.7	10.4	0.0	1.5
4	0.0	6.3	0.3	0.9
5	0.0	5.6	0.7	1.0
6	0.0	6.0	0.0	1.0
8・1	0.0	3.6	0.0	0.4
2	0.0	3.2	0.0	1.0
3	0.8	5.3	0.0	1.3
4	0.3	4.8	0.0	0.5
5	0.0	2.3	0.0	1.0
6	0.6	1.5	0.0	1.4
9・1	0.4	1.5	0.0	1.3
2	0.0	2.0	0.0	0.4
3	0.0	1.8	0.0	0.7
4	0.0	1.2	0.0	0.7
5	0.0	1.6	0.0	1.1
6	0.0	3.2	0.0	1.2
10・1	0.6	2.3	0.0	2.6
2	0.4	1.4	0.0	2.8
3	1.0	2.1	0.0	1.5
4	0.0	2.9	0.0	3.0
5	2.0	1.9	0.1	3.3
6	1.0	1.6	0.9	4.0
11・1	1.0	-	2.1	-
2	2.1	-	1.3	-
3	0.9	-	1.1	-
4	0.7	-	2.9	-
5	0.3	-	0.6	-
6	0.0	-	1.2	-
4～10月計	109.2	540.3	26.3	224.6

ハスモンヨトウ（フェロモントラップ）

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H24	平年	H24	平年(参考)	H24	平年
4・1	0.0	-	0.0	-	0.0	-
2	0.0	-	0.0	-	0.0	-
3	0.0	-	0.0	-	0.0	-
4	0.3	-	1.3	-	0.0	-
5	0.7	-	1.4	-	0.0	-
6	0.8	-	1.3	-	0.0	-
5・1	3.6	3.0	0.0	0.2	0.0	0.8
2	2.9	2.8	0.0	3.4	0.0	1.8
3	0.7	2.3	1.0	2.2	0.0	2.8
4	5.0	3.5	1.0	2.5	0.0	2.2
5	3.8	4.1	0.7	13.9	0.0	3.5
6	3.2	7.2	0.3	13.9	0.0	5.0
6・1	1.7	6.7	2.5	7.4	0.8	4.9
2	8.9	6.9	0.5	7.3	4.2	6.1
3	11.0	9.5	6.4	13.7	4.7	5.6
4	11.4	13.3	7.1	19.9	4.3	8.2
5	8.6	13.7	1.5	6.8	1.4	12.4
6	8.6	20.3	2.5	7.6	4.0	26.9
7・1	10.6	22.8	3.1	5.5	9.6	32.8
2	18.6	21.0	6.4	15.4	25.0	33.8
3	15.1	23.1	4.4	35.1	11.3	38.2
4	12.9	32.4	9.3	40.5	9.9	40.1
5	10.7	32.4	9.6	57.4	12.9	35.7
6	29.1	52.2	24.6	53.1	13.7	37.7
8・1	16.9	43.2	27.9	27.0	23.4	37.7
2	16.7	43.4	30.9	27.8	20.7	32.6
3	19.3	42.2	20.6	35.4	12.1	42.2
4	26.4	47.8	18.8	47.8	22.1	51.7
5	26.4	64.4	29.2	63.1	21.3	58.5
6	33.4	81.1	45.8	102.9	24.6	63.7
9・1	30.7	94.9	38.7	114.9	20.0	50.9
2	30.7	96.3	41.4	207.4	43.6	60.5
3	27.3	84.9	60.6	161.0	63.3	73.3
4	31.9	103.5	124.3	163.8	79.4	78.4
5	59.3	115.0	172.5	262.1	91.4	85.2
6	66.7	120.6	153.5	276.1	50.3	85.8
10・1	61.4	135.4	112.5	182.7	35.1	95.3
2	50.7	135.5	126.2	172.9	27.9	80.4
3	88.6	123.0	105.3	194.6	27.9	67.4
4	71.4	125.0	154.0	211.9	35.6	70.2
5	62.0	105.7	93.0	111.5	44.1	64.6
6	84.0	144.7	103.0	170.4	69.4	74.9
11・1	42.9	-	40.0	-	20.7	-
2	35.6	-	35.7	-	15.6	-
3	26.9	-	21.8	-	11.4	-
4	11.4	-	8.8	-	8.6	-
5	7.6	-	2.0	-	3.7	-
6	2.7	-	0.7	-	1.0	-
5～10月計	970.2	1983.4	1539.1	2838.4	814.0	1471.4

平成22年に亀岡市のフェロモントラップ設置場所を変更した。

タバコガ (フェロモントラップ)

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H24	平年	H24	平年	H24	平年
4・1	0.0	-	0.0	-	0.0	-
2	0.0	-	0.0	-	0.0	-
3	0.0	-	0.0	-	0.0	-
4	0.0	-	0.0	-	0.0	-
5	0.0	-	0.0	-	0.0	-
6	0.0	-	0.0	-	0.0	-
5・1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
2	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0
3	0.0	0.1	0.0	0.3	0.0	0.0
4	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.2
5	0.0	0.1	0.0	1.1	0.0	0.1
6	0.0	0.2	1.0	0.7	0.0	0.1
6・1	0.8	0.1	0.0	0.3	0.8	0.0
2	0.2	0.2	0.0	0.4	0.2	0.0
3	0.9	0.1	0.0	0.5	0.0	0.1
4	2.1	0.2	0.0	0.9	0.0	0.2
5	0.0	0.2	0.0	1.8	0.0	0.2
6	0.0	0.1	0.0	1.7	0.0	0.1
7・1	0.0	0.1	0.4	0.9	0.1	0.1
2	0.0	0.3	1.3	0.7	0.7	0.2
3	0.6	0.6	1.1	1.5	0.1	0.4
4	0.4	0.6	1.5	1.4	0.0	0.3
5	0.0	0.5	0.7	2.4	0.0	0.5
6	0.9	1.1	1.4	4.7	1.7	0.8
8・1	0.7	1.0	1.3	5.1	1.4	0.7
2	0.4	0.9	2.9	2.4	1.7	0.6
3	0.0	1.2	2.8	4.6	2.1	1.2
4	1.4	2.8	0.5	7.1	0.0	3.7
5	3.6	3.4	4.2	6.2	0.0	7.7
6	5.7	3.3	3.3	9.2	0.9	11.1
9・1	4.3	2.2	2.5	7.2	2.1	8.4
2	3.6	1.9	2.2	7.3	0.0	6.8
3	1.9	1.0	1.1	3.7	0.9	4.7
4	1.0	0.9	0.7	5.3	1.1	6.5
5	2.1	0.8	1.7	3.8	0.0	3.7
6	2.1	0.3	0.3	1.9	1.1	1.3
10・1	1.6	0.3	0.6	0.9	0.9	0.6
2	0.7	0.1	0.4	1.0	0.0	0.4
3	0.7	0.1	0.0	0.3	0.0	0.2
4	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
5	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1
6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
11・1	0.0	-	0.0	-	0.0	-
2	0.0	-	0.0	-	0.0	-
3	0.0	-	0.0	-	0.0	-
4	0.0	-	0.0	-	0.0	-
5	0.0	-	0.0	-	0.0	-
6	0.0	-	0.0	-	0.0	-
5～10月計	36.0	24.6	31.9	87.3	15.8	61.1

平成16年に京田辺市のフェロモントラップ設置場所を変更した。

オオタバコガ (フェロモントラップ)

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H24	平年	H24	平年	H24	平年
4・1	0.0	-	0.0	-	0.0	-
2	0.0	-	0.0	-	0.0	-
3	0.0	-	0.0	-	0.0	-
4	0.0	-	0.0	-	0.0	-
5	0.0	-	0.0	-	0.0	-
6	0.0	-	0.0	-	0.0	-
5・1	0.0	0.0	0.8	3.4	0.0	0.1
2	0.0	0.3	1.2	3.5	0.0	0.1
3	0.0	0.9	0.0	4.1	0.0	0.2
4	0.7	1.6	1.0	5.1	0.0	0.0
5	0.3	2.1	0.0	3.5	0.0	0.1
6	0.0	2.7	0.0	2.1	0.0	0.7
6・1	0.8	0.1	0.0	2.1	0.0	0.3
2	0.2	0.1	2.0	1.8	0.0	0.2
3	0.0	0.4	1.4	1.5	0.0	0.2
4	0.0	1.2	1.3	2.1	0.0	0.4
5	0.0	0.6	0.3	2.7	0.0	0.1
6	0.0	0.2	0.6	3.3	0.0	0.0
7・1	0.0	0.3	2.0	3.9	0.0	0.1
2	0.0	0.3	5.1	4.6	0.0	0.0
3	0.0	0.4	6.9	4.4	0.0	0.0
4	0.0	0.5	1.4	6.6	0.0	0.0
5	0.0	0.3	0.0	2.3	0.0	0.0
6	0.0	0.4	1.4	3.5	0.0	0.0
8・1	0.0	0.6	3.6	9.5	0.0	0.0
2	0.0	0.4	7.0	7.1	0.0	0.0
3	0.0	0.5	4.5	10.1	0.0	0.0
4	0.0	0.5	0.5	10.6	0.0	0.0
5	0.0	0.7	0.8	5.6	0.0	0.1
6	0.0	1.1	0.2	9.3	0.0	1.5
9・1	0.0	1.0	1.3	6.6	0.0	1.1
2	0.0	0.4	5.3	16.1	0.0	0.3
3	0.0	0.5	13.3	24.3	0.0	0.2
4	0.0	1.5	10.0	22.4	0.1	1.1
5	0.0	1.2	10.8	17.7	0.7	1.6
6	0.0	1.2	9.2	27.2	1.3	0.9
10・1	0.0	2.0	16.9	24.4	1.1	0.4
2	0.0	1.9	25.5	13.9	0.7	0.9
3	1.4	1.3	14.7	13.7	0.0	0.4
4	0.6	2.1	38.0	14.9	0.0	1.5
5	0.7	4.6	48.0	18.4	1.7	2.3
6	4.3	6.5	33.0	20.4	10.3	1.7
11・1	20.0	-	22.0	-	9.3	-
2	8.4	-	6.4	-	4.6	-
3	0.7	-	2.6	-	1.1	-
4	0.7	-	0.0	-	0.0	-
5	0.1	-	0.0	-	0.0	-
6	0.0	-	0.0	-	0.0	-
5～10月計	9.0	40.3	268.0	332.8	15.9	16.6

平成16年に京田辺市のフェロモントラップ設置場所を変更した。

チャノホソガ (フェロモントラップ)

設置場所 月・半旬	宇治市		綾部市		京丹後市	
	H24	平年	H24	平年	H24	平年
4・1	21	84.7	0.0	243.0	0.0	0.9
2	117	228.6	48.7	258.7	0.0	1.4
3	651	198.7	243.6	328.8	0.0	1.8
4	860	96.4	640.1	324.7	0.0	0.4
5	1024	79.8	573.9	341.2	0.0	0.2
6	279	30.8	325.7	222.0	0.0	0.0
5・1	231	31.9	26.4	67.8	0.0	0.0
2	116	18.3	15.7	22.0	0.0	0.0
3	27	5.4	6.9	2.7	0.0	0.0
4	5	3.6	0.0	1.5	0.0	0.1
5	11	34.2	0.0	50.1	0.0	0.4
6	446	273.1	19.3	222.3	0.0	0.1
6・1	3195	728.2	238.4	520.8	0.7	0.0
2	5562	700.9	1063.6	666.5	1.2	0.0
3	6475	514.6	976.7	829.2	1.1	1.5
4	2619	279.8	993.6	827.7	0.0	1.8
5	704	99.5	1051.4	820.7	0.0	0.9
6	248	65.5	135.7	302.1	0.0	0.0
7・1	58	222.2	318.1	195.7	0.0	0.3
2	916	927.5	439.6	386.4	0.0	0.2
3	2263	1046.9	439.6	530.8	0.0	0.0
4	4137	635.6	413.6	404.0	0.0	0.4
5	1190	455.7	301.1	334.3	0.0	1.0
6	699	165.8	149.9	477.7	1.4	0.8
8・1	215	314.9	38.6	462.8	0.6	0.4
2	274	805.6	46.0	325.6	0.0	0.2
3	652	779.3	36.4	231.2	0.0	0.7
4	638	222.3	19.3	218.1	0.0	0.2
5	1089	205.9	24.3	217.2	0.0	0.0
6	649	316.5	197.1	248.9	0.1	0.0
9・1	104	765.9	170.0	173.7	0.7	0.0
2	128	543.6	73.6	139.9	0.1	0.0
3	536	174.1	68.1	157.8	0.0	0.0
4	535	142.6	47.5	173.3	0.0	0.4
5	959	143.5	17.2	169.8	0.0	0.4
6	919	244.8	19.3	202.0	0.4	0.3
10・1	198	118.1	37.0	142.0	0.6	0.0
2	67	61.1	43.1	102.9	0.0	0.0
3	23	33.4	45.7	83.9	0.0	0.0
4	14	13.9	18.6	67.1	0.0	0.0
5	10	16.2	22.0	45.6	0.0	0.0
6	2	11.4	19.4	32.8	0.0	0.0
11・1	0	6.0	0.0	10.0	0.0	0.0
2	5	11.5	0.0	4.2	0.0	0.0
3	2	9.8	-	-	0.0	0.0
4	0	15.8	-	-	0.0	0.2
5	2	4.0	-	-	0.0	0.4
6	0	3.3	-	-	0.0	0.0
4~10月計	38866.0	11840.9	9364.8	11575.0	6.9	14.1

チャノコカクモンハマキ (フェロモントラップ)

設置場所 月・半旬	宇治市		綾部市		京丹後市	
	H24	平年	H24	平年	H24	平年
4・1	0	1.0	0.0	0.3	0.0	0.3
2	0	6.4	0.0	1.5	0.6	0.6
3	1	41.2	0.0	12.7	1.3	1.2
4	1	88.9	0.0	26.1	-	1.4
5	2	103.7	19.7	54.8	-	1.0
6	20	195.2	49.3	96.6	-	8.3
5・1	65	488.1	87.1	186.5	7.8	16.8
2	95	572.2	194.3	228.2	11.4	13.6
3	98	345.0	242.7	212.7	14.3	14.0
4	87	184.8	150.7	194.9	9.7	16.8
5	186	66.6	54.7	59.8	6.3	3.6
6	100	19.7	21.0	13.7	2.6	2.4
6・1	15	6.2	3.6	3.5	0.3	1.4
2	2	4.5	0.7	4.2	0.0	0.8
3	2	17.4	6.4	48.9	0.1	0.7
4	18	81.5	94.1	128.0	0.7	3.1
5	55	154.9	223.6	280.2	6.4	8.8
6	40	176.6	217.9	263.9	12.4	23.6
7・1	27	117.9	131.5	200.8	19.3	28.3
2	71	54.2	73.9	92.1	14.3	23.7
3	38	16.5	73.9	28.7	12.1	16.4
4	14	9.2	22.2	73.9	9.1	5.0
5	3	11.3	9.9	64.7	2.9	3.8
6	8	22.3	12.3	89.0	27.7	9.2
8・1	29	39.6	7.9	85.9	34.9	17.8
2	14	38.8	2.7	59.9	35.7	20.9
3	16	41.4	1.7	40.5	18.6	11.1
4	12	12.3	2.1	25.7	14.0	8.7
5	8	4.4	15.7	19.2	10.0	4.9
6	5	4.2	37.1	25.2	7.7	5.0
9・1	2	11.1	50.3	69.3	10.0	3.8
2	2	21.7	67.9	155.2	13.4	3.9
3	23	99.8	118.1	200.5	25.7	7.1
4	22	122.5	122.5	171.7	42.9	23.2
5	36	113.3	113.0	96.1	45.7	30.1
6	15	121.4	48.6	89.8	48.7	25.2
10・1	13	140.2	121.7	75.0	44.9	27.6
2	100	124.5	124.6	57.1	21.4	24.1
3	17	74.1	101.4	48.1	18.6	18.9
4	20	94.0	7.9	32.0	15.0	16.2
5	18	48.4	15.6	23.9	10.7	14.1
6	31	102.3	17.1	76.2	21.4	9.9
11・1	4	14.5	1.4	3.4	10.4	4.4
2	47	19.5	0.0	5.2	7.7	3.2
3	19	11.8	-	-	6.4	2.5
4	10	14.0	-	-	15.7	0.8
5	5	4.5	-	-	6.3	0.4
6	3	3.8	-	-	0.0	0.7
4~10月計	1331.0	3999.4	2665.4	3716.8	598.6	477.4

(3) 黄色水盤の調査結果

表 アラムシ類誘殺数(黄色水盤)
調査場所: 亀岡市(農林センター)
半月別推定値

月.半月	H24	平年	H23	H22	H21	H20	H19	H18	H17	H16	H15	H14
4.1	0.0	3.8	1.0	2.0	6.0	—	5.0	0.0	0.0	9.0	0.0	11.0
4.2	0.0	6.5	1.2	10.3	17.0	—	5.0	0.0	3.0	18.0	1.0	3.0
4.3	2.5	9.5	5.1	6.8	3.3	8.0	8.0	1.0	7.0	47.0	1.0	8.0
4.4	2.5	20.4	1.7	5.0	38.7	17.0	6.0	2.0	36.0	81.0	1.0	16.0
4.5	2.0	16.8	2.0	6.7	38.0	34.0	15.0	2.0	12.0	36.0	2.0	20.0
4.6	9.0	32.7	5.0	5.3	88.8	132.0	17.0	10.0	29.0	24.0	2.0	14.0
5.1	0.0	49.0	14.0	40.0	107.3	207.0	13.0	10.0	58.0	24.0	12.0	5.0
5.2	0.0	50.7	16.0	8.0	143.3	217.0	34.0	14.0	52.0	11.0	7.0	5.0
5.3	5.0	30.6	12.0	5.7	54.8	100.0	35.0	21.0	54.0	12.0	3.0	8.0
5.4	9.0	35.6	14.0	9.3	47.0	159.0	9.0	18.0	61.0	23.0	12.0	4.0
5.5	0.0	54.5	9.0	5.0	17.0	284.0	17.0	25.0	127.0	36.0	22.0	3.0
5.6	10.0	45.3	4.0	3.0	6.9	193.0	27.0	20.0	134.0	29.0	26.0	10.0
6.1	10.0	50.1	10.0	7.0	9.6	83.0	22.0	35.0	179.0	37.0	40.0	78.0
6.2	6.0	45.4	2.3	11.0	5.6	96.0	20.0	87.0	145.0	27.0	38.0	22.0
6.3	18.0	45.9	1.7	4.0	2.4	85.0	28.0	85.0	186.0	19.0	18.0	30.4
6.4	12.0	41.4	2.0	4.3	3.4	104.0	26.0	62.0	149.0	23.0	14.0	26.6
6.5	0.0	29.7	0.0	5.7	2.0	74.0	18.0	72.0	59.0	19.0	11.0	36.3
6.6	0.0	23.9	1.0	3.0	0.0	39.0	25.0	59.0	41.0	10.0	13.0	47.6
7.1	0.0	12.5	1.0	3.0	0.0	15.0	10.0	30.0	10.0	4.0	13.0	39.0
7.2	13.0	11.9	0.0	4.0	1.0	35.0	11.0	12.0	7.0	6.0	5.0	38.3
7.3	1.0	11.6	0.0	5.0	1.0	30.0	9.0	2.0	7.0	19.0	11.0	32.0
7.4	0.0	7.7	0.0	5.0	2.8	18.0	10.0	1.0	12.0	10.0	6.0	12.5
7.5	0.0	6.4	0.0	0.8	2.3	7.0	12.0	0.0	12.0	12.0	7.0	11.1
7.6	3.0	8.5	1.0	0.9	7.0	5.0	13.0	—	14.0	11.0	11.0	14.0
8.1	8.0	17.0	16.0	0.3	4.7	10.0	8.0	35.0	48.0	14.0	22.0	12.0
8.2	10.0	19.1	80.0	0.0	5.2	23.0	16.0	18.0	22.0	9.0	5.0	12.5
8.3	35.0	26.4	76.0	7.0	7.0	33.0	29.0	38.0	28.0	28.0	9.0	9.4
8.4	28.0	16.6	19.0	8.5	7.9	22.0	24.0	42.0	21.0	9.0	9.0	3.5
8.5	15.7	28.7	3.0	5.5	3.1	20.0	25.0	37.0	26.0	31.0	32.0	104.0
8.6	6.3	28.0	10.0	2.0	8.6	21.0	16.0	21.0	70.0	26.0	21.0	84.6
9.1	0.0	27.0	0.0	2.0	9.3	70.0	23.0	56.0	20.0	13.0	15.0	61.4
9.2	3.0	35.6	20.0	2.6	8.4	170.0	19.0	48.0	11.0	5.0	14.0	57.9
9.3	0.0	21.5	20.0	0.4	6.3	68.0	10.0	24.0	5.0	8.0	6.0	67.1
9.4	0.0	19.7	1.0	26.7	20.0	41.0	19.0	22.0	3.0	5.0	4.0	55.6
9.5	0.0	14.9	10.0	7.6	8.0	31.0	7.0	16.0	12.0	5.0	4.0	48.0
9.6	0.0	8.7	5.0	2.8	3.7	10.0	11.0	17.0	14.0	1.0	2.0	20.5
10.1	0.0	9.6	0.0	17.0	1.0	8.0	14.0	23.0	16.0	1.0	0.0	16.3
10.2	0.0	5.3	4.0	0.0	0.0	13.0	5.0	6.0	9.0	2.0	—	8.7
10.3	10.0	5.3	0.0	13.0	0.0	5.0	6.0	9.0	6.0	1.0	—	7.9
10.4	7.7	8.2	5.0	17.0	0.0	9.0	8.0	10.0	15.0	2.0	—	7.9
10.5	19.3	4.9	4.0	0.0	0.0	8.0	5.0	6.0	13.0	1.0	—	6.7
10.6	0.0	7.0	3.4	5.0	0.7	15.0	13.0	11.0	12.0	0.0	—	2.5
11.1	0.0	15.0	0.6	18.0	7.4	34.0						
11.2	15.7	13.7	10.0	10.0	4.7	30.0						
11.3	11.3	14.7	2.0	31.7	3.0	22.0						
11.4	10.0	5.2	0.0	6.3	2.6	12.0						
11.5	6.0	9.6	1.3	2.0	1.0	34.0						
11.6	3.0	9.4	6.7	0.0	0.0	31.0						
4~10月計	246.0	953.9	380.4	278.0	698.8	2519.0	653.0	1007.0	1745.0	708.0	419.0	1081.2

2 病害虫発生予察情報の内容

(1) 水稻

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 (前年比)	根拠	備考
葉いもち	5月23日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、補植用苗での発生を認めていない(平年並)。 (2)前年の穂いもちの発生量は平年並。 (3)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または少なく、日照時間は平年比多いと予想されている。	
	6月21日(5号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)病害虫防除員から、苗いもちの発生が報告されている(+) (2)6月中旬現在、本田では中丹地域で発生を認めている。 (3)BLASTAM(いもち病発生予察システム)によると、感染好適条件が6月中旬から出現している。 (4)向こう1か月の気温は高く、降水量は日本海側で平年並または多く(+)、太平洋側で多い(+)。日照時間は平年並と予想されている。	
穂いもち (中晩生水稲)	7月25日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、葉いもちの発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並または少なく(-)、日照時間は平年並または多い(-)と予想されている。 (3)普及センター、調査協力員からの報告によると、一部地域で葉いもちの発生が目立つ(+)	
	8月22日(7号)	発生量 やや少ない(並)	(1)8月中旬現在、山城で葉いもちの発生は認めていない(平年比やや少ない(-)) (2)9月の気温は平年並または高く(-)、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
紋枯病 (中晩生水稲)	6月21日(5号)	発生量 並(多い)	(1)6月中旬現在、発生を認めていない。 (2)前年8月の発生量は平年比やや少ない(-) (3)向こう1か月の気温は高く、降水量は日本海側で平年並または多く(+)、太平洋側で多い(+)。日照時間は平年並と予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 並(やや多い)	(1)7月中旬現在、発生は認めていない(平年比少ない(-)) (2)7月中旬現在、分けつ数は平年比多い(+)(農林センター調べ)。 (3)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並または少ない(-)と予想されている。	
	8月22日(7号)	発生量 やや少ない(並)	(1)8月中旬現在、山城で発生を認めていない(平年比少ない(-)) (2)9月の気温は平年並または高く(+)、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
ヒメビウンカ と縞葉枯病	4月24日(3号)	[ヒメビウンカ] 発生量 やや少ない [縞葉枯病] 発生量 並	(1)4月中旬現在、ヒメビウンカの発生量は平年比やや少ない(-)。 (2)昨年は、縞葉枯病の発生は認めていない。	
	5月23日(4号)	[ヒメビウンカ] 発生量 やや多い [縞葉枯病] 発生量 並	(1)未耕起田等でのヒメビウンカの越冬量は平年比やや多い(+) (2)昨年は、縞葉枯病の発生は認めていない。	
セジロウンカ	6月21日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月第2半旬現在、予察灯での誘殺を認めていない。 (2)6月中旬現在、本田での発生を認めていない(平年並)。	
	7月25日(6号)	発生量 やや多い(並)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+)	
トビイロウンカ (中晩生水稲)	7月25日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月第3半旬現在、予察灯への誘殺を認めていない。 (2)7月中旬の巡回調査で、発生を認めていない(平年並)。	
	8月22日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月第3半旬現在、予察灯への誘殺を認めていない。 (2)8月中旬現在、ほ場での発生を認めていない(平年並)。 (3)向こう1か月の気温は平年並または高いと予想されている。	
ツマグロ ヨコバイ	5月23日(4号)	発生量 やや少ない(並)	(1)未耕起田等でのツマグロヨコバイの越冬量は平年比やや少ない。	
	6月21日(5号)	発生量 並(やや多い)	(1)6月中旬現在の発生量は平年並。	
	7月25日(6号)	発生量 やや少ない (やや少ない)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-)。	
ニカメイチュウ (第1世代)	5月23日(4号)	発生量 並	(1)前年秋期の発生は平年並で、越冬量は平年並と予想される。	
コブノメイガ (晩生水稲)	7月25日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。	
	8月22日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、山城での発生を認めていない(平年並)。	
イネミス ゾウムシ	4月24日(3号)	発生量 並(やや少ない)	(1)前年の新成虫の予察灯での誘殺数は平年並。	
	5月23日(4号)	発生量 やや多い (やや少ない)	(1)前年新成虫の予察灯への誘殺数は平年並。 (2)5月第3半旬現在、越冬世代成虫の予察灯への誘殺数は平年並。 (3)5月中旬現在、本田での発生量は平年並。	
斑点米 カメムシ類 (中晩生水稲)	6月21日(5号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)6月中旬現在、畦畔での発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は高いと予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 やや多い(並)	(1)7月中旬現在、本田での発生量は平年並。 (2)7月中旬現在、畦畔での発生量は平年比やや多い(+) (3)向こう1か月の気温は平年並または高いと予想されている。	
	8月22日(7号)	発生量 やや多い	(1)8月中旬現在、本田での発生量は山城で平年比やや多い(+) (2)8月中旬現在、畦畔雑草での発生量は平年比やや多い(+)	
その他 (注意事項)				

(2) 麦類

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 (前年比)	根 拠	備考
その他 (注意事項)				

(3) 黒大豆

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 (前年比)	根 拠	備考
アブラムシ類 とウイルス病	6月21日(5号)	発生量 やや少ない (やや少ない)	(1)6月第3半旬現在、アブラムシ類の黄色水盤での誘殺数は前年比やや少ない(-)。 (2)病害虫防除員から、他作物でアブラムシ類の発生が多いと報告されている(+) (3)向こう1か月の気温は高く、降水量は日本海側で前年並または多く(-)、太平洋側で多い(-)と予想されている。	
ハスモンヨトウ	7月25日(6号)	発生量 やや少ない (少ない)	(1)7月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は前年比やや少ない(-)。	
	8月22日(7号)	発生量 やや少ない (やや少ない)	(1)8月中旬現在、発生量は前年並。 (2)8月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は前年比少ない(-)	
	9月26日(8号)	発生量 並	(1)9月中旬現在、発生量は黒大豆でやや少なく(-)、アズキで前年比やや多い。 (2)9月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は前年比やや少ない(-)。 (3)普及センター、病害虫調査協力員からの情報によると、一部の地域で多発生が報告されている(+) (4)向こう1か月の気温は前年並または高く(+)、降水量は前年並と予想されている。	
吸実性 カメムシ類	7月25日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月第3半旬現在、予察灯への誘殺を認めていない(前年並)。	
	8月22日(7号)	発生量 やや多い(並)	(1)8月中旬現在、発生量は前年比やや多い(+) (2)8月第3半旬現在、予察灯へ誘殺を認めていない(前年並)。	
	9月26日(8号)	発生量 並	(1)9月中旬現在、発生量は前年並。 (2)9月第2半旬現在、予察灯への誘殺数は前年並。 (3)向こう1か月の気温は前年並または高く(+)、降水量は前年並と予想されている。	
サヤムシガ類	7月25日(6号)	発生量 多い(多い)	(1)7月中旬現在、発生量は前年比多い(+)	
ハダニ類	7月25日(6号)	発生量 やや多い(並)	(1)7月中旬現在、発生量は前年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は前年並または高く、降水量は前年並または少ない(+と)と予想されている。	
	8月22日(7号)	発生量 多い(多い)	(1)8月中旬現在、発生量は前年比多い(+) (2)9向こう1か月の気温は前年並または高く(+)、降水量は前年並と予想されている。	
	9月26日(8号)	発生量 並	(1)9月中旬現在、発生量は黒大豆で前年比少なく(-)、アズキで前年比やや多い。 (2)普及センターの情報によると、一部の地域の黒大豆で多発生が報告されている(+) (3)向こう1か月の気温は前年並または高く(+)、降水量は前年並と予想されている。	
その他 (注意事項)				

(4) 小豆

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 (前年比)	根 拠	備考
アブラムシ類 とウイルス病	6月21日(5号)	発生量 やや少ない (やや少ない)	(1)6月第3半旬現在、アブラムシ類の黄色水盤での誘殺数は前年比やや少ない(-)。 (2)病害虫防除員から、他作物でアブラムシ類の発生が多いと報告されている(+) (3)向こう1か月の気温は高く、降水量は日本海側で前年並または多く(-)、太平洋側で多い(-)と予想されている。	
ハスモンヨトウ	7月25日(6号)	発生量 やや少ない (少ない)	(1)7月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は前年比やや少ない(-)。 ・ダイズに比べ白変葉が見つけにくいので注意する。	
	8月22日(7号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)8月中旬現在、発生量は前年比多い(+) (2)8月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は前年比少ない(-)	

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 (前年比)	根 拠	備考
ハスモンヨトウ	9月26日(8号)	発生量 やや多い	(1)9月中旬現在、発生量は黒大豆でやや少なく、アズキで平年比やや多い(+) (2)9月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年比やや少ない(-) (3)普及センター、病害虫調査協力員からの情報によると、一部の地域で多発生が報告されている(+) (4)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
吸実性 カメムシ類	9月26日(8号)	発生量 並	(1)9月中旬現在、発生量は平年並。 (2)9月第2半旬現在、予察灯への誘殺数は平年並。 (3)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
ハダニ類	7月25日(6号)	発生量 やや多い(並)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない(+と予想されている。	
	8月22日(7号)	発生量 やや多い(多い)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並) (2)9月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	9月26日(8号)	発生量 やや多い	(1)9月中旬現在、発生量は黒大豆で平年比少なく、アズキで平年比やや多い(+) (2)普及センターの情報によると、一部の地域の黒大豆で多発生が報告されている。 (3)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
その他 (注意事項)				

(5) 果樹

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 (前年比)	根 拠	備考
黒斑病(ナシ)	3月26日(2号)	発生量 並	(1)越冬罹病枝率は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または少ないと予想されている。	
	4月24日(3号)	発生量 やや多い(並)	(1)越冬病枝率は、平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は多い(+と予想されている。	
	5月23日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または少ない(-と予想されている。	
	6月21日(5号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)6月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は高く、降水量は日本海側で平年並または多く(+)、太平洋側で多い(+と予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 やや少ない(並)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量平年並または少ないと予想されている。	
	8月22日(7号)	発生量 やや少ない (やや少ない)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
黒星病(ナシ)	4月24日(3号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)前年10月は、発生を認めなかった(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は多い(+と予想されている。	
	5月23日(4号)	発生量 並(やや少ない)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または少ない(-と予想されている。	
	6月21日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は高く(-)、降水量は日本海側で平年並または多く(+)、太平洋側で多い(+と予想されている。	
	8月22日(7号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)9月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されてい	
炭そ病(カキ)	4月24日(3号)	発生量 多い	(1)前年10月の発生量は、平年比やや多い(+)。また、調査ほ場外で(山際ほ場)で、多発していた(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は多い(+と予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ないと予想されている。	
	8月22日(7号)	発生量 多い(多い)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 (前年比)	根 拠	備考
落葉病(カキ)	5月23日(4号)	発生量 やや少ない	(1)前年秋期の発生量は平年比やや少ない(-)。ただし、調査ほ場外(山際ほ場)で多発を認めた(+) (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または少ない(-)と予想されている。	
うどんこ病 (カキ)	5月23日(4号)	発生量 やや少ない (やや多い)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年比やや少ない(-)) (2)前年秋期の発生量は平年比やや少ない(-) (3)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または少ない(-)と予想されている。	
	6月21日(5号)	発生量 やや少ない (やや多い)	(1)6月中旬現在の発生量は平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は高く(-)、降水量は日本海側で平年並または多く(+)、太平洋側で多い(+))と予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 並(多い)	(1)7月中旬現在、発生量は平年並 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ないと予想されている。	
	8月22日(7号)	発生量 並(やや多い)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
べと病(ブドウ)	5月23日(4号)	発生量 並(やや少ない)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または少ない(-)と予想されている。	
	6月21日(5号)	発生量 やや多い (やや少ない)	(1)6月中旬現在、発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は高く(-)、降水量は日本海側で平年並または多く(+)、太平洋側で多い(+))と予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生量は平年並 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ないと予想されている。	
	8月22日(7号)	発生量 並(やや多い)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
ハダニ類 (カンキツ、ナシ、ブドウ)	5月23日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、発生量はナシで平年並、カンキツで平年比やや少なく(-)、ブドウで発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または少ないと予想されている。	
	6月21日(5号)	発生量 並 (ナシ 少ない) (ブドウ、カンキツ 並)	(1)6月中旬現在の発生量は、ナシ、ブドウ、カンキツとも平年並 (2)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は日本海側で平年並または多く(-)、太平洋側で多い(-)と予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)7月中旬現在、発生量はナシ、カンキツで平年並、ブドウで発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない(+))と予想されている。	
	8月22日(7号)	発生量 ナシ 多い(やや多い) カンキツ やや多い(多い) ブドウ 並(並)	(1)8月中旬現在、発生量はナシで平年比やや多く(+)、カンキツで平年並、ブドウで発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
カキクダアザ ミウマ(カキ)	3月26日(2号)	発生量 並	(1)前年秋期は被害を認めなかった(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または少ないと予想されている。	
フタテンヒメヨ コバイ(ブドウ)	5月23日(4号)	発生量 やや少ない (やや多い)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並) (2)前年秋期の発生量は平年比少ない(-)	
カメムシ類 (果樹全般)	5月23日(4号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)越冬量調査ではチャバネオアカメムシの越冬量は京丹後で例年比やや多い(+) (2)5月第3半旬現在、予察灯への誘殺数は京丹後で平年並 (3)5月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京丹後で平年比やや多い(+)	
	6月21日(5号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)予察灯での誘殺数は平年並 (2)チャバネオアカメムシのフェロモントラップでの誘殺数は平年比やや多い(+)	
	7月25日(6号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)7月第3半旬現在、予察灯への誘殺数は京田辺で平年比多く(+)、京丹後で平年並 (2)7月第4半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年比やや多い(+)	
	8月22日(7号)	発生量 やや多い(多い)	(1)8月第3半旬現在、予察灯への誘殺数は京田辺で平年比やや多く、亀岡、京丹後で平年並 (2)8月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺、亀岡で平年並、京丹後で平年比やや多い(+) (3)8月中旬現在、カキでの被害量は平年比多い(+)	
その他 (注意事項)				

(6) 茶樹

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 (前年比)	根 拠	備考
もち病	3月26日(2号)	発生量 並(並) 防除時期 萌芽～1葉期	(1)前年10月は発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または少なく(-)、日照時間は日本海側で平年並または多く、太平洋側は多いと予想され	
	5月23日(4号)	発生量 並 (山城 少ない) (丹波 並)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)前年10月の発生を認めていない(平年並)。 (3)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または少なく、日照時間は多いと予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 並(並) 防除適期 新芽伸育期	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並または少なく(-)、日照時間は平年並または多いと予想されている。	
	8月22日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
炭そ病	6月21日(5号)	発生量 やや多い (山城 やや多い) (丹波 並) 防除適期 三番茶芽の第1～2葉開葉期	(1)6月中旬現在の発生量は、平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は高く、降水量は日本海側で平年並または多く(+)、太平洋側で多い(+))と予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 並 (山城 やや多い) (丹波 やや少な 防除適期 新芽伸育期	(1)7月中旬現在、山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並または少なく(-)、日照時間は平年並または多いと予想されている。	
	8月22日(7号)	発生量 山城 多い(多い) 丹波 やや多い (多い)	(1)8月中旬現在、発生量は山城で平年比多く(+)、丹波で平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
カンザワハダニ	2月27日(1号)	発生量 山城 やや少ない(並) 丹波 並(やや多い) 防除時期 3月上旬	(1)2月第5半旬現在、寄生葉率は山城で平年比やや低く(-)、丹波で平年並であった。 (2)産卵は認められず、産卵葉率は山城で平年比低く(-)、丹波で平年並であった。 (3)発生ほ場率は山城で平年比やや低く(-)、丹波で平年並であった。 (4)向こう1か月の気温は平年並、降水量は太平洋側で多く、日本海側で平年並または多いと予想されている。	
	3月26日(2号)	発生量 山城 やや少ない(並) 丹波 並(並)	(1)3月下旬の調査では、発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波で平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または少ないと予想されている。	
	5月23日(4号)	発生量 山城 少ない(並) 丹波 やや多い(多い)	(1)5月中旬現在、発生量は山城で平年比少なく(-)、丹波で平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または少ないと予想されている。	
	6月21日(5号)	発生量 やや多い (山城 並) (丹波 やや少)	(1)6月中旬現在の発生量は山城、丹波とも平年並。 (2)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は日本海側で平年並または多く(-)、太平洋側で多い(-))と予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 山城 並(並) 丹波 やや多い(多い)	(1)7月中旬現在、発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波で平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並または少ない(-))と予想されている。	
	8月22日(7号)	発生量 やや多い (山城 多い) (丹波 やや多い)	(1)8月中旬現在、発生量は山城、丹波とも平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	9月26日(8号)	発生量 並 (山城 やや多い) (丹波 並)	(1)9月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	10月23日(9号)	発生量 山城 やや少ない 丹波 並	(1)10月中旬現在、発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波で平年並。 (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
	チャノホソガ	3月26日(2号)	発生量 並 (山城 やや多い) (丹波 並) 防除時期 2葉期	(1)前年10月の発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または少ないと予想されている。
5月23日(4号)		発生量 山城 多い(多い) 丹波 並(やや多い) 第2世代幼虫ふ化時期 6月第4半旬～第5半旬(遅い)	(1)5月中旬現在、第1世代の発生量は山城で平年比多く(+)、丹波で発生を認めていない(平年並)。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治で平年比多く(+)、綾部で平年やや多い(+) (3)フェロモントラップへの誘殺盛期は宇治、綾部ともに平年比遅い。	

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 (前年比)	根拠	備考
チャノホソガ	6月21日(5号)	発生量 やや多い(多い) 第2世代幼虫ふ化時期 7月第5半旬～7 月第6半旬(平年 並)	(1)6月中旬現在の発生量は山城で平年並、丹波で平年比やや多い (2)フェロモントラップでの誘殺数は、宇治で平年比多く(+)、綾部で平 並。 (3)フェロモントラップでの誘殺盛期は宇治、綾部ともに平年並。 (4)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は日本海側で平年並または 多く、太平洋側で多いと予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 山城 多い(多い) 丹波 並(多い) 第4世代幼虫ふ化期 山城 遅い(8月 第6～9月第1半 丹波 やや早い (8月第3～4半旬)	(1)7月中旬現在、第3世代幼虫の発生量は山城で平年比多く(+)、丹 波で平年並。 (2)第2世代成虫の発生時期は、宇治で平年比遅く、綾部で平年比やや い。	
	8月22日(7号)	発生量 山城 並 (やや多い) 丹波 少ない(並) 第5世代幼虫ふ化期 10月第1半旬～ 0月第3半旬(平 年並)	(1)8月中旬現在、第4世代幼虫の発生量は山城で平年比やや少なく (-)、丹波で発生を認めていない(平年比少ない(-))。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治で平年比やや多く(+)、綾部で 年比やや少ない(-)。 (3)第3世代成虫の発生時期は宇治、綾部とも平年並。 (4)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想さ れている。	
	9月26日(8号)	発生量 やや少ない (山城 少ない) (丹波 やや少な	(1)9月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-)。	
	10月23日(9号)	発生量 山城 やや少ない 丹波 並	(1)10月中旬現在、発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波で平 年並。	
チャノコカクモ ンハマキ	4月24日(3号)	発生量 山城 やや少ない (少ない) 丹波 並(並)	(1)前年秋期の発生量は、平年並。 (2)4月中旬現在、発生を認めていない(平年並) (3)4月中旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は宇治で平年比少なく (-)、綾部で平年比やや少ない(-)。	
	5月23日(4号)	発生量 山城 やや少ない (少ない) 丹波 並(少ない) 第1世代幼虫ふ化時期 5月第5半旬～6 月第1半旬(平年 並)	(1)5月中旬現在、発生量は山城で発生を認めず(平年並)、丹波で平 年比やや多い(+) (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治で平年比やや少なく(-)、綾部 で平年並。 (3)フェロモントラップへの誘殺盛期は宇治、綾部とも平年並。	
	6月21日(5号)	発生量 やや多い (山城 多い) (丹波 やや多い) 第2世代幼虫ふ化期 7月第3半旬～7 月第4半旬(平年 比やや遅い)	(1)6月中旬現在、第1世代の発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹 波で平年並。 (2)フェロモントラップでの誘殺盛期は宇治で平年比遅く、綾部で平年比 やや遅い。 (3)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は日本海側で平年並または 多く、太平洋側で多いと予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 多い(多い) 第3世代幼虫ふ化期 山城 遅い(8月5 ～6半旬) 丹波 並(8月第3 ～4半旬)	(1)7月中旬現在、第2世代の発生量は平年比多い(+) (2)第1世代成虫の発生時期は宇治で平年比遅く、綾部で平年並。	
	8月22日(7号)	発生量 山城 やや多い (やや多い) 丹波 並(やや多 い) 第4世代幼虫ふ化期 9月第6半旬～1 0月第1半旬(平 年並)	(1)8月中旬現在、発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年 (2)第2世代成虫の発生時期は宇治、綾部とも平年並。 (3)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想さ れている。	
	9月26日(8号)	発生量 山城 多い(多い) 丹波 並(並) 第4世代幼虫ふ化期 山城 10月第2 ～4半旬(やや遅 丹波 10月第1 ～3半旬(並)	(1)9月中旬現在、発生量は山城で平年比多く(+)、丹波で平年並。 (2)発生時期は宇治で平年比やや遅く、綾部で平年並。	

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 (前年比)	根 拠	備考
クワシロ カイガラムシ	4月24日(3号)	発生量 山城 やや少ない (やや少ない) 丹波 並(少ない)	(1)前年10月の発生量は、山城で平年比やや少なく(-)、丹波で平年比やや多い(+) (2)4月中旬現在、発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波で平年	
	5月23日(4号)	発生量 山城 やや少ない(並) 丹波 並(並)	(1)5月中旬現在、発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波で平年並。	
	6月21日(5号)	発生量 並(山城 多い) (丹波 やや少ない)	(1)第1世代幼虫の発生量は、平年並。	
	8月22日(7号)	発生量 山城 やや少ない(並) 丹波 並(並)	(1)8月中旬現在、発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波で平年並。	
チャノキイロ アザミウマ	5月23日(4号)	発生量 山城 少ない (少ない) 丹波 少ない(やや少ない)	(1)5月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波で平年比少ない。	
	6月21日(5号)	発生量 並(並) 防除適期 新芽伸育期	(1)6月中旬現在の発生量は山城、丹波とも平年並。 (2)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は日本海側で平年並または多く(-)、太平洋側で多い(-)と予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 並(山城 やや少ない) (丹波 並) 防除適期 新芽伸育期	(1)7月中旬現在、発生量は山城、丹波とも平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない(+と)予想されている。	
	8月22日(7号)	発生量 山城 少ない (やや少ない) 丹波 やや少ない(並) 発生時期 秋芽伸育期	(1)8月中旬現在、発生量は平年比少なく(-)、丹波で平年やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
チャノミドリヒメ ヨコバイ	5月23日(4号)	発生量 山城 やや多い(並) 丹波 並(並)	(1)5月中旬現在、発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年並。	
	6月21日(5号)	発生量 山城 やや多い(並) 丹波 並(並) 防除適期 新芽伸育期	(1)6月中旬現在の発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波平年	
	7月25日(6号)	発生量 山城 やや多い (やや少ない) 丹波 やや少ない (少ない) 防除適期 新芽伸育期	(1)7月中旬現在、発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年比やや少ない(-)	
	8月22日(7号)	発生量 山城 並(少ない) 丹波 やや少ない (並) 発生時期 秋芽伸育期	(1)8月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波で平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
その他 (注意事項)				

(7) 野菜

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 (前年比)	根 拠	備考
疫病・褐色腐病(果菜類)	5月23日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または少ない(-)と予想されている。	
	6月21日(5号)	発生量 やや多い	(1)6月中旬現在、巡回調査では発生を認めていない。 (2)向こう1か月の気温は高く、降水量は日本海側で平年並または多く(+)、太平洋側で多い(+と)予想されている。	
	8月22日(7号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
うどんこ病(果菜類)	5月23日(4号)	発生量 並(やや多い)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または少ないと予想されている。	
	6月21日(5号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)6月中旬現在、キュウリでの発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で多いと予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 やや少ない (やや少ない)	(1)7月中旬現在、発生量はキュウリで平年並、ナスで平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並または少なく、日照時間は平年並または多いと予想されている。	

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 (前年比)	根 拠	備考
うどんこ病 (果菜類)	8月22日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、発生量はナスで平年並。 (2)1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
べと病 (キュウリ)	5月23日(4号)	発生量 並(少ない)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または少ない(-)と予想されている。	
	(ウリ類) 6月21日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、発生を認めていない(平年比やや少ない(-))。 (2)向こう1か月の気温は高く、降水量は日本海側で平年並または多く(+)、太平洋側で多い(+と)予想されている。	
	(キュウリ) 7月25日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並または少なく、日照時間は平年並または多いと予想されている。	
炭そ病 (ウリ類)	6月21日(5号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)6月中旬現在、発生を認めていない。 (2)向こう1か月の気温は高く、降水量は日本海側で平年並または多く(+)、太平洋側で多い(+と)予想されている。	
	(キュウリ) 7月25日(6号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並または少なく、日照時間は平年並または多いと予想されている。	
	(キュウリ) 8月22日(7号)	発生量 並	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)9月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
褐斑病 (キュウリ)	7月25日(6号)	発生量 並(やや少ない)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並または少なく、日照時間は平年並または多いと予想されている。	
	8月22日(7号)	発生量 やや少ない	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年比やや少ない(-))。 (2)9月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
斑点細菌病 (キュウリ、トウ ガラシ)	5月23日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、巡回調査では発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または少ない(-)と予想されている。	
	6月21日(5号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)6月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は高く、降水量は日本海側で平年並または多く(+)、太平洋側で多い(+と)予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並または少なく、日照時間は平年並または多いと予想されている。	
べと病(アブラ ナ科野菜)	9月26日(8号)	発生量 並(並)	(1)9月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(-)、降水量は平年並と予想されている。	
	10月23日(9号)	発生量 やや少ない (やや少ない)	(1)10月中旬現在、発生量はキャベツで発生を認めず(平年並)、カブで平年比少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
白斑病(アブラ ナ科野菜)	9月26日(8号)	発生量 並(並)	(1)9月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(-)、降水量は平年並と予想されている。	
	10月23日(9号)	発生量 並(並)	(1)10月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
菌核病 (キャベツ)	3月26日(2号)	発生量 多い(多い)	(1)前年秋期は調査ほ場で発生を認めた(+) (2)3月下旬の調査では、発生量は平年比やや多い(+) (3)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または少ないと予想されている。	
	4月24日(3号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)4月中旬現在、調査ほ場で発生を認めた(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は多い(+と)予想されている。	
	9月26日(8号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)春期(3月)の発生量は平年比やや多い(+) (2)9月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (3)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
	10月23日(9号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)春期(3月)の発生量は、平年比やや多い(+) (2)10月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (3)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
白さび病(アブラ ナ科野菜)	10月23日(9号)	発生量 並(並)	(1)10月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
黒腐病(キャベ ツ等)・黒斑細菌 病(アブラナ 科野菜)	9月26日(8号)	発生量 並(並)	(1)9月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)昨年秋期(11月)のキャベツ黒腐病の発生量は平年比多かった。 (3)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
黒腐病 (キャベツ)	10月23日(9号)	発生量 並(少ない)	(1)10月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
さび病(ネギ)	4月24日(3号)	発生量 並(並)	(1)4月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)前年秋期は、発生を認めていない(平年並)。 (3)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は多い(+と)予想されている。	

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 (前年比)	根 拠	備考
さび病(ネギ)	5月23日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または少ないと予想されている。	
アブラムシ類と モザイク病	4月24日(3号)	発生量 やや少(並)	(1)4月上旬現在、トマト(施設)で発生を認めていない。 (2)4月第3半旬現在、黄色水盤への誘殺数は平年比やや少ない(-)。	
	5月23日(4号)	発生量 やや少ない (少ない)	(1)5月中旬現在、アブラムシ類の発生量は平年比やや少ない(-)。 (2)5月第4半旬現在、黄色水盤への誘殺数は平年比やや少ない (3)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または少ない(+)と予想されている。	
	6月21日(5号)	発生量 やや少ない (やや少ない)	(1)6月中旬現在、アブラムシ類の発生量はナスで平年並、キュウリで平年比少ない(-)。 (2)6月第4半旬現在、アブラムシ類の黄色水盤での誘殺数は平年比やや少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温は高く、降水量は日本海側で平年並または多く(-)、太平洋側で多い(-)と予想されている。	
アブラムシ類 (アブラナ科、 キュウリ、ナ ス、ホウレンソ ウなど)	8月22日(7号)	発生量 やや少ない (少ない)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比少ない(-)。 (2)8月第4半旬現在、黄色水盤への飛来数は平年並。 (3)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
ハダニ類 (チャノホコリ ニを含む) (果菜類)	5月23日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、発生量はキュウリで平年並、ナスで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または少ない(+)と予想されている。	
	6月21日(5号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)6月中旬現在、キュウリでは発生を認めず(平年並)、ナスでは平年比やや多い。 (2)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は日本海側で平年並または多く(-)、太平洋側で多い(-)と予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 多い(多い)	(1)7月中旬現在、発生量はキュウリ、ナスで平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ないと予想されている。	
	8月22日(7号)	発生量 多い(並)	(1)8月中旬現在、発生量はナスで平年比やや多い(+) (2)9月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
アザミウマ類 (果菜類)	5月23日(4号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)5月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または少ない(+)と予想されている。	
	6月21日(5号)	発生量 やや多い(多い)	(1)6月中旬現在の発生量はキュウリで平年並、ナスで平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は日本海側で平年並または多く(-)、太平洋側で多い(-)と予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 多い(多い)	(1)7月中旬現在、発生量はキュウリで平年比やや多く(+)、ナスで平年比少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない(+)と予想されている。	
	8月22日(7号)	発生量 やや少ない (やや少ない)	(1)8月中旬現在、発生量はナスで平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
ハモグリバエ 類(果菜類) (果菜類等)	6月21日(5号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)6月中旬現在の発生量はナスで平年並、キュウリで平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で多いと予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 やや少ない(並)	(1)7月中旬現在、発生量はキュウリで平年比やや少く(-)、ナスで平年比少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並または少ないと予想されている。	
	8月22日(7号)	発生量 やや少ない(並)	(1)8月中旬現在、発生量はキュウリで平年比やや少く(-)、ナスで平年比少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
	9月26日(8号)	発生量 やや少ない(並)	(1)9月中旬現在、発生量はナスで平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
コナガ (アブラナ科野 菜)	3月26日(2号)	発生量 並(並)	(1)3月下旬の調査(キャベツ)では、発生を認めなかった(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または少ないと予想されている。	
	4月24日(3号)	発生量 やや少ない(並)	(1)4月中旬現在、キャベツでの発生は認めていない(平年比やや少ない(-))。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は亀岡、丹後とも平年比やや少ない(-)。	

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 (前年比)	根 拠	備考
コナガ (アブラナ科野菜)	5月23日(4号)	発生量 やや少ない	(1)5月中旬現在、キャベツでの発生量は平年比少ない(-)。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は、平年比少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または少ない(+)と予想されている。	
	8月22日(7号)	発生量 やや少ない (やや少ない)	(1)8月第3半旬現在、予察灯への誘殺数は京田辺で平年比やや多く(+)、亀岡、京丹後で平年比少ない(-)。 (2)8月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は亀岡で平年比少なく(-)、京丹後で平年比やや少ない(-)。	
	9月26日(8号)	発生量 やや少ない (やや少ない)	(1)9月中旬現在、発生量はキャベツでやや少なく(-)、ダイコン、カブで発生を認めていない(平年並)。 (2)9月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年比やや少ない~少ない(-)。 (3)9月第3半旬現在、予察灯への誘殺数は平年並~やや少ない(-)。 (4)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
	10月23日(9号)	発生量 やや少ない (やや少ない)	(1)10月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)10月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は亀岡、京丹後で平年比少ない(-)。	
ハスモンヨトウ (野菜全般)	7月25日(6号)	発生量 やや少ない	(1)7月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年比やや少ない(-)。	
	8月22日(7号)	発生量 少ない(少ない)	(1)8月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年比少ない(-)。	
	9月26日(8号)	発生量 やや少ない (やや少ない)	(1)9月中旬現在、発生量はキャベツで平年並、ナス、ダイコンで発生を認めていない(平年並)。 (2)9月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年比やや少ない~少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
タバコガ類[オオタバコガ、タバコガ](野菜全般)	9月26日(8号)	発生量 並	(1)9月第2半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は、オオタバコガで平年並~やや少なく(-)、タバコガで平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
ハイマダラノメイガ[ダイコンシンクイムシ](アブラナ科野菜)	9月26日(8号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)9月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
シロオビノメイガ (ホウレンソウ)	8月22日(7号)	発生量 並	(1)8月第3半旬現在、予察灯への誘殺を認めていない(平年並)。	
	9月26日(8号)	発生量 並(並)	(1)9月第3半旬現在、予察灯への誘殺数は京田辺、丹後で平年並、亀岡で平年比少ない(-)。	
ネギアザミウマ (ネギ)	4月24日(3号)	発生量 やや少ない (やや少ない)	(1)4月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は多い(-)と予想されている。	
	5月23日(4号)	発生量 並(やや少ない)	(1)5月中旬現在、被害の発生は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または少ない(+)と予想されている。	
	6月21日(5号)	発生量 やや多い(並)	(1)6月中旬現在の発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は日本海側で平年並または多く(-)、太平洋側で多い(-)と予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 やや多い(並)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない(+)と予想されている。	
	8月22日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
	9月26日(8号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	10月23日(9号)	発生量 やや多い(並)	(1)10月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
ネギハモグリ エ(ネギ)	4月24日(3号)	発生量 やや少ない(並)	(1)4月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は多い(-)と予想されている。	
	5月23日(4号)	発生量 多い(やや多い)	(1)5月中旬現在、被害の発生は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または少ない(+)と予想されている。	
	6月21日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在の発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は日本海側で平年並または多く(-)、太平洋側で多い(-)と予想されている。	

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 (前年比)	根拠	備考
ネギハモグリ エ(ネギ)	7月25日(6号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)7月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並または少ないと予想されている。	
	8月22日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
	9月26日(8号)	発生量 並(並)	(1)9月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	10月23日(9号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)10月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
その他 (注意事項)				

留意事項

病害虫発生予報内容の根拠とした今後1か月間の気象予想の概要

発行号	予報月	発行日	気象予報日	気温	降水量	日照時間
第1号	3月	2月27日	2月24日	平年並	(日本海側)平年並または多い (太平洋側) 多い	少ない
第2号	4月	3月26日	3月23日	平年並	平年並または少ない (日本海側) (太平洋側) 多い	平年並または多い
第3号	5月	4月24日	4月20日	平年並または高い	多い	平年並または少ない
第4号	6月	5月23日	5月18日	平年並	平年並または少ない	多い
第5号	7月	6月21日	6月15日	高い	(日本海側)平年並または多い (太平洋側) 多い	平年並
第6号	8月	7月25日	7月20日	平年並または高い	平年並または少ない	平年並または多い
第7号	9月	8月22日	8月17日	平年並または高い	平年並	平年並
第8号	10月	9月26日	9月21日	平年並または高い	平年並	平年並
第9号	11月	10月23日	10月19日	平年並	平年並	平年並

・根拠欄に気象要因の記載がないのは、病害虫発生への気象の影響が少ない場合である。

3 対象病害虫の発生状況

作物名 (作付面積) ha	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積 ha	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
イネ 15,700ha	葉いもち	平年:並 前年:並	平年:並 前年:やや多	4395ha	6月～8月に本田で発生を確認。6月に平年比多く、7月に平年並、8月に平年比やや少ない発生。	5月下旬に府中部(南丹・中丹地域)で苗いもちの発生を確認。好適感染条件が6月～7月に散発的に出現したがその頻度は低かった。	長期持続型箱施用剤による予防防除を行っている地域が多い。
	穂いもち	平年:並 前年:並	平年:やや少 前年:やや少	523ha	8月に平年並、9月に平年比少ない発生。	8月の気温は平年比高く、降水量は少なく、日照時間は多く推移した。	出穂期前後の防除を行っている。
	紋枯病	平年:やや遅 前年:並	平年:やや少 前年:並	5233ha	8月～9月に発生を確認、8月に平年比少なく、9月に平年比やや多い発生。	7月時点の茎数は平年比多かった。8月の気温は平年比高く、降水量は少なく、日照時間は平年比多く推移した。	育苗箱施用剤により葉いもちと同時防除を行っている。
	白葉枯病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		実施せず。
	イネミズゾウムシ	平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:やや少	13083ha	予察灯への初飛来は亀岡で平年比遅く、京丹後で平年比やや早く、京田辺で平年並であった。予察灯での誘殺数(4月第1半旬～5月第3半旬)は、亀岡で平年比やや少なく、京丹後では平年比多かった。本田では5月に平年並、6月に平年比やや多い発生。	5月～6月の気温は平年並で推移した。	育苗箱施用による防除を行っている地域が多い。
	ツマグロヨコバイ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:やや多	12560ha	6月～9月に発生を確認、6月に平年並、7月に平年比やや少なく、8月に平年並の発生。	越冬密度は平年比やや少なかった。8月の気温は平年比高く推移した。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。
	ヒメトビウンカ	平年: 前年:並	平年:やや多 前年:並	14130ha	6月～9月に発生を確認、7月に平年並、8月に平年比やや多い発生。	越冬密度は平年比やや少なかった。7月～8月の気温は平年比高く推移した。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。
	セジロウンカ	平年:遅 前年:並	平年:やや多 前年:並	15700ha	予察灯への初飛来は、亀岡、京田辺で平年比遅く、京丹後で平年比やや遅かった。本田では7月～9月に発生を確認、7月、8月に平年比やや多い発生。	飛来量は平年比少なかった。7月～8月の気温は平年比高く推移した。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。
	トビイロウンカ	平年:遅 前年:やや遅	平年:並 前年:並	0ha	予察灯への初飛来は、京丹後で平年比遅かった。巡回調査では発生を認めなかった。	飛来量は平年並であった。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。
	ニカメイガ	平年: 前年:並	平年:並 前年:少	105ha	予察灯では7月中旬、9月上旬に誘殺あり。本田では6月に府中部(中丹地域)で発生を確認。		常発地では本田防除を実施。
イチモンジセセリ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	3140ha	6～8月に発生を確認、6月に平年比やや多く、7月に平年並の発生。		常発地では本田防除を実施。	
コブノメイガ	平年:並 前年:早	平年:やや少 前年:並	523ha	8月～9月に発生を確認、8月に平年並、9月に平年比少ない発生。	飛来量は平年比やや少なかった。	出穂期前後にカメムシ類との同時防除を行っている。	

作物名 (作付面積) ha	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積 ha	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
	斑点米カメムシ類	平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:並	8373ha	畦畔雑草で6月、7月に、8月に平年比やや多い発生。 本田では6月に平年比やや少なく、7月、8月に平年並の発生。 優占種は、アカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメ、ホソハリカメムシ、トゲシラホシカメムシであった。 予察灯では7月～9月に府南部(山城地域)で、本田では9月に府南部	水田内外の雑草管理が不十分、休耕田や耕作放棄田(イネ科雑草地)の増加、地域一斉防除の減少がカスミカメ類増加の要因と考えられる。 府南部において、上記のことに加えて、防除圧の比較的低い家庭菜園の増加が、ミナミアオカメムシの発生早期化及び増加の要因と考えられる。	出穂期前後に水田周辺の草刈り及び薬剤防除を行っている。
ムギ 298ha	赤かび病	平年: 前年:	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査(5月第3～4半旬)では発生は認めなかった。 6月上旬の臨時調査では、不稔粒でわずかに発生あり。	開花期以降の防除の徹底。	開花期以降の薬剤散布(2回)。 収穫前に降雨が続く時は薬剤の追散布。
ダイズ (黒大豆) 458ha	アブラムシ類	平年: 前年:	平年:やや少 前年:並	343ha	巡回調査では、7月は平年比やや多い発生であったが、8月は発生を認めず、9月は平年比少ない発生であった。 農林センター内の黄色水盤では、平年比やや少ない発生であった。	8～9月の発生:8月中旬の多雨、9月の台風。	移植時粒剤施用。 カメムシ類、ハスモンヨトウの薬剤散布で同時防除。
	ハスモンヨトウ	平年: 前年:	平年:並 前年:並	229ha	巡回調査では、8月は平年並の発生であったが、9月は平年比やや少ない発生となった。 フェロモントラップ誘殺数は平年比やや少なかった。	8～9月の発生:8月中旬の多雨、9月の台風。	白変葉の除去。 カメムシ類との同時防除(3回以上)。
	カメムシ類	平年: 前年:	平年:やや多 前年:並	401ha	巡回調査では、8月は平年比やや多い発生であったが、9月は平年並の発生となった。	8～9月の発生:8月中旬の多雨、9月の台風。	開花期以降の薬剤散布(3回以上)。
カンキツ 62ha	そうか病	平年: 前年:	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。 過去10年間、発生を認めていない。		薬剤散布。
	黒点病	平年: 前年:	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。 過去9年間、発生を認めていない。		薬剤散布。
	かいよう病	平年: 前年:	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。 過去10年間、発生を認めていない。		薬剤散布。
	ヤノネカイガラムシ	平年: 前年:	平年:並 前年:やや少	50ha	巡回調査では、4～8月は平年並の発生であったが、9月は平年比やや多い発生となった。	9月の発生:防除が遅れた一部の圃場で多発生となった。	薬剤散布。
	ハダニ類	平年: 前年:	平年:並 前年:やや少	50ha	巡回調査では、4～8月は平年並の発生であったが、9月は平年比やや多い発生となった。	9月の発生:防除が遅れた一部の圃場で多発生となった。	薬剤散布。
	ミカンハモグリガ	平年: 前年:	平年:並 前年:並	24ha	巡回調査では、8月まで平年並の発生であったが、9月に平年比多い発生となった。		薬剤散布。
ナシ 89ha	黒斑病	平年: 前年:	平年:並 前年:並	-	巡回調査では、全期間を通して平年並～平年比やや少ない発生であった。	8、9月の発生:防除が遅れた一部の圃場で多発生となった。	薬剤散布。
	黒星病	平年: 前年:	平年:やや多 前年:並	-	巡回調査では、5～7月は発生を認めなかったが、8～9月は平年比やや多い発生であった。	8～9月の発生:8月中旬の多雨、9月の台風。	薬剤散布。

作物名 (作付面積) ha	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積 ha	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
	赤星病	平年: 前年:	平年:やや多 前年:並	35ha	巡回調査では、5~7月は平年並の発生であったが、8~9月は平年比やや多い発生であった。	8、9月の発生:春~夏に防除しきれてない分が8月中旬の多雨、9月の台風により発生した。	薬剤散布。
	うどんこ病	平年: 前年:	平年:並 前年:並	11ha	巡回調査では、7~8月は発生を認めなかったが、9月は平年並の発生であった。		薬剤散布。
	シンクイムシ類	平年: 前年:	平年:- 前年:-	8ha	巡回調査では、7月は発生を認めなかったが、8月は例年比多い発生であった。	8月の発生:梅雨明け後の高温少雨。	袋掛け。 薬剤散布。
	ハダニ類	平年: 前年:	平年:やや多 前年:多い	37ha	巡回調査では、5~7月は平年並の発生であったが、8月は平年比やや多い発生となり、9月は平年比やや少ない発生となった。	8、9月の発生:梅雨明け後の晴天により、8月は多発生となったが、8月中旬の多雨、9月の台風により発生が抑制された。	薬剤のローテーション防除。
ブドウ 88ha	べと病	平年: 前年:	平年:並 前年:多い	33ha	巡回調査では、5~6月は発生を認めなかったが、7~9月は平年並の発生であった。		薬剤散布。
	ハダニ類	平年: 前年:	平年:やや多 前年:並	4ha	巡回調査では、5~8月は発生を認めなかったが、9月は平年比やや多い発生であった。	9月の発生:平年は発生なしであるが、今年は1調査圃場で少発を認めため。	薬剤散布。
カキ 215ha	炭そ病	平年: 前年:	平年:多い 前年:並	90ha	巡回調査では、6~7月は発生を認めなかったが、8~9月は平年比多い発生であった。	8~9月の発生:8、9月の高温、8月中旬の多雨、9月の台風。	薬剤散布。
	うどんこ病	平年: 前年:	平年:並 前年:少ない	172ha	巡回調査では、全期間を通して概ね平年並の発生であった。		薬剤散布。
	落葉病	平年: 前年:	平年:並 前年:やや多い	95ha	巡回調査では、8月は平年比多い発生であったが、9月に平年並の発生であった。	8月の発生:昨年、平年比やや多い発生で、感染源が多く存在した。	薬剤散布。
	カキノヘタムシガ	平年: 前年:	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では、発生を認めなかったが、7月に調査外の果実に被害を認め		薬剤散布。
	カイガラムシ類	平年: 前年:	平年:やや少 前年:並	24ha	巡回調査では、7月に平年並の発生を認めた。		薬剤散布。
	カメムシ類	平年: 前年:	平年:多い 前年:並	47ha	巡回調査では、8月に平年比多い発生を認めた。		薬剤散布。
	チャノキイロアザミウマ	平年: 前年:	平年:多い 前年:やや多い	166ha	巡回調査では、平年比多い発生を認めた。	梅雨明け後の高温、少雨。 薬剤感受性の低下?	薬剤散布。
	カキクダアザミウマ	平年: 前年:	平年:やや多 前年:並	48ha	巡回調査では、7月に平年比やや多い発生を、9月に平年比多い発生を認	梅雨明け後の高温、少雨。	薬剤散布。
チャ 1,640ha	炭そ病	平年: 前年:	平年:多 前年:やや多	1367ha	府南部では6月以降平年比やや多い~多い発生で、府北部では期間を通じて平年並~平年比やや多い発生であった。府全域では栽培面積の多い南部で秋芽に、発生が多いことから平年比多い発生	防除が徹底されず、7月、8月の新芽伸育期に降雨が多く、発病が多くなったと考えられる。	6月~8月の新芽伸育期の薬剤防除
	もち病	平年: 前年:	平年:並 前年:並	0ha	府北部、南部とも調査ほ場では発生を認めず、現地からの発生情報もな		6月~8月の新芽伸育期の薬剤防除

作物名 (作付面積) ha	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積 ha	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
	チャノココクモンハマキ	平年: やや遅い 前年: やや遅い	平年: やや多 前年: やや多	361ha	府南部のフェロモントラップへの誘殺数は6月に平年比多かったが、残月は少～平年並の発生であった。しかし、枠調査では6月以降平年比やや多い～多い発生が確認された。府北部のフェロモントラップへの誘殺数は期間を通じて平年比少ない～並の発生であった。調査ほ場では、5月(平年比やや多い)、7月(平年比多い)であったが、残月は幼虫をほとんど確認せず平年並であった。	府南部では、6月までは、防除、摘採等によって発生は抑えられたと考えられる。7月以降は高温による増加と、防除圧の低下によって発生が増加したと考えられる。府北部では、二番茶をあまり摘採しないので、防除がされないためと考える。	幼虫ふ化期の薬剤防除 チャハマキとの同時防除
	チャノミドリヒメヨコバイ	平年: 前年:	平年: やや多 前年: 並	1440ha	府南部では、6月を除き平年比やや多い～多い発生であった。府北部では、8月までは平年比やや少ない～並の発生であったが、9月に平年比多い発生となった。	府南部では7月以降高温条件、薬剤感受性の低下によって、発生が多かったと考えられる。	二番茶摘採後、新芽伸育時に2回程度の防除 チャノキイロアザミウマと同時防除
	カンザワハダニ	平年: 前年:	平年: 並 前年: 並	1421ha	府南部では期間を通じて平年比やや少ない～並の発生であった。府北部では、5月まで平年比やや多い発生であったが、それ以降は平年比やや少ない～並の発生であった。	府南部では、6月以降多雨となり、発生が抑制されたと考えられる。府北部では4月下旬の高温少雨によって平年比やや多い発生となったと考えられる。	越冬前の防除及び萌芽期前後の防除 一番茶、二番茶摘採後の防除 同一薬剤の連用を避ける
	チャノキイロアザミウマ	平年: 前年:	平年: やや少 前年: やや少	1573ha	府全域で、期間を通じて平年比少ない～並の発生であったが、一部の茶園で甚発ほ場が見られた。		二番茶摘採後、新芽伸育時に2回程度の防除 チャノミドリヒメヨコバイと同時防除
	クワシロカイガラムシ	平年: - 前年: -	平年: やや少 前年: やや少	1573ha	府南部では期間を通じて、平年比少ない～並の発生であった。府北部では7月が平年比やや多い発生であったが、残月は平年並であった。	比較的発生は少なかったが、発生が目立つ園は、製茶時期と重なり、防除が徹底されなかったためと考えられる。	幼虫ふ化期の薬剤防除
冬春トマト 29ha	疫病	平年: 前年:	平年: - 前年: -	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。		薬剤散布。
	灰色かび病	平年: 前年:	平年: - 前年: -	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。		薬剤散布。
	モザイク病	平年: 前年:	平年: - 前年: -	2ha	巡回調査では、一部の地域で少発生を認めた。		育苗時における苗の選別。 定植時における粒剤施用によるアブラムシ防除。
	アブラムシ類	平年: 前年:	平年: - 前年: -	2ha	巡回調査では、一部の地域で少発生を認めた。		定植時における粒剤施用によるアブラムシ防除。 薬剤散布。
ナス(夏秋) 180ha	うどんこ病	平年: 前年:	平年: 並 前年: 並	38ha	8月以降発生を認めた。8月に平年比やや少なく、9月に平年並の発生であった。		ローテーション防除の実施
	アブラムシ類	平年: やや遅い 前年: 遅い	平年: 並 前年: やや少	66ha	5月以降発生を認めた。5月に平年比やや少なく、6月に平年並、7月、9月に平年比やや多かった。8月は発生を認めなかった。アブラムシの黄色水盤への飛来量は平年並～平年		定植時の粒剤使用
	ハダニ類	平年: 前年:	平年: やや多 前年: やや少	48ha	6月以降に発生を認め、平年比やや多～多で経過した。9月は平年並の発生となり、全体では平年比やや多い発生であった。ナミハダニとカンザワハダニが発生していた。	夏期の気温が高めで推移し、発生量がやや多くなったと考えられる。	発生初期からの茎葉散布 効果の高い薬剤による適期散布

作物名 (作付面積) ha	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積 ha	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
	ハスモンヨトウ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		若齢幼虫期の薬剤散布
キュウリ (夏秋) 121ha	べと病	平年: 前年:	平年:並 前年:やや少	38ha	7月以降発生を認めた。全体では平年並の発生であった。	夏期は高温・少雨に推移したが、一時的な豪雨もみられた。	発生初期からの茎葉散布
	炭そ病	平年: 前年:	平年:やや多 前年:やや多	8ha	8月に発生を認めた。	夏期は高温・少雨に推移したが、一時的な豪雨もみられた。	発生初期からの茎葉散布
	疫病	平年: 前年:	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		排水対策
	うどんこ病	平年: 前年:	平年:並 前年:やや多	46ha	6～7月に平年並の発生を認めた。		発生初期からの茎葉散布
	斑点細菌病	平年: 前年:	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		
	モザイク病	平年: 前年:	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。	アブラムシの発生がやや少なかったため、発生を確認できなかった。	定植時の粒剤施用一部は場では弱毒ウイルス使用
	アブラムシ類	平年:やや遅い 前年:遅い	平年:やや少 前年:並	15ha	5月、7月にわずかの発生を認めた。全体では平年比やや少ない発生であった。	春期の気温の変動が大きく、6月上旬以降の降水量が多かったため、飛来量が少なかったことが影響していると考えられる。	定植時の粒剤施用他の害虫との同時防除
ダイコン 245ha	モザイク病	平年: 前年:	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。	アブラムシの発生がやや少なかったため、発生を確認できなかった。	は種時の粒剤使用
	アブラムシ類	平年:やや遅い 前年:遅い	平年:並 前年:やや少	82ha	9月に平年並の発生を認めた。アブラムシの黄色水盤への飛来量は平年並～平年比少なかった。		は種時の粒剤使用
キャベツ(春) 141ha	菌核病	平年: 前年:	平年:やや多い 前年:やや多い	11ha	3月に平年比やや多い発生を認めた。	前年秋期に調査対象外で発生を認めており、菌密度が高くなっていたと考えられる。	発生初期の薬剤防除
	黒腐病	平年: 前年:	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		発生初期の薬剤防除
	モンシロチョウ	平年: 前年:	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		他害虫との同時防除
	コナガ	平年: 前年:	平年:やや少 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。	有効薬剤が増加しており、発生は減少傾向である。	定植時の粒剤施用他害虫との同時防除
	ヨトウガ類	平年: 前年:	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		発生初期の薬剤散布他の害虫との同時防除
キャベツ(冬) 93ha	菌核病	平年: 前年:	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。	3月に発生を認めていたが、夏期が高温で推移したため、発生しなかったと考えられる。	発生初期の薬剤防除
	黒腐病	平年: 前年:	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		発生初期の薬剤防除
	モンシロチョウ	平年: 前年:	平年:並 前年:やや多	31ha	9月は平年並の発生であった。	夏期が高温、少雨に推移した。	他害虫との同時防除
	コナガ	平年: 前年:	平年:やや少 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。	有効薬剤が増加しており、発生は減少傾向である。	定植時の粒剤施用他害虫との同時防除
	ヨトウガ類	平年: 前年:	平年:やや多 前年:やや多	16ha	9月は平年比やや多い発生であった。	夏期が高温、少雨に推移したため、やや多くなったと考えられる。	発生初期の薬剤散布他の害虫との同時防除
ネギ 49ha	さび病	平年: 前年:	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		発生初期の薬剤防除
	アブラムシ類	平年:やや遅い 前年:遅い	平年:並 前年:やや少	6ha	4月、6月に平年比やや多い発生であった。5月、7月～9月は発生を認めなかった。アブラムシの黄色水盤への飛来量は平年並～平年比少なかった。		他害虫との同時防除
	ハスモンヨトウ	平年: 前年:	平年:一 前年:一	-ha	巡回調査では発生を認めなかった。		発生初期の薬剤防除
ホウレンソウ 320ha	アブラムシ類	平年:やや遅い 前年:遅い	平年:並 前年:やや多	320ha	4月には平年比やや少なかったが、5月は例年並の発生であった。アブラムシの黄色水盤への飛来量は平年並～平年比少なかった。		他害虫との同時防除
	ハスモンヨトウ	平年: 前年:	平年:一 前年:一	-ha	巡回調査では発生を認めなかった。		発生初期の薬剤防除

II 重要病害虫侵入警戒調査の実施

1 ミバエ類等侵入警戒調査

ミバエ類等の侵入の危険性が高い地域において、早期発見体制の整備及び侵入警戒調査を実施する事業で、本府では、チチュウカイミバエ及び火傷病を対象に実施。

ア 事業実施地区の概況

調査対象 病害虫	市町村	主要規制植物の栽培状況							
		カンキツ	ナシ	ブドウ	カキ	ナス	トマト	キュウリ	計
チチュウカイ ミバエ	亀岡市	—	0	2	9	5	9	4	29
	宮津市	25	1	4	6	6	7	6	55
	京丹後市	—	96	33	43	15	23	14	224
火傷病	京丹後市		96						96

イ 実施状況及び結果

項目	調査概要	調査結果
チチュウカイ ミバエ	亀岡市余部町・宮津市石浦・京丹後市弥栄町に誘引剤トラップを設置し、4月～10月（日最高気温の月別平均値が15℃以上の月）に調査を行なった。調査間隔は、日最高気温の月別平均値が15℃以上20℃未満の4月は15日頃、20℃以上の5月～10月は各月15日・30日頃の2回調査を実施した。	侵入を認めず。
火傷病	京丹後市網野町・久美浜町の巡回調査梨園7か所で、5月～10月の各月1回の見取り調査を実施した。	侵入を認めず。

Ⅲ 調査・試験の結果

単年度試験研究成績（2013年3月作成）

実施課題名：京都府におけるミナミアオカメムシの分布

担当部署名：京都防除所

担当者名：鴨志田徹也

予算（期間）：交付金（2012年度）

1. 目的

水稻や大豆等の害虫であるミナミアオカメムシは、近年分布域を拡大しており、京都府では2010年10月に初めて南部の山城地域の水稻で発生を確認した。今後、黒大豆の主産地である北中部の丹後、中丹、南丹地域への侵入が懸念されている。また、府内における寄主植物や発生消長については不明な点が多い。そこで、ミナミアオカメムシの京都府内の分布及び寄主植物を調査した。

2. 調査方法

(1) 調査場所：京都府内の病虫害発生予察ほ場等延べ123地点（図1）

(2) 調査期間：2010年10月～2012年11月

(3) 調査方法：

すくい取り、見取り、予察灯によりミナミアオカメムシの成虫と幼虫を採集した。幼虫については持ち帰り、実験室内で飼育し、羽化した成虫を同定した。また、ミナミアオカメムシを採集した際に寄主植物を記録した。

3. 結果の概要

(1) 2010年～2012年の調査において、山城地域の延べ27地点でミナミアオカメムシの発生を確認した。一方、丹後、中丹、南丹地域では発生は確認されなかった（図1）。

(2) ミナミアオカメムシの寄生を確認した植物は、水稻、大豆（エダマメ、黒大豆）、アズキ、ナス、トマト、オクラ、ダイコン、カラシナ類であった。

(3) ミナミアオカメムシの発生を確認した地域は、2010年では京都市伏見区と久御山町であった。2011年では前年の地域に加えて京都市南区、京田辺市、八幡市、木津川市で新たに発生を確認し、延べ5市町となった。2012年では前年の地域に加えて宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、大山崎町で新たに発生を確認し、延べ10市町に増加した（図2）。

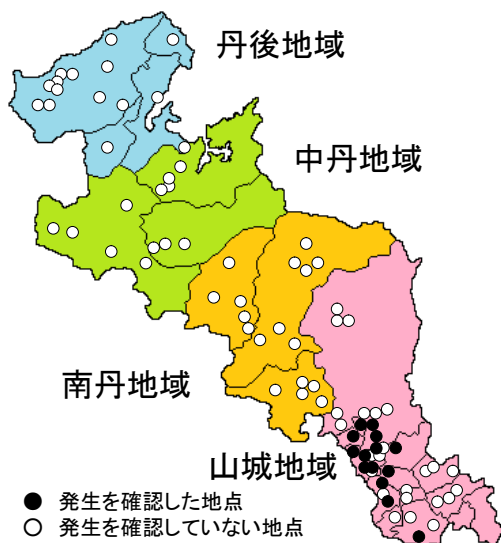


図1 ミナミアオカメムシの調査地点
及び発生を確認した地点

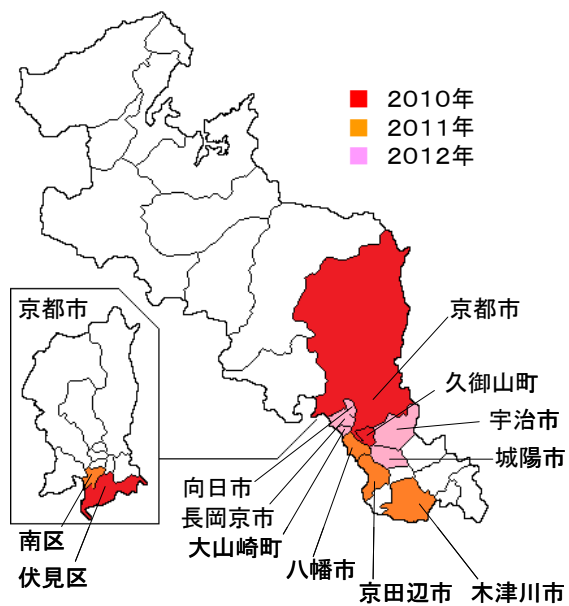


図2 ミナミアオカメムシの分布の動向

4. 結果の要約

京都府においてミナミアオカメムシは山城地域の10市町に分布し、域内での分布は拡大していると考えられた。また、ミナミアオカメムシの寄主植物として水稲、大豆等の8種を確認した。

[キーワード] ミナミアオカメムシ、分布、寄主植物、水稲、大豆

5. 今後の問題点と次年度の計画

分布調査の継続

6. 結果の発表、活用

平成24年度近畿中国四国農業試験研究推進会議生産環境推進部会問題別研究会（虫害分科会）で発表、第57回応用動物昆虫学会大会で発表予定

単年度試験研究成績（2013年3月作成）

実施課題名：京都府におけるミナミアオカメムシの発生活長

担当部署名：京都防除所

担当者名：鴨志田徹也

協力分担：京都乙訓農業改良普及センター、JA京都中央

予算（期間）：交付金（2012年度）

1. 目的

水稲や大豆等の害虫であるミナミアオカメムシは、近年分布域を拡大しており、京都府では2010年10月に初めて南部の山城地域の水稲で発生を確認した。今後、黒大豆の主産地である北中部の丹後、中丹、南丹地域への侵入が懸念されている。また、府内における寄主植物や発生活長については不明な点が多い。そこで、ミナミアオカメムシの京都府内の発生活長を調査した。

2. 調査方法

(1) 調査場所：京都市伏見区向島地域の水田、家庭菜園、雑草地

(2) 調査植物：水稲、大豆（エダマメ、黒大豆）、トマト、ナス、オクラ、カラシナ類

(3) 調査期間：2012年4月～12月（カラシナ類）7月～9月（トマト）、7月～10月（水稲、エダマメ）、7月～11月（ナス、オクラ）、10月～11月（黒大豆）

(4) 調査方法：

1～2週間間隔で水稲は20回振りすくい取り、カラシナ類は100株見取り、それ以外の植物は20株見取り調査を行い、ミナミアオカメムシの成虫と幼虫の個体数を計数した。

また、2012年12月からミナミアオカメムシ発生地とその周辺で、約1か月間隔で越冬虫調査を行い、個体数と生死を記録した。

3. 結果の概要

(1) ミナミアオカメムシの発生を確認した発生時期および植物は、5月中旬～7月中旬ではカラシナ類、7月中旬～9月下旬ではトマト、8月上旬～10月中旬ではエダマメ、8月下旬～10月上旬では水稲、10月上旬～11月上旬では黒大豆、オクラ、ナス、10月下旬～12月中旬ではカラシナ類であった。

(2) 越冬虫はすべて成虫で、2012年12月19日に収穫後の水田に積まれた農業用資材の間で死亡虫1匹を確認した。12月25日に農機具庫に積まれた木板の間等で生存虫2匹、死亡虫3匹を確認した。また、この場所では2013年2月3日にも生存虫6匹を確認した。

(3) 以上のことから、京都市向島地域におけるミナミアオカメムシの発生活長について、5月中旬からカラシナ類で発生し、その後トマト、エダマメ、水稲、黒大豆、オクラと移動しながら増殖し、12月中旬に越冬に入ると考えられた。

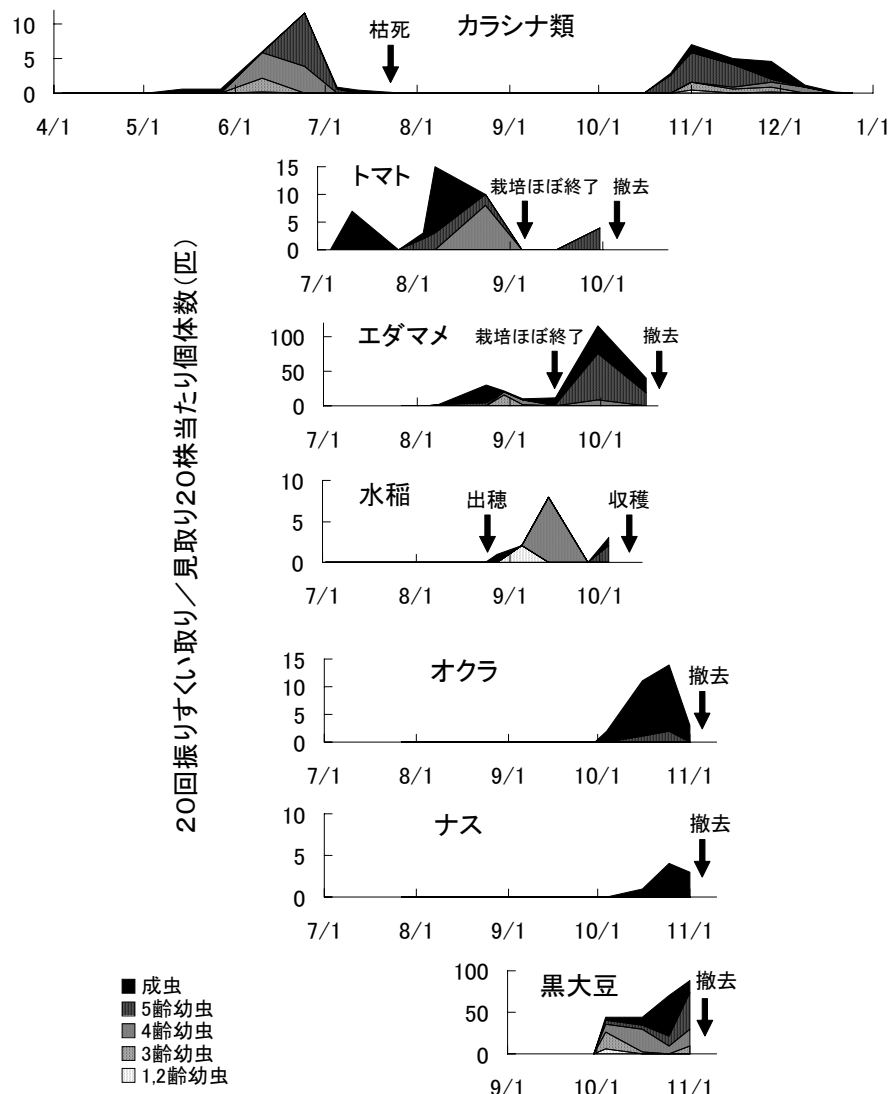


図1 京都市向島地域におけるミナミアオカメムシの季節的推移

4. 結果の要約

京都市向島地域におけるミナミアオカメムシの発生活消長について、5月中旬からカラシナ類で発生し、その後トマト、エダマメ、水稻、黒大豆、オクラと移動しながら増殖し、12月中旬に越冬に入ると考えられた。

[キーワード] ミナミアオカメムシ、発生活消長、越冬、水稻、大豆

5. 今後の問題点と次年度の計画

発生活消長調査の継続

6. 結果の発表、活用

平成24年度近畿中国四国農業試験研究推進会議生産環境推進部会問題別研究会（虫害分科会）で発表、第57回応用動物昆虫学会大会で発表予定

実施課題名：水稻移植直後のコバネイナゴ被害が生育および収量に及ぼす影響

担当部署名：京都防除所

担当者名：上山 博、片岡光信

予算(期間)：交付金(2012年度)

1. 目的

近年、水稻栽培においてコバネイナゴの密度が増加している。特に、移植直後はイネの生育量が少なく、畦から観察すると被害が目立ち、農業者からの不安の声も聞かれる。そこで、水稻移植直後の本種による被害の実態と生育および収量に及ぼす影響を調査した。

2. 調査方法

病虫害防除所内の水田に移植(2012年5月25日)された水稻(品種：コシヒカリ 箱剤未施用)を、6月6日に畦から1列目から4列目に分け、コバネイナゴの寄生虫数および被害程度を見取り調査した。調査株数は1列当たり10株で、3地点(合計30株)で調査した。被害程度は、葉の半分以上の面積が食害されている場合を2、半分以下の場合を1、食害がない場合を0とした。水田中心部の20株(中心部と記す)についても同様に調査した。

被害調査株と同じ株を、分けつ盛期の6月21日、最高分けつ期の7月4日および出穂期の8月9日の3回にわたり、草丈、分けつ数を測定した。なお、6月21日及び7月4日は寄生虫数も調査した。また、畦から列によって生育初期の被害に違いが見られたので、9月7日に列別に収穫を行い、それぞれの収量および粒厚分布を調べた。

3. 結果の概要

- (1) 寄生していた虫は全て幼虫であった。
- (2) 6月6日の寄生虫数は、1株当たり1列目：0.57頭、2列目：0.20頭、3列目：0.07頭、4列目0.03頭、中心部：0.00頭であり、1列目に比較して3列目、4列目及び水田中央部は有意に少なかった。平均被害程度は、1列目：0.67、2列目：0.07で、他は全て0.00で、1列目が他の列に比較して有意に高かった(表1)。
- (3) 1列目及び2列目の寄生虫数は、6月6日から6月21日にかけて急減し、6月21日及び7月4日には他の列と寄生虫数に明らかな差は認められなかった(図1)。
- (4) 草丈は、それぞれの時期において列の違いによる、明らかな差はなかった(図2)。
- (5) 分けつは、8月9日では1列目(24.0本/株)が、他の列(19.0~20.8本/株)に比較するとやや多くなる傾向が見られた。畦際の株は、通常の栽培では分けつが多くなることが知られており、今回の結果も同様の傾向であった。
- (6) 収量調査では、1列目の玄米重は10株当たり480.6gで、他の列および中央部(316.9~371.1g)に比較すると有意に重かった。粒厚分布は、列別の傾向は判然としなかった。
- (7) 生育初期のコバネイナゴの被害が生育・収量に及ぼす影響はあまりないと思われた。

表1 移植直後の寄生虫数および被害程度

畦からの列	寄生虫数/株	被害程度の平均
1列目**	0.57 ^a	0.67 ^a
2列目**	0.20 ^{ab}	0.07 ^b
3列目**	0.07 ^b	0.00 ^b
4列目**	0.03 ^b	0.00 ^b
水田中央部***	0.00 ^b	0.00 ^b

(6月25日移植、6月8日調査)
 ※ 10株/1調査箇所×3箇所の合計30株を調査 数値は平均値
 ※※ 20株/1調査箇所を調査 数値は平均値
 ※※※ 表中の異なるアルファベット間で有意差あり(Tukey's test, p<0.05)

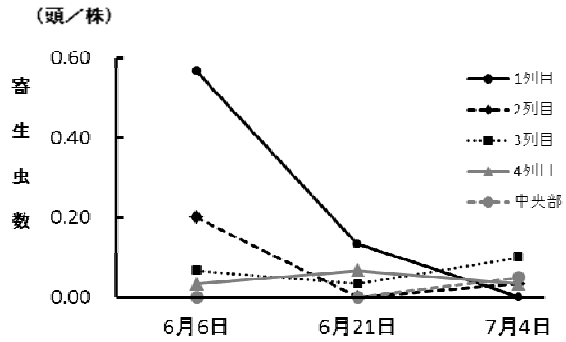


図1 寄生虫数の推移

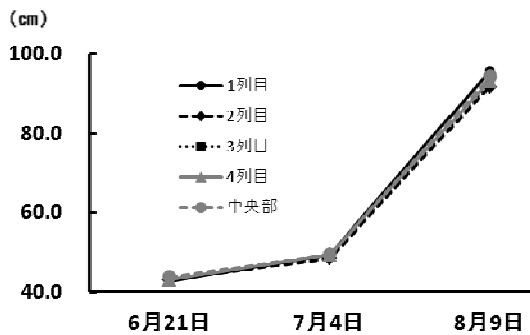


図2 列別の草丈の推移

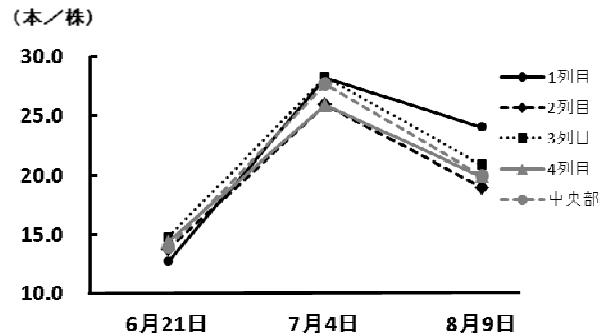


図3 列別の分けつの推移

表2 列別の10株当たりの収量

畦からの列	玄米重g	水分%	玄米重g (15%換算)	千粒重 (15%換算)	1.8mm 以上の比率%
1列目	350.1	13.5	480.6 ^a	22.8 ^a	96.0 ^{ab}
2列目	227.7	13.3	316.9 ^b	23.6 ^a	94.8 ^a
3列目	266.2	13.2	371.1 ^b	23.6 ^a	97.0 ^b
4列目	256.9	13.1	363.0 ^b	24.4 ^a	96.5 ^{ab}
水田中央部	256.5	13.2	360.5 ^b	24.0 ^a	95.6 ^{ab}

表中の異なるアルファベット間で有意差あり(Tukey's test, p<0.05)

4. 結果の要約

水稻移植直後のコバネイナゴによる被害は、畦から1列目から2列目までに集中することがわかった。草丈は、それぞれの時期において列の違いによる明らかな差はなかった。分けつは、畦から1列目がやや多くなる傾向が見られた。収量は1列目が重くなる傾向が見られた。粒厚分布は、列別の傾向は判然としなかった。

[キーワード] 水稻、コバネイナゴ、被害、生育、収量

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

未定

6. 結果の発表、活用

第95回関西病虫草害研究会年次大会で発表予定

単年度試験研究成績（2013年3月作成）

実施課題名：麦類赤かび病菌子のう胞子の飛散状況調査

担当部署名：京都府病虫害防除所

担当者名：橋本 典久

予算(期間)：植防交付金(平成24年度)

1. 目的

麦類の赤かび病菌は人畜に嘔吐、腹痛、下痢等の中毒症状を起こすカビ毒(デオキシニバレノール、ニバレノール)を産生するため、麦類の出荷に際して、赤かび病被害粒混入に対する出荷基準が厳しく(被害粒が0.05%(10,000粒に5粒)以上混入すると販売不可)、麦類の栽培では赤かび病に対する徹底防除が必須となっている。

そこで感染に関与する赤かび病菌の子のう胞子の飛散状況を調査し、防除対策に資する。

2. 調査方法

(1) 調査場所

農林センター29号田大麦圃場
(品種「アサカゴールド」他)

(2) 調査期間

2012年4～5月

(3) 調査方法

圃場の中心、地上高90cmの位置に明日山式孢子採取器(写真1)を設置し、採取器内には、グリセリン・ゼラチンを塗布したスライドガラス2枚を水平方向45°に設置(写真1左上)して

24時間後(午前9時)にそれらを回収し、光学顕微鏡下(100、200倍)、1スライドガラスあたり3枚のカバーガラス(18mm×18mm)を載せ、合計6枚のカバーガラス内に見える子のう胞子(写真1右上)の合計数を1日あたりの飛散量として調査した。



写真1 大麦圃場に設置された明日山式孢子採取器と麦類赤かび病菌の子のう胞子(右上)

3. 結果の概要

(1) 4月上旬は降雨があるにもかかわらず気温が低かったため、赤かび病菌子のう胞子の飛散量は少なかったが、それ以降は気温の上昇とともに、降雨後ごとに子のう胞子の大量飛散が見られ、特に4月第5半旬と5月第1半旬の飛散量が顕著であった(図1)。

(2) 上記(1)で赤かび病菌子のう胞子の飛散量が顕著であった5月第1半旬において、農林センターで栽培されている二条大麦(「アサカゴールド」)、小麦(「農林61号」)の生育状況はそれぞれ蒴殻抽出時期後半、開花期であったため、両作物とも赤かび病感染のリスクが高い状況に置かれていたと考えられた(図1)。

(成績データ)

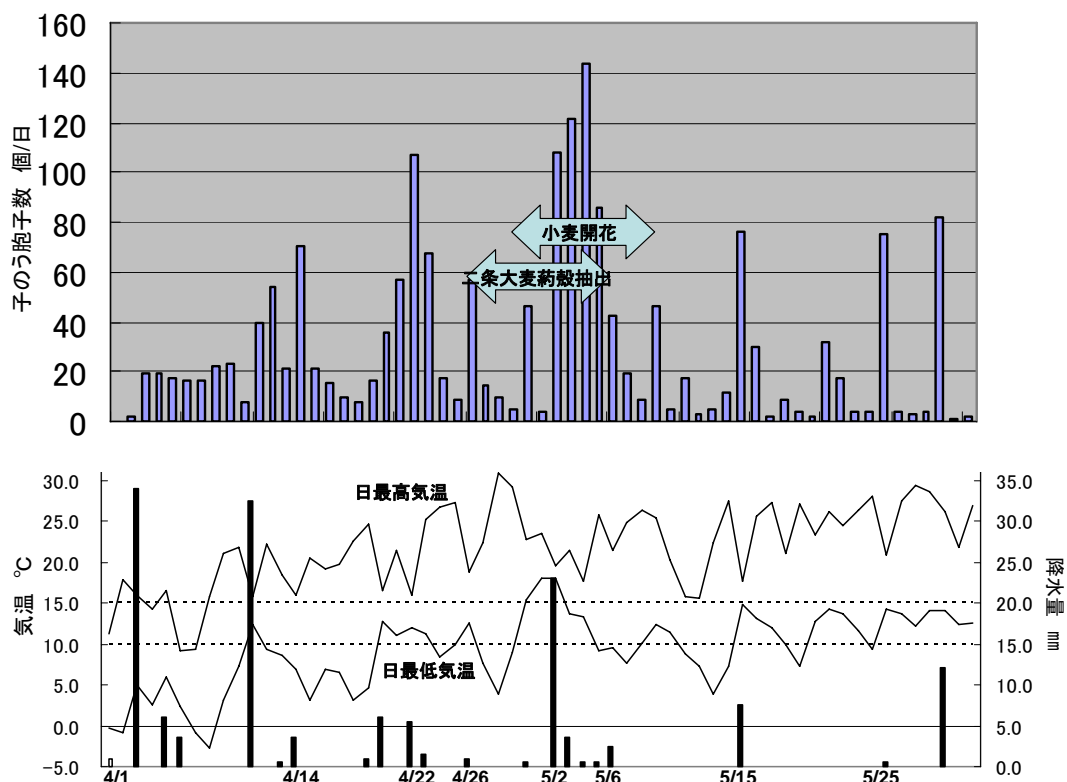


図1 麦類赤かび病菌子のう胞子の飛散数と気象条件(農林センター観測値)

4. 結果の要約

農林センター29号田大麦圃場において明日山式孢子採取器を用いて麦類赤かび病子のう胞子の飛散状況を調査したところ、4月中旬以降、気温の上昇とともに、降雨後ごとに子のう胞子の大量飛散が見られ、特に4月第5半旬と5月第1半旬の飛散量が顕著であった。

[キーワード] 麦類赤かび病、明日山式孢子採取器、子のう胞子、飛散状況

5. 今後の問題点と次年度の計画

次年度の調査の継続は検討中。

6. 結果の発表、活用

なし。

実施課題名：フェロモントラップによるホソヘリカメムシの発生消長調査
担当部署名：京都府病害虫防除所
担当者名：橋本 典久
協力分担：なし
予算(期間)：植防交付金(平成24年度)

1. 目的

大豆栽培において、吸実性カメムシ類は、子実の品質、収量の低下を招く重要害虫の一つである。当所では、吸実性カメムシ類の中のイチモンジカメムシ、アオクサカメムシについて、予察灯により発生消長を調査しているが、誘殺数は両種とも非常に少なく、年によっては予察することが困難な場合もある。一方、府内の大豆予察ほ場では、吸実性カメムシ類のうち、ホソヘリカメムシが最も多く観察され、同種の発生消長を調査することが、精度の高い発生予察に繋がると考えられる。

そこで集合フェロモンを使ったフェロモントラップを用いてホソヘリカメムシの発生消長を調査し、今後の吸実性カメムシ類の発生予察に資する。

2. 調査方法

(1) 調査場所(写真1)

トラップ1: 農林センター4号圃場横(ダイズ栽培、周辺圃場もダイズ、エダマメ、アズキ栽培あり)

トラップ2: 防除所圃場横(発生予察用にネギ、キャベツ無農薬栽培)

(2) 調査期間

2012年6月第5半旬～11月第6半旬

(3) 調査方法

住化式乾式トラップ内に諏訪らの方法(関東病虫研報50、2003)に準じて集合フェロモン(富士フレーバー(株)製)、毒餌(大豆種子をトレボン乳剤100倍液に1時間浸漬、風乾)を置き(写真2)、そのトラップを圃場の横に1カ所ずつ、地上高1mの位置に設置した(6月22日)。その後、約5日ごとにホソヘリカメムシの誘殺数を調査した。

3. 結果の概要

トラップ①

(1) 成虫の誘殺は、7月第1半旬から10月第1半旬まで見られ、7月第5半旬、8月第3、6半旬に成虫の誘殺ピークが見られた(図1)。

(2) 幼虫の誘殺は、7月第6半旬から9月第2半旬まで見られ、8月第6半旬に幼虫の誘殺ピークが見られた(図1)。

トラップ②

(3) 成虫の誘殺は、7月第1半旬から11月第1半旬までとトラップ①より長い期間(10月いっぱいまで)見られ、9月第4半旬に誘殺ピークが見られた(図1)。

(4) 幼虫の誘殺は、7月第3半旬から10月第6半旬までとトラップ①より早い時期から見られた(図1、但し、8月第3半旬は誘殺なし)。また、トラップ②付近では、7月第3半旬以前に越冬世代と考えられる成虫が出現、産卵したと推察された。

(5) トラップ①では、10月第2半旬以降、成虫の誘殺が見られなかったが、トラップ②では誘殺が見られ(図1)、周辺には作物残渣集積場所、雑草地等がある(写真3)ことから、そこが越冬までの生息場所になっていたと推察された。



写真1 フェロモントラップ設置位置

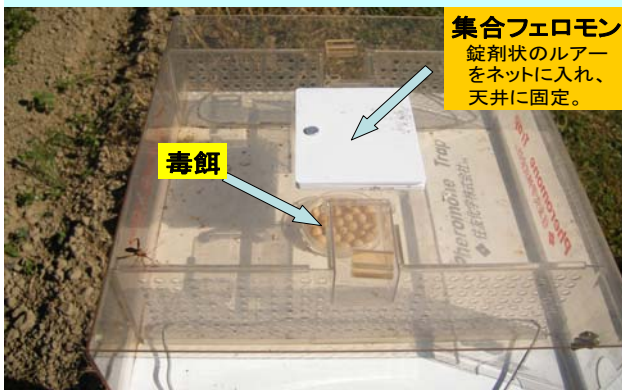
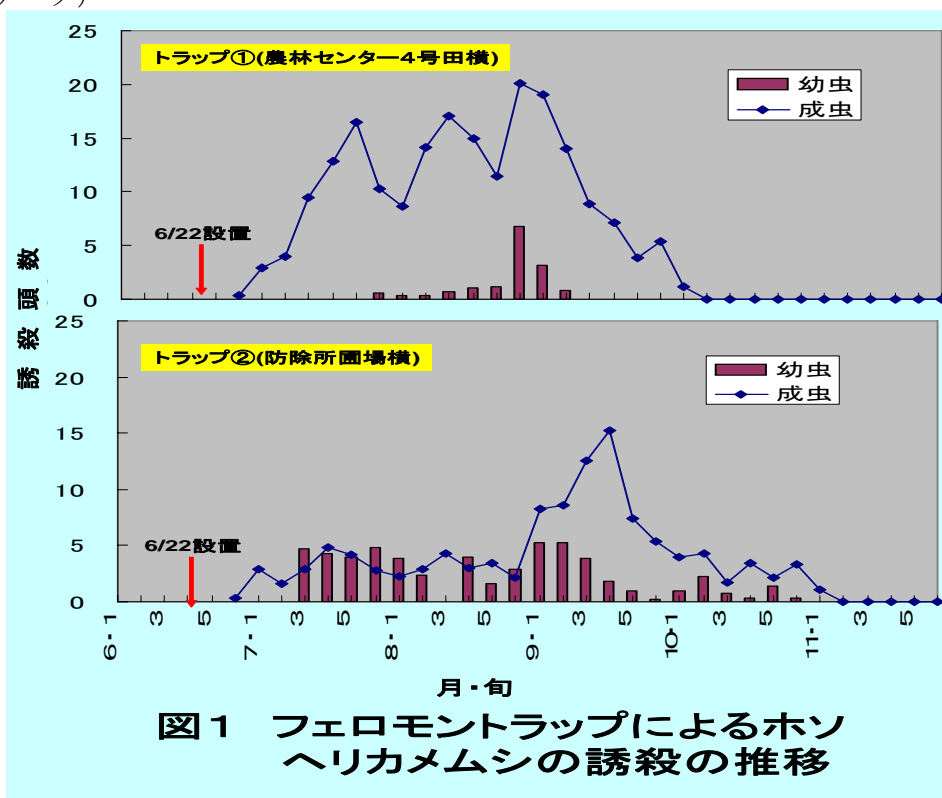


写真2 フェロモントラップ

(成績データ)



4. 結果の要約

集合フェロモンを使ったフェロモントラップを用いて、ホソヘリカメムシの発消長を調査したところ、成虫の誘殺はトラップ①(農林センターダイズ圃場横)では、7月第1半旬から10月第1半旬まで、トラップ②(防除所発生予察用キャベツ、ネギ圃場横)では7月第1半旬から11月第1半旬まで見られた。また、幼虫の誘殺は、トラップ①では、7月第6半旬から9月第2半旬まで、トラップ②では、7月第3半旬から10月第6半旬まで見られた。トラップ②付近では、7月第3半旬以前に越冬世代と考えられる成虫が出現、産卵したと推察された。

[キーワード] 集合フェロモン、フェロモントラップ、ホソヘリカメムシ、発消長

5. 今後の問題点と次年度の計画

トラップ②では、第1世代成虫の発生を予測するのに必要な越冬世代成虫の発消長を把握できる可能性があるため、次年度は早期(5月上旬)にフェロモントラップを設置する。

6. 結果の発表、活用

なし。

単年度試験研究成績（2013年3月作成）

実施課題名：京都府のアズキにおける子実害虫の種構成

担当部署名：京都防除所

担当者名：鴨志田徹也、上山 博

予算（期間）：交付金（2012年度）

1. 目的

京都府では、アズキのチョウ目子実害虫としてこれまでアズキノメイガとマメノメイガが主に発生していたが、2010年以降はオオタバコガが多発し、問題となっている。そこで、継続的に府内のアズキ産地におけるチョウ目子実害虫の種構成を調べ、効果的な防除対策の基礎資料とする。

2. 調査方法

(1) 調査場所：舞鶴市久田美、綾部市私市、福知山市半田、南丹市若森、亀岡市余部町（農林センター内ほ場）

(2) 調査期間：2012年9月～10月

(3) 調査方法

ほ場内の任意の25株を調査株とし、概ね2週間に1回、調査株に発生する子実害虫の種類及び幼虫数を計数し、種構成割合を調べた。また、亀岡市余部町にオオタバコガのフェロモントラップを設置し、1半旬に1回、雄成虫の誘殺数を計数した。

3. 結果の概要

(1) 各調査地点において最も多かった種は、すべての地点でマメノメイガであり、25株当たり幼虫数及び種構成割合は、舞鶴市久田美で7.5匹、78.9%、綾部市私市で27.5匹、71.4%、福知山市半田で4.5匹、52.9%、南丹市若森で1.5匹、37.5%、亀岡市余部町で29.8匹、58.0%であった（表1）。

(2) オオタバコガの25株当たり幼虫数及び種構成割合は、舞鶴市久田美で1.5匹、15.8%、綾部市私市で6.0匹、15.6%、福知山市半田で1.5匹、17.6%、南丹市若森で0.5匹、12.5%、亀岡市余部町で1.7匹、3.3%であった（表1）。

(3) 府平均の25株当たり幼虫数及び種構成割合は、2012年ではマメノメイガが最も多く（14.2匹、63.4%）、次いでアズキノメイガ（2.7匹、12.1%）、オオタバコガ（2.2匹、9.8%）の順に多かった。2011年ではアズキノメイガ（8.3匹、41.3%）、オオタバコガ（3.8匹、18.9%）、マメノメイガ（2.8匹、13.9%）、2010年ではマメノメイガ（16.7匹、52.4%）、オオタバコガ（11.6匹、36.3%）、ハスモンヨトウ（2.1匹、6.5%）の順であった（表1）。なお、2012年のオオタバコガは、2010年、2011年と比べて9月のフェロモントラップ誘殺数が少なく（図1）、次世代幼虫の発生が少なくなったと考えられた。

表1 府内のアズキほ場5地点における子実害虫の発生状況

	マメノメイガ	オオタバコガ	ハスモンヨトウ	アズキノメイガ	サヤムシガ類	その他
舞鶴市久田美	7.5 (78.9)	1.5 (15.8)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.5 (5.3)
綾部市私市	27.5 (71.4)	6.0 (15.6)	3.5 (9.1)	1.0 (2.6)	0.5 (1.3)	0.0 (0.0)
福知山市半田	4.5 (52.9)	1.5 (17.6)	2.0 (23.5)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.5 (5.9)
南丹市若森	1.5 (37.5)	0.5 (12.5)	0.5 (12.5)	0.5 (12.5)	0.5 (12.5)	0.5 (12.5)
亀岡市余部町	29.8 (58.0)	1.7 (3.3)	4.2 (8.2)	11.9 (23.2)	2.5 (4.9)	1.3 (2.5)
府平均	14.2 (63.4)	2.2 (9.8)	2.0 (8.9)	2.7 (12.1)	0.7 (3.1)	0.6 (2.7)
2011年府平均	2.8 (13.9)	3.8 (18.9)	1.5 (7.5)	8.3 (41.3)	1.3 (6.5)	2.4 (11.9)
2010年府平均	16.7 (52.4)	11.6 (36.3)	2.1 (6.5)	1.2 (3.6)	0.2 (0.6)	0.2 (0.6)

注) 表中の数字は25株当たり幼虫数(匹)、括弧内の数字は種構成割合(%)を示す。

個体数は2012年9月～10月に行った調査の平均値。府平均は5地点の平均値。

その他害虫として、エビガラスズメ、ウコンノメイガ、ウワバ類、ウラナミシジミを確認した。

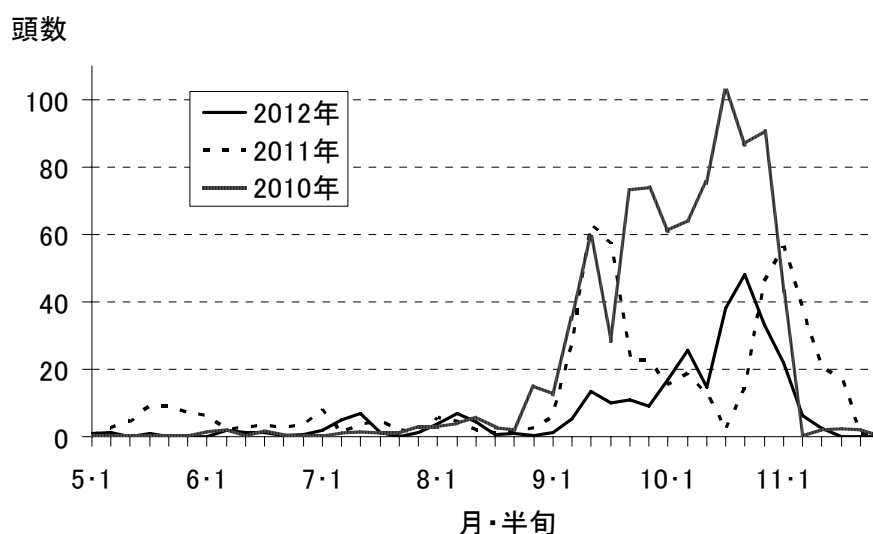


図1 オオタバコガのフェロモントラップ誘殺数（亀岡市余部町）

4. 結果の要約

府内のアズキほ場5地点においてアズキの子実害虫の種構成を調査したところ、2012年ではマメノメイガが最も多く、次いでアズキノメイガ、オオタバコガの順に多かった。

〔キーワード〕 オオタバコガ、マメノメイガ、アズキノメイガ、アズキ、被害

5. 今後の問題点と次年度の計画

種構成調査の継続

6. 結果の発表、活用

単年度試験研究成績（2013年3月作成）

実施課題名：アズキのチョウ目害虫に対する各種薬剤の防除効果

担当部署名：京都防除所

担当者名：鴨志田徹也、上山 博

予算（期間）：交付金（2012年度）

1. 目的

京都府では、アズキのチョウ目子実害虫としてこれまでアズキノメイガとマメノメイガが主に発生していたが、2010年以降はオオタバコガが多発し、問題となっている。そこで、今後の防除対策の一環として、チョウ目子実害虫に対する各種薬剤の防除効果を調査した。

2. 調査方法

(1) 調査場所：農林センター内2号田

(2) 試験規模：1区12m²、3反復

(3) 耕種概要

品種：京都大納言、播種：7月27日、収穫：11月13日

栽植密度：うね幅120cm、条間40cm（2条）、株間20cm

施肥：N:P:K=3.2:7.6:2.4kg/10a

(4) 供試薬剤：アズキに登録のある4剤（表1）を常用濃度で用いた。

(5) 調査方法：

9月28日に電動噴霧器を用いて供試薬剤を10a当たり150Lの割合で散布した。

散布前（9月27日）と散布7日後（10月5日）に1区当たり10株を調査し、莢もしくは茎に発生するマメノメイガとアズキノメイガの幼虫数を計数した。なお、オオタバコガについては発生が少なかったため調査を中止した。

3. 結果の概要

(1) マメノメイガに対する効果について、サブリーナフロアブルとトレボン乳剤は効果が認められた。チューンアップ顆粒水和剤とスミチオン乳剤は効果は認められたがその程度は低いと考えられた（表2）。

(2) アズキノメイガに対する効果について、サブリーナフロアブル、トレボン乳剤、チューンアップ顆粒水和剤は効果が認められた。スミチオン乳剤は効果は認められたがその程度は低いと考えられた（表3）。

(3) 収量調査の結果、供試薬剤を散布した区では無処理区と比較して莢数がやや少なく、精子実重がやや多くなる傾向が見られ、莢内の子実の被害が少ないことが示唆された。百粒重は各区間で差は見られなかった（表4）。

表1 供試薬剤

薬剤名 (一般名)	希釈倍率 (倍)
スミチオン乳剤 (MEP乳剤)	1,000
トレボン乳剤 (エトフェンプロックス乳剤)	1,000
サブリーナフロアブル (BT水和剤)	500
チューンアップ顆粒水和剤 (BT水和剤)	2,000

表2 マメノメイガに対する各種薬剤の効果

薬剤名	10株当たり個体数		補正密度指数
	散布前	散布7日後	散布7日後
スミチオン乳剤	13.0	5.0	(46.2)
トレボン乳剤	13.0	3.0	(27.7)
サブリーナフロアブル	9.0	2.0	(26.7)
チューンアップ顆粒水和剤	12.7	3.3	(31.6)
無処理	6.0	5.0	(100.0)

表3 アズキノメイガに対する各種薬剤の効果

薬剤名	10株当たり個体数		対無処理比
	散布前	散布7日後	散布7日後
スミチオン乳剤	2.0	3.3	(37.0)
トレボン乳剤	2.0	2.0	(22.2)
サブリーナフロアブル	0.0	1.3	(14.8)
チューンアップ顆粒水和剤	2.0	2.7	(29.6)
無処理	6.0	9.0	(100.0)

表4 収量調査結果

薬剤名	莢数 (莢/m ²)	精子実重 (kg/a)	百粒重 (g)
スミチオン乳剤	288.3	29.9	22.7
トレボン乳剤	308.9	30.9	22.0
サブリーナフロアブル	284.2	31.0	22.2
チューンアップ顆粒水和剤	293.6	29.3	22.2
無処理	324.4	27.9	22.3

4. 結果の要約

サブリーナフロアブルとトレボン乳剤は、マメノメイガとアズキノメイガの両種に効果がある薬剤であると考えられた。薬剤を散布した区では無処理区と比較して莢数がやや少なく、精子実重がやや多くなる傾向が見られた。

〔キーワード〕 マメノメイガ、アズキノメイガ、アズキ、薬剤防除

5. 今後の問題点と次年度の計画

各種薬剤の防除効果調査の継続

6. 結果の発表、活用

単年度試験研究成績（2013年3月作成）

実施課題名：フェロモントラップによるナシのモモシクイガの発生消長調査

担当部署名：京都府病虫害防除所

担当者名：橋本 典久

予算(期間)：植防交付金(平成24年度)

1. 目的

近年、日本産果樹の海外輸出が振興される中、台湾へナシを輸出する場合、その検疫対象として、モモシクイガが重要害虫の一つとなる。府内ナシ産地でも台湾への輸出を検討中であるが、現段階の防除暦では、袋掛け栽培が主体であることから、モモシクイガは注視されていない。

そこでフェロモントラップを用いてモモシクイガの発生消長を調査し、今後の防除対策に資する。

2. 調査方法

(1) 調査場所

丹後農業研究所K-3ほ場(品種「二十世紀」他)

(2) 調査期間

2012年4～11月

(3) 調査方法

ナシほ場内に1カ所、地上高1mの位置に住化式フェロモントラップ(モモシクイガ用フェロモン：アースバイオケミカル)を3月30日に設置し、その後、約1週間ごとにモモシクイガの誘殺数を調査した。

3. 結果の概要

- (1) モモシクイガの誘殺は6月第1半旬から10月第1半旬まで見られ、6月第2半旬、7月第4半旬、8月第6半旬、9月第6半旬～10月第1半旬に誘殺ピークが見られた(図1)。

(成績データ)

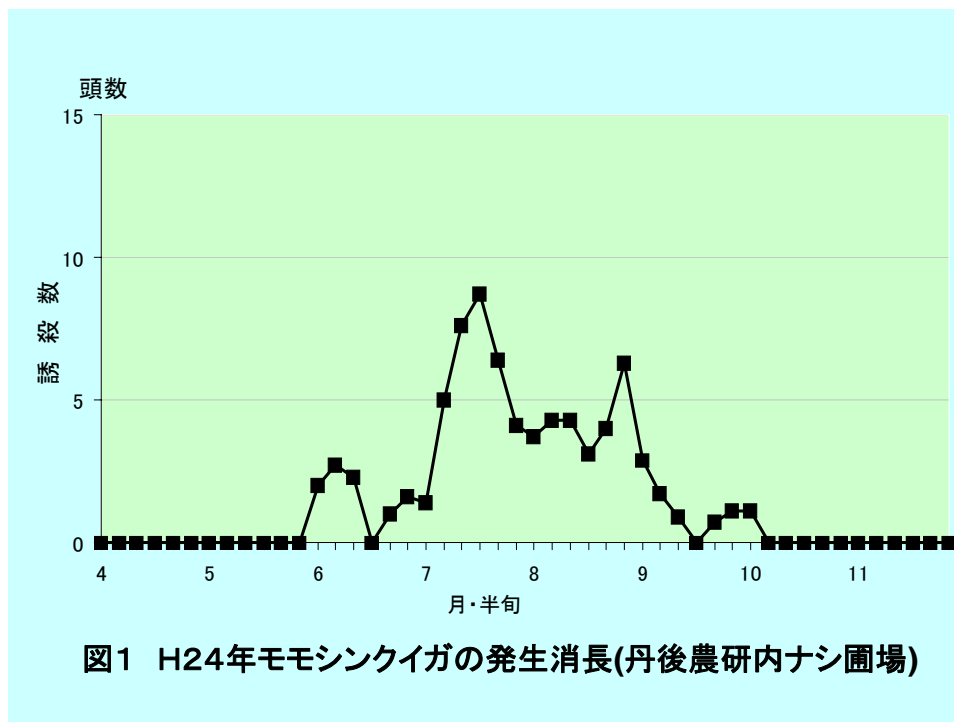


図1 H24年モモシンクイガの発生消長(丹後農研内ナシ圃場)

4. 結果の要約

フェロモントラップを用いて、ナシほ場におけるモモシンクイガの発生消長を調査したところ、誘殺は6月第1半旬から10月第1半旬まで見られ、6月第2半旬、7月第4半旬、8月第6半旬、9月第6半旬～10月第1半旬に誘殺ピークが見られた。

[キーワード] ナシ、モモシンクイガ、フェロモントラップ、発生消長

5. 今後の問題点と次年度の計画

現段階では、台湾への輸出が未定のため、次年度の調査は中止。

6. 結果の発表、活用

なし。

実施課題名：赤色ネットの被覆による葉ネギのアザミウマ防除

担当者名：上山 博、灰方正穂、片岡光信、天野 久

協力分担：日本ワイドクロス株式会社、京都府中小企業技術センター

予算(期間)：交付金(2012年度)

1. 目的

ネギアザミウマは、ネギの葉身部を加害し、葉ネギ栽培では著しく商品価値を低下させている。本種は主として薬剤防除がされているが、各地で感受性の低下が報告されている。施設栽培では物理的な防除として防虫ネット等を用いることが効果的であることが報告されているが、露地栽培における物理的防除については、これまでほとんど報告がない。そこで、近年アザミウマ類の防除に効果があると注目されている赤色ネットの被覆によって、露地での葉ネギ栽培における本種の被害軽減と生育状況を調べた。

2. 調査方法

試験は、2012年4月～6月(以下「試験1」と略)および7月～9月(以下「試験2」と略)に、病虫害防除所内の露地ほ場で行った。

【試験1】

4月10日にネギ(品種：黒千本)を播種し、5月8日に株間20cm×条間20cmで3条に定植した(約5本/株)。定植直後にグラスファイバー製ポールで弓を作り不織布で覆い、5月25日に不織布の代わりに0.8mmのサンサンネットe-レッド(以下、赤色ネット区)(分光曲線は図1)、同じ目合いのサンサンネットソフライト(以下、白色ネット区)で被覆する区および無被覆区の3処理区を設けた。5月25日から6月22日まで1週間毎に5回、ネギアザミウマの寄生成幼虫数および被害程度を5段階に分類し見取り調査をおこなった。また、6月25日に収穫し15株について、1株当たりの栽植本数と葉数を調査し1本当たりの葉数を算出した。また、10株についてそれぞれ草丈および葉色(SPAD値)を測定した。

【試験2】

7月10日にネギ(品種：黒千本)を播種し、8月10日に株間15cm×条間20cmで2条に定植した(約5本/株)。試験1で、ネギの葉身がネットに触れることが確認されたので、ネットへ接触することを防ぐため、被覆支柱は直管パイプを「コの字」(上辺50cm、高さ85cm)に曲げ、地上高が70cmになるようにした。定植直後にネットで被覆し、試験1と同様の3区を設けた。9月28日に10株を抽出し、ネギアザミウマの寄生成幼虫数および被害程度を見取り調査した。また、試験1と同様の方法で生育状況を調査した。

3. 結果の概要

【試験1】

寄生成虫数は全区で5月25日および6月1日は、ほとんど0匹/株であった。6月22日には、無被覆区で寄生成虫数：20匹/株、被害程度の平均：3.8、赤色ネット区で1.5匹/株、1.6、白色ネット区で9.5匹/株、2.8であった(図2)。収穫時の調査では、赤色ネット区および白色ネット区が無被覆区に比較して、草丈は有意に長く、SPAD値は有意に低かった。1本当たりの葉数では区間に有意差は認められなかった(表1)。

【試験2】

無被覆区が寄生虫数：6.0 匹/株、被害程度の平均：1.3、赤色ネット区が 0.5 匹/株、0.6、白色ネット区で 4.1 匹/株、1.2 で、寄生虫数および被害程度の平均とも赤色ネット区が他の区に対して有意に低かった。1 本当たりの葉数は、赤色ネット区は無被覆区に対して有意に多く、草丈は赤色ネット区および白色ネット区が無被覆区に対して有意に長かった。SPAD 値は区間で有意差は認められなかった(表 2)。

【まとめ】

試験 1、2 の結果から、赤色ネットの被覆は、葉ネギ栽培においてネギアザミウマの寄生および被害を軽減することが示唆された。一方、被覆による葉ネギ品質に及ぼす影響は、1 本当たりの葉数は多く、草丈は長く、葉色は薄くなる傾向が見られた。

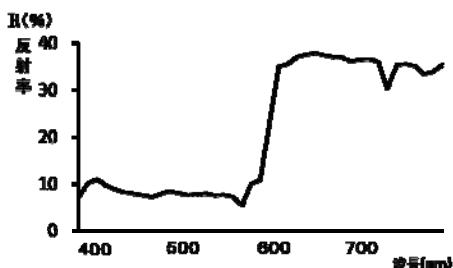


図1 赤色ネット(サンザンネット・レッド)の分光曲線

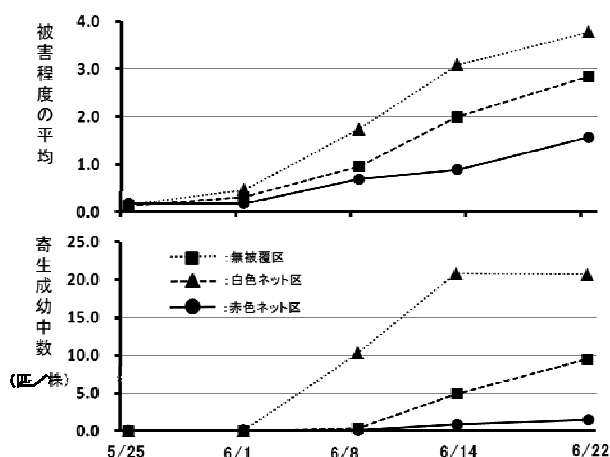


図2 寄生虫数および被害程度の推移(試験1)

表1 収穫時における葉ネギの品質

	葉数/本	草丈(mm)	葉色 (SPAD値)
赤色ネット区	3.6 ^a	60.3 ^a	49.1 ^a
白色ネット区	3.6 ^a	60.0 ^a	50.5 ^a
無被覆区	3.5 ^a	51.5 ^b	54.7 ^b

異なるアルファベット間には有意差あり(Tukey's test, p<0.05)

表2 収穫時におけるネギアザミウマの寄生虫数・被害と葉ネギの品質(試験2)

	寄生虫数/株	被害程度	品質		
			葉数/本	草丈(mm)	葉色 (SPAD値)
赤色ネット区	0.5 ^a	0.6 ^a	3.6 ^a	63.1 ^a	59.4 ^a
白色ネット区	4.1 ^b	1.2 ^b	3.5 ^{ab}	60.3 ^a	60.3 ^a
無被覆区	6.0 ^b	1.3 ^b	3.2 ^b	56.6 ^b	60.9 ^a

異なるアルファベット間には有意差あり(Tukey's test, p<0.05)

4. 結果の要約

赤色ネットの被覆は、葉ネギ栽培においてネギアザミウマの寄生および被害を軽減することが示唆された。また被覆による葉ネギ品質に及ぼす影響は、1 本当たりの葉数は多く、草丈は長く、葉色は薄くなる傾向が見られた。

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

赤色ネットの簡易な展張による防除方法の確立とともに、ネギアザミウマの赤色に対する誘引や忌避に対する調査

6. 結果の発表、活用

平成 24 年度近畿中国四国農業研究センター問題別、第 57 回日本応用動物昆虫学会年次大会で発表
関西病虫害研究会報第 55 号に掲載予定

単年度試験研究成績（2013年3月作成）

実施課題名：簡易検定法によるネギアザミウマの殺虫剤感受性試験

担当部署名：京都府病虫害防除所

担当者名：橋本 典久

予算(期間)：植防交付金(平成24年度)

1. 目的

近年、京都府内では九条ネギの栽培面積が増加傾向にあるが、古くから九条ネギを栽培している産地(京都市内等)では、ネギアザミウマに対する殺虫剤の防除効果の低下が指摘されている。

そこで井村の簡易検定法を用いて、ネギアザミウマに登録のある数種の殺虫剤に対するネギアザミウマの感受性を調査し、今後の防除対策に資する。

2. 調査方法

(1) 調査場所

①京都市南区圃場(古くからネギが栽培されている地域)、②亀岡市圃場(最近、ネギが栽培された地域)

(2) 調査期間

①2012年7月30日採取、8月1日判定

②2012年9月13日採取、9月15日判定

(3) 調査方法

井村の簡易検定法(植物防疫第66巻第5号、2012)に従って、マラソン乳剤、ダイアジノン乳剤、シペルメトリン乳剤、ジノテフラン水溶剤、クロチアニジン水溶剤(いずれも常用濃度)に対するネギアザミウマ(①、②をそれぞれ京都市個体群、亀岡市個体群とした)の感受性を調査(2～3反復)した。

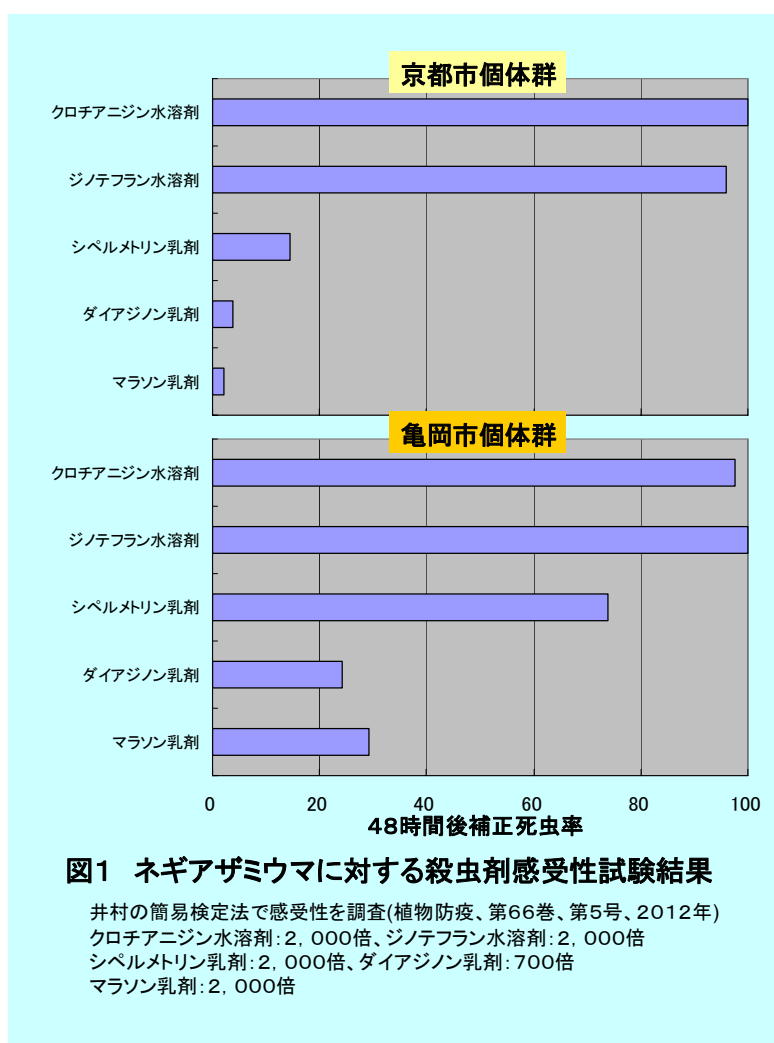
3. 結果の概要

(1) 京都市個体群、亀岡市個体群とも、クロチアニジン水溶剤、ジノテフラン水溶剤に対して高い感受性を示した(図1)。

(2) 亀岡市個体群はシペルメトリン乳剤に対して中程度の感受性を示したが、京都市個体群は同剤に対する感受性は低かった(図1)。

(3) 京都市個体群、亀岡市個体群とも、ダイアジノン乳剤、マラソン乳剤に対して低い感受性を示し、その程度は両個体群で差が見られた(図1)。

(成績データ)



4. 結果の要約

井村の簡易検定法を用いて、ネギアザミウマ(京都市個体群、亀岡市個体群)の殺虫剤感受性を調査したところ、両個体群とも、クロチアニジン水溶剤、ジノテフラン水溶剤に対して高い感受性を示した。一方、シベルメトリン乳剤に対しては、亀岡市個体群は中程度の感受性を示したが、京都市個体群の感受性は低かった。また、ダイアジノン乳剤、馬拉ソン乳剤に対しては、両個体群とも低い感受性を示したが、その程度に差が見られた。

[キーワード] ネギアザミウマ、殺虫剤感受性試験、簡易検定法

5. 今後の問題点と次年度の計画

継続調査。

6. 結果の発表、活用

「防除所ニュース平成24年第6号」で公表。

実施課題名： プラタナスグンバイに対するマンデロニトリルの殺虫効果

担当者名： 上山 博

協力分担： 京都学園大学バイオ環境学部生物有機化学研究室

予算 (期間)： 交付金 (2012年度)

1. 目的

マンデロニトリルは、ヤスデ類の貯蔵嚢に蓄えられており、捕食者から攻撃を受けた時に防御物質として体外に放出される。また、バラ科植物の未熟な種子に含まれるアミグダリンは、動物に含まれる酵素の β -グルコシダーゼによってマンデロニトリルが生じ、さらに分解することでベンズアルデヒドと青酸を生成する。このように、マンデロニトリルは、自然界に存在する物質である。この物質を殺虫剤として活用する可能性を探るため、プラタナス等の緑化樹の害虫であるプラタナスグンバイ (カメムシ目グンバイ科) を用いてバイオアッセイを試みた。

2. 調査方法

【試験1】

マンデロニトリルをエタノールで2.5%と5%に希釈し、展着剤 (新グラミン) を加用した溶液に、プラタナス葉を直径8 cm程度の大きさに切り、約30秒間浸漬処理した。風乾後、直径7 cmの軽く湿らせたろ紙を敷いたプラスチック製資料カップ (直径9 cm) に入れ、プラタナスグンバイの成虫を約10匹ずつ放飼し、24時間後に死亡虫数を数えた。水処理の値を対照として Abbott の方法により補正死虫率を算出し比較した。

【試験2】

試験1ではいずれも葉が褐変したため、アセトンで1%に調整した溶液に蒸留水を加え、10倍、50倍、100倍及び1000倍に希釈し、試験1と同じ葉片浸漬処理により殺虫効果を調べた。

【試験3】

燻蒸による殺虫効果を確認するため、1.5 ml のバイヤル瓶に脱脂綿を入れ、アセトンで1%に希釈したマンデロニトリル溶液を、 $10\ \mu\text{l}$ 、 $30\ \mu\text{l}$ 、 $50\ \mu\text{l}$ 及び $100\ \mu\text{l}$ を染みこませた。穴の開いた蓋の部分にゴース布をねじ込み、直接溶液が虫体に触れないようにした。これを、プラタナス葉の横におき、試験1、試験2と同様の方法で殺虫効果を調べた (写真1)。

3. 結果の概要

【試験1】

補正死虫率は2.5%と5%溶液とも100%であったが (表1)、いずれもプラタナス葉が褐変した。溶媒をメタノール、アセトン (希釈濃度5%) で試験をおこなっても、やはり葉は褐変した。

【試験2】

10倍、50倍、100倍及び1000倍の希釈液の補正死虫率は、それぞれ、33.3%、14.2%、2.1%および11.0%でいずれも明らかな殺虫効果を示す値ではなかった (表2)。

【試験3】

$10\ \mu\text{l}$ 、 $30\ \mu\text{l}$ 、 $50\ \mu\text{l}$ 及び $100\ \mu\text{l}$ を染みこませた処理区の補正死虫率は、それぞれ、49.9%、78.0%、92.0% 及び97.9%であった (表3)

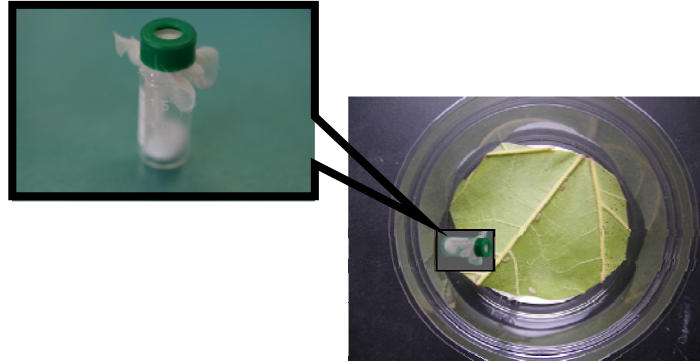


写真1 脱脂綿を挿入したバイヤル瓶と燻蒸による殺虫効果試験法

表1 24時間後の死虫数(試験1)

処理	死虫数 (含苦悶虫)	生存虫数	補正死亡率
マンデロニトリル 2.5%希釈	50	0	100%
マンデロニトリル 5%希釈	50	0	100%
無処理	1	49	—

各処理とも5反復 虫数は合計値

表2 24時間後の死虫数(試験2)

処理	死虫数 (含苦悶虫)	生存虫数	補正死亡率
MN溶液 10倍希釈	18	32	33.3%
MN溶液 50倍希釈	9	42	14.2%
無処理	2	48	—
MN溶液 100倍希釈	5	94	2.1%
MN溶液 1000倍希釈	14	88	11.0%
無処理	3	95	—

※ MN:マンデロニトリル

10倍、50倍希釈は5反復
100倍、1000倍希釈は10反復
虫数は合計値

表3 24時間後の死虫数(試験3)

処理	死虫数 (含苦悶虫)	生存虫数	補正死亡率
MN溶液 10 μ l	27	23	49.9%
MN溶液 100 μ l	51	1	97.9%
無処理	4	45	—
MN溶液 30 μ l	40	11	78.0%
MN溶液 50 μ l	47	4	92.0%
無処理	1	49	—

※ MN:マンデロニトリル

各処理区とも5反復 虫数は合計値

4. 結果の要約

エタノール、メタノール、アセトンを溶媒としたマンデロニトリル溶液浸漬は、プラタナス葉が褐変した。

蒸留水で希釈したマンデロニトリル溶液では、殺虫効果が低かった。

マンデロニトリルの燻蒸による殺虫効果は高く、プラタナス葉にも影響がないことがわかった。

[キーワード] マンデロニトリル、プラタナスグンバイ、バイオアッセイ

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

マンデロニトリルの燻蒸成分の濃度、水に溶解するアミグダリンの効果等の検討。

6. 結果の発表、活用

第24回日本環境動物昆虫学会年次大会で発表

IV 緊急防除等に係る協力・指導の実施

- | | |
|------------------------------|---------|
| 1 国の行う緊急防除（法第17条）への協力 | 本年度該当なし |
| 2 『防除計画』（法第24条）に基づき府が行う防除の指導 | 本年度該当なし |
| 3 府の行う防除（法第29条）の指導等 | 本年度該当なし |

V 情報提供サービスの実施

(I) 情報提供の概要

1 病害虫防除所ホームページ

1) 設置場所及びサービス開始時期

- (1) 設置場所：京都府のホームページ『おこしやす京都』
(アドレス <http://www.pref.kyoto.jp/byogai/>)

- (2) サービス開始：平成10年4月

2) 情報の概要及び更新時期

- (1) 内 容：① 病害虫発生予察コーナー
② 病害虫発生状況（フェロモントラップ誘殺数）
③ 巡回調査結果
④ 水稲いもち病発生予察システム（BLASTAM）の結果
⑤ 防除所ってナニ？
⑥ 病害虫ワクワクツアー
⑦ 家庭菜園で見られる病害虫（Web病害虫辞典）
⑧ 病害虫サイト

- (2) 更新時期：毎月の下旬及び必要に応じて随時更新

(Ⅱ) 情報の内容と利用状況

1 病害虫防除所ホームページ (アドレス <http://www.pref.kyoto.jp/byogai/>)

(1) 京都府ホームページ「おこしやす京都」の防除所ホームページ上に、以下のコーナーを運営している。掲載情報・掲載日等は表のとおり。

①病害虫発生予察コーナー

- ・公表した発生予察情報等をPDFファイルで掲載
- ・18年度以降に公表した情報も過去情報として掲載

②病害虫発生状況 (フェロモントラップ誘殺数)

- ・宇治市、綾部市に設置しているチャノコカクモンハマキ、チャノホソガのフェロモントラップの誘殺数 (グラフ) を更新

③巡回調査結果

- ・巡回調査結果のうち水稲、黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、ネギの調査結果をPDFファイルで掲載

④水稲いもち病発生予察システム (BLASTAM) の結果

- ・アメダスJPPネットを通じて府内8箇所はいもち病の発生を予測されたものを掲載

⑤防除所ってナニ?

- ・防除所の業務内容や歴史などを常時紹介

⑥病害虫ワクワクツアー

- ・農作物の病害虫の生態や防除法などの写真等を常時掲載

⑦家庭菜園で見られる病害虫 (Web病害虫辞典)

- ・夏野菜に見られる病害虫の写真を常時掲載

(2) 利用者の利便性を図るため以下の取組を実施している。

①「新着情報」のコンテンツでは、最新の発生予察情報にリンク

②「各種データ (巡回調査結果、フェロモン誘殺数等)」のコンテンツでは、病害虫発生状況 (フェロモントラップ誘殺数)、巡回調査結果、水稲いもち病発生予察システム (BLASTAM) の結果の各データとリンク

③「お知らせ」のコンテンツでは最新情報、更新情報を掲載

(3) 閲覧回数

107,368 件/年

【病害虫発生予察情報等】

種類	更新掲載情報	掲載年月日
予報	病害虫発生予報第3号	平成24年4月24日
	病害虫発生予報第4号	平成24年5月23日
	病害虫発生予報第5号	平成24年6月21日
	病害虫発生予報第6号	平成24年7月25日
	病害虫発生予報第7号	平成24年8月22日
	病害虫発生予報第8号	平成24年9月26日
	病害虫発生予報第9号	平成24年10月23日
	病害虫発生予報第1号	平成25年2月25日
	病害虫発生予報第2号	平成25年3月2日
注意報	発生予察注意報第1号：果樹カメムシ類	平成24年7月13日
防除所 ニュース	防除所ニュース第1号（麦類赤かび病情報）	平成24年4月2日
	防除所ニュース第2号（果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ）情報）	平成24年4月3日
	防除所ニュース第3号（水稻斑点米カメムシ類情報）	平成24年7月25日
	防除所ニュース第4号（大豆サヤムシガ類情報）	平成24年7月26日
	防除所ニュース第5号（小豆マメノメイガ、オオタバコガ情報）	平成24年9月26日
	防除所ニュース第6号（ネギアザミウマ殺虫剤感受性試験情報）	平成24年11月2日

【巡回調査結果】

調査月及び掲載調査品目	掲載月日
4月の巡回調査結果（茶、ネギ）	平成24年4月24日
5月の巡回調査結果（水稻、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成24年5月23日
6月の巡回調査結果（水稻、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成24年6月21日
7月の巡回調査結果（水稻、黒大豆、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成24年7月25日
8月の巡回調査結果（水稻、黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成24年8月22日
9月の巡回調査結果（水稻、黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成24年9月26日
10月の巡回調査結果（黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成24年10月23日
11月の巡回調査結果（ネギ）	平成24年11月14日

【その他】

種 類	更新月（更新回数）
チャノコカクモンハマキ フェロモントラップ誘殺グラフ（宇治市）	平成24年4月～11月 （8回）
チャノコカクモンハマキ フェロモントラップ誘殺グラフ（綾部市）	
チャノホソガ フェロモントラップ誘殺グラフ（宇治市）	
チャノホソガ フェロモントラップ誘殺グラフ（綾部市）	
コナガ フェロモントラップ誘殺グラフ（亀岡市）	平成24年5月～11月 （7回）
コナガ フェロモントラップ誘殺グラフ（京丹後市）	
ハスモンヨトウ フェロモントラップ誘殺グラフ（京田辺市）	
ハスモンヨトウ フェロモントラップ誘殺グラフ（京丹後市）	
オオタバコガ フェロモントラップ誘殺グラフ（京田辺市）	
オオタバコガ フェロモントラップ誘殺グラフ（亀岡市）	
オオタバコガ フェロモントラップ誘殺グラフ（京丹後市）	平成24年6月～7月 （7回）
水稻いもち病発生予察システム(BLASTAM)の結果	

VI 病害虫調査協力員の活動状況

(I) 病害虫調査協力員の設置

平成18年3月31日に定めた京都府病害虫調査協力員設置要領によって、府内各農業協同組合から選任された、病害虫発生状況調査等に協力を願う病害虫調査協力員（以下「協力員」と言う）を23名設置した。

(II) 報告内容の活用

協力員から寄せられた情報は、結果をとりまとめて発生予察会議の資料として活用するとともに、指導資料に活用いただくため協力員にフィードバックした。

表1 協力員による病害虫発生状況報告の概要

照会日	照 会 内 容	回答数
6月8日	①水稲の品種 ②水稲の苗、田植について ③いもち病の発生（補植用苗と本田） ④その他作物の目立つ病害虫	18
7月13日	①水稲の生育状況 ②葉いもちについて ③斑点米カメムシ類について ④イナゴの発生状況について ⑤その他作物の目立つ病害虫	16
8月18日	①水稲の生育状況 ②紋枯病について ③斑点米カメムシ類についての発生と防除状況 ④ウンカ、コブノメイガ、フタオビコヤガの情報 ⑤その他作物のハスモンヨトウ、カメムシ類の発生及び目立つ病害虫	15
9月13日	①水稲の生育状況 ②水稲の倒伏について ③穂いもちの発生状況 ④早生品種の斑点米等の被害粒の発生状況 ⑤水稲での目立った病害虫 ⑥豆類でのハスモンヨトウ、白変葉及び子実害虫の発生状況 ⑦その他作物の目立つ病害虫	15
11月2日	①水稲について（1等米比率、斑点米の発生状況等） ②今年度地域で問題となった病害虫及び指導・対応状況 ③防除所からの情報利用について ④その他（防除所への要望、研修会のテーマ等）	18

(III) 協力員研修の概要

植物防疫セミナーへ参加願ひ、病害虫の発生状況等の研修を実施した。

- (1) 開催日 平成25年2月26日
- (2) 参加者 15名
- (3) 内 容

- ① 一般講座
 - ・平成24年の病害虫等発生状況について
 - ・近年問題となっている病害虫の発生と防除対策について
 - ①斑点米カメムシ類や鳥獣害の被害を防ぐための農地管理
 - ②コバネイナゴの発生が水稲の生育および収量に与える影響
- ② 特別講演
 - ・合成フェロモンによる害虫防除について

Ⅶ 会議、打合せ・研修の実施等

1 植物防疫に関する会議等

会 議 名	開 催 日	開 催 場 所
植物防疫企画会議	4月24日	京都府農林センター
林業薬剤等試験成績発表会	5月11日	飯田橋レインボービル(東京都)
農薬及び植物防疫担当者会議	6月27日	近畿農政局
東海・近畿地区植物防疫事業検討会	11月 29～30日	桜華会館(愛知県)
ウメ輪紋ウイルスの防除に関する対策会議	11月30日	東海農政局
NARO国際シンポジウム「イネウンカ類の殺虫剤抵抗性と媒介ウイルス病に関する最新研究」	12月 6～7日	福岡国際会議場(福岡県)
農薬現地適応性試験展示ほ成績検討会	12月11日	セントノーム京都
農薬適正使用に係る情報交換会	12月12日	京都JA会館
発生予察の手法検討委託事業成績検討会	12月 13～14日	南青山会館(東京都)
近畿ブロック病害虫防除所長会議	1月17日	京都府公館
ウメ輪紋病に関する検討会	3月8日	神戸植物防疫所
農薬現地適応性試験展示ほ試験設計検討会	3月13日	セントノーム京都

2 植物防疫に関する講演・講義

講座・研修名及び講演タイトル	開 催 日	開 催 場 所	講師等
第94回関西病虫害研究会	5月24日	和歌山ビッグ愛	上山主査
第17回農林害虫防除研究会	6月15日	ホテルニューオー タニ長岡(新潟)	上山主査
営農指導員認定研修会講師	8月29日	京都JA会館	上山主査
第24回日本環境動物昆虫学会	11月17日	名古屋大学	上山主査
農業大学校1年生講義	5月23日 9月6日 9月10日 11月19日 1月25日	農業大学校	橋本主研 灰方主研・ 上山主査 鴨志田副査 灰方主研 上山主査
農薬管理指導士養成研修会講師	2月8日	京都府庁	灰方主研 上山主査
太秦農事研究会講師	2月14日	JA京都市太秦支部	橋本主研

近畿中国四国農業試験研究問題別研究会（病虫害分科会）	3月 5～6日	福山市生涯学習プラザ（広島県）	上山主査 鴨志田副査
第57回日本応用動物昆虫学会大会	3月29日	日本大学生物資源科学部本館（神奈川県）	上山主査 鴨志田副査

3 職員の研修

月 日	研 修 名	主 催	開催場所	受 講 者
9月4日 ～5日	「果樹の病虫害防除技術研修」研修（普及指導員等研修）	農林水産省	果樹研究所	橋本主研
10月24日 ～26日	「野菜の難防除病虫害のIPM技術」研修（普及指導員等研修）	農林水産省	野菜茶業研究所	灰方主研
2月27日	近畿地区研修会	植物防疫 全国協議会	神戸植物防疫所	天野所長 橋本主研 鴨志田副査

Ⅷ 普及センター等との連携の推進

1 植物防疫セミナーの開催

I P M（総合的病害虫・雑草制御技術）を推進するため、農薬の適正な使用やフェロモン剤などを活用した防除に加え、近年問題となっている獣害の対策と連動した防除に関する知識を習得するため、植物防疫セミナーを開催した。

① 開催日 平成25年2月26日

② 参加者 45名（うち普及センター職員11名）

③ 内容

- ア 一般講座
 - ・平成24年の病害虫等発生状況等について
 - ・近年問題となっている病害虫の発生と防除対策について
（斑点米カメムシ類や野生獣の被害を防ぐための農地管理）
（コバネイナゴの発生が水稻の生育および収量に与える影響）
 - ・I P Mの実践について
- イ 特別講演
 - ・合成フェロモンによる害虫防除について

2 病害虫情報共有化シート

各農業改良普及センター、各研究所、農産課、研究普及ブランド課及び防除所等が病害虫発生状況の情報を共有化するとともに、発生予察会議の資料として活用するために、行政支援システムの農林水産部本庁・地方機関共用フォルダーの防除所フォルダー内に病害虫情報共有化シートを設置した。24年度の書き込み件数は下表のとおりである。

	各普及センター							研究機関		合計
	京都乙訓	山城北	山城南	南丹	中丹東	中丹西	丹後	農林セ園芸部	丹後農研	
4月	0	0	0	4	0	0	1	0	0	5
5月	0	0	0	9	0	0	12	0	1	22
6月	1	0	0	8	3	0	4	0	0	16
7月	0	3	0	9	3	0	11	0	0	26
8月	0	0	0	5	3	0	9	14	0	31
9月	0	0	0	5	0	0	13	0	0	18
10月	0	0	0	5	0	0	7	0	0	12
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12～3月	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4

3 調査速報

巡回調査終了直後に、巡回調査ほ場を所管する各農業改良普及センター、各研究所及び本庁関係課に、主立った病害虫の発生状況等を調査速報として7月までメール配信し、調査結果の速やかな活用に努めた。

8月から10月までは、より一層速やかな情報発信を行うため、予め月毎の重点作物、主たる病害虫を選定し、巡回調査日毎に行政支援システムの農林水産部本庁・地方機関共用フォルダーの防除所フォルダー内に保存した。

参 考 資 料

IPM実践指標 施設トマト(基本7管理ポイント)

管理項目		管理ポイント	点数	チェック欄				
				昨年度の実施状況	今年度の実施目標	今年度の実施状況		
1	病害虫・雑草の発生しにくい環境の整備	健全苗の確保	病害虫の寄生していない苗を確保する。育苗時の病害虫発生状況・薬剤散布歴を確認する。	1点				
2		ほ場の選択と改善	設置時には水はけの良い場所を選択する。水はけが悪い場合は排水対策を行う。	1点				
3		栽培ほ場周辺の管理	施設内への雑草種子の持ち込みを防ぎ、雑草を発生源とする害虫の施設内への飛び込みを抑制するため、周辺の雑草防除に努める。	1点				
4		施設内への害虫侵入防止措置	対象害虫:コナジラミ類、アザミウマ類、ハモグリバエ類、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、タバコガ類	防虫ネットの設置(0.4~1.0mm目合い)。	1点			
5		病害虫発生予察情報等の確認	病害虫防除所が発表する発生予察情報入手し、確認する。また、フェロモントラップ等を用いて地域で予察を行っている場合には、その情報を入手する。	1点				
6		病害虫防除の要否の判断	対象害虫:コナジラミ類、アザミウマ類、ハモグリバエ類	防除判断の基準:粘着トラップを利用し、コナジラミ類、アザミウマ類、ハモグリバエ類の発生動向を把握する。誘殺数が増加傾向を示した場合には防除を行なう。	1点			
7		その他	収穫後残渣の処理	収穫後残渣は病害虫の発生源となるため、早めに処分する。	1点			

・農薬の適正使用は管理項目以外の基本事項。

IPM実践指標 施設トウガラシ(基本5管理ポイント)

管理項目		管理ポイント	点数	チェック欄			
				昨年度の実施状況	今年度の実施目標	今年度の実施状況	
1	病害虫・雑草の発生しにくい環境の整備	健全苗の確保	病害虫の寄生していない苗を確保する。育苗時の病害虫発生状況・薬剤散布歴を確認する。	1点			
2	病害虫・雑草の発生しにくい環境の整備	施設内への害虫侵入防止措置	対象害虫:コナジラミ類、アザミウマ類、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、タバコガ類 防虫ネットの設置(0.4~1.0mm目合い)。	1点			
3	防除要否・タイミングの判断	病害虫発生予察情報等の確認	病害虫防除所が発表する発生予察情報を入力し、確認する。また、フェロモントラップ等を用いて地域で予察を行っている場合には、その情報を入力する。	1点			
4	防除要否・タイミングの判断	病害虫防除の要否の判断	対象害虫:コナジラミ類、アザミウマ類 防除判断の基準:粘着トラップを利用し、コナジラミ類、アザミウマ類の発生動向を把握する。誘殺数が増加傾向を示した場合には防除を行なう。	1点			
5	その他	収穫後残渣の処理	収穫後残渣は病害虫の発生源となるため、早めに処分する。	1点			

・農薬の適正使用は管理項目以外の基本事項。

IPM実践指標 施設キュウリ(基本7管理ポイント)

管理項目		管理ポイント	点数	チェック欄		
				昨年度の実施状況	今年度の実施目標	今年度の実施状況
1	病害虫・雑草の発生しにくい環境の整備	健全苗の確保	病害虫の寄生していない苗を確保する。育苗時の病害虫発生状況・薬剤散布歴を確認する。	1点		
2		ほ場の選択と改善	設置時には水はけの良い場所を選択する。水はけが悪い場合は排水対策を行う。	1点		
3		栽培ほ場周辺の管理	施設内への雑草種子の持ち込みを防ぎ、雑草を発生源とする害虫の施設内への飛び込みを抑制するため、周辺の雑草防除に努める。	1点		
4		施設内への害虫侵入防止措置	対象害虫:コナジラミ類、アザミウマ類、ハモグリバエ類、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、タバコガ類	防虫ネットの設置(0.4~1.0mm目合い)。	1点	
5	防除要否・タイミングの判断	病害虫発生予察情報等の確認	病害虫防除所が発表する発生予察情報を入力し、確認する。また、フェロモントラップ等を用いて地域で予察を行っている場合には、その情報を入力する。	1点		
6		病害虫防除の要否の判断	対象害虫:コナジラミ類、アザミウマ類、ハモグリバエ類	防除判断の基準:粘着トラップを利用し、コナジラミ類、アザミウマ類、ハモグリバエ類の発生動向を把握する。誘殺数が増加傾向を示した場合には防除を行なう。	1点	
7	その他	収穫後残渣の処理	収穫後残渣は病害虫の発生源となるため、早めに処分する。	1点		

・農薬の適正使用は管理項目以外の基本事項。

平成24(2012)年半旬別気象集計表・グラフ

平 年 値

最高・最低気温、降水量 …1981～2010年の平均値

〃

平均気温 …1993～2010年の平均値

京都府農林センター(亀岡市)

〃

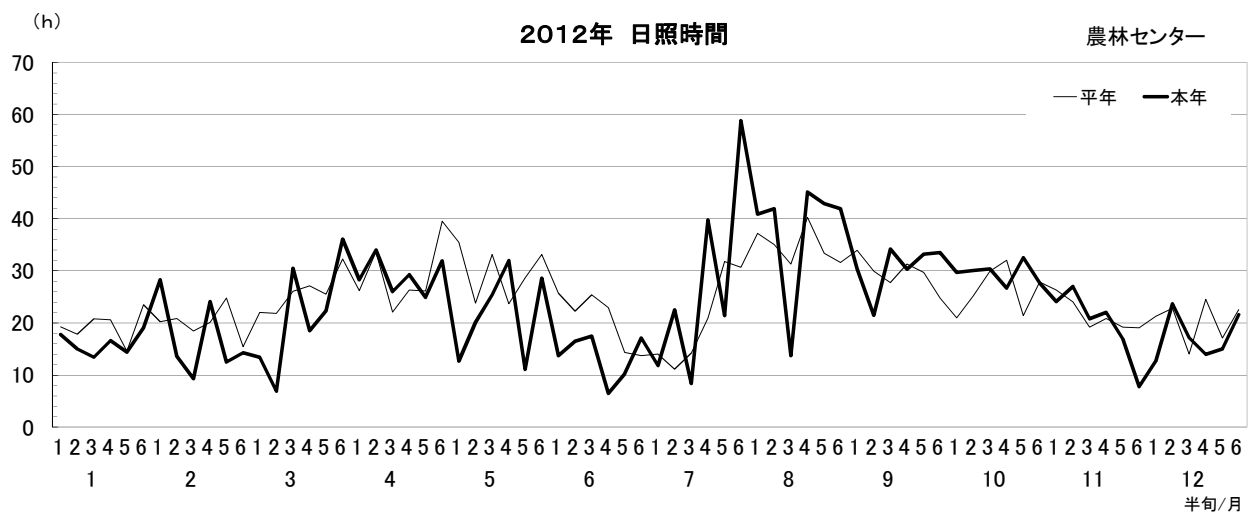
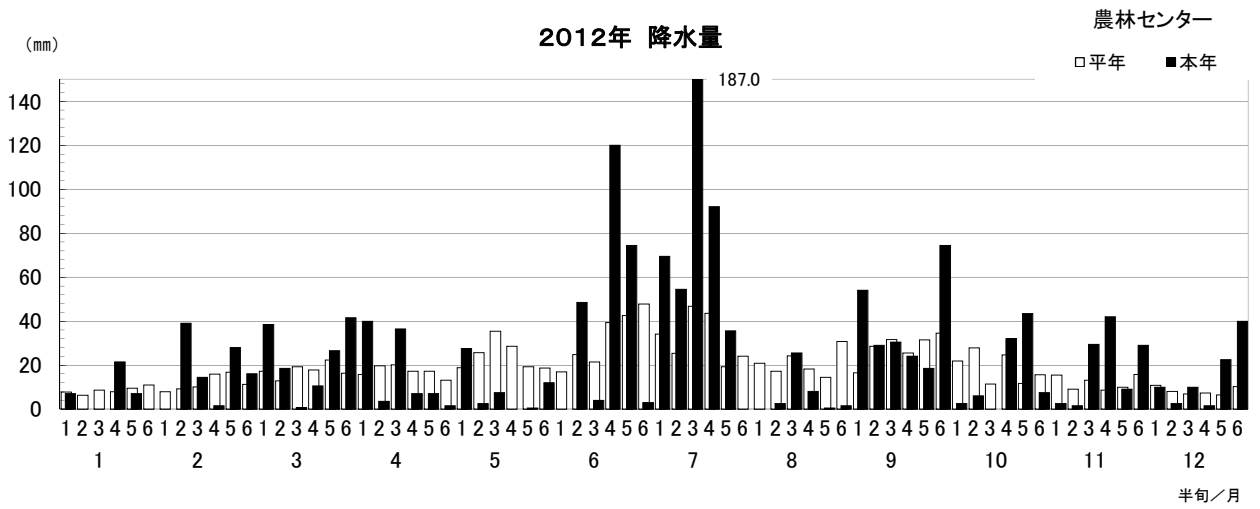
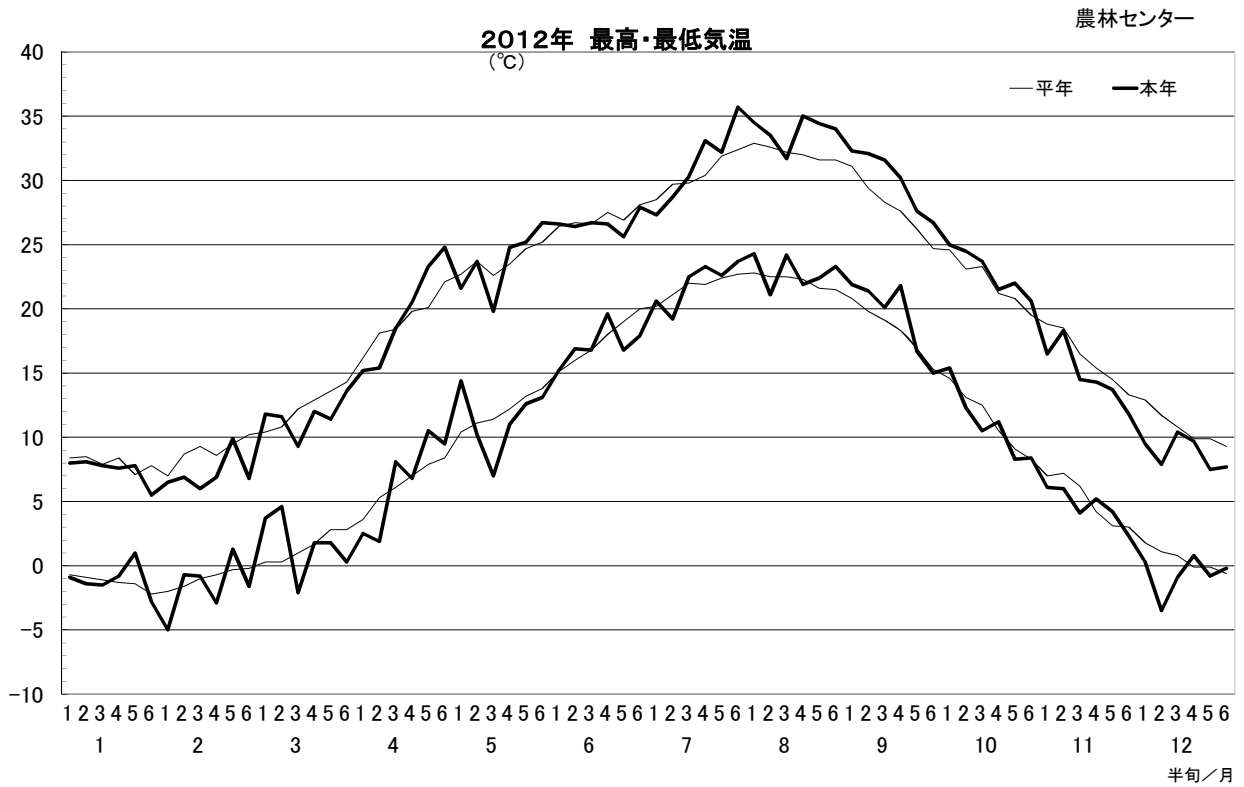
日照時間 …2005～2010年の平均値

月	半旬	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
1	1	8.0	8.4	-0.9	-0.7	2.7	3.5	7.0	7.8	17.8	19.2
	2	8.1	8.5	-1.4	-0.9	2.3	3.2	0.0	6.3	15.0	17.8
	3	7.8	7.9	-1.5	-1.1	2.1	3.5	0.0	8.6	13.4	20.8
	4	7.6	8.4	-0.8	-1.3	3.3	3.5	21.5	7.9	16.6	20.6
	5	7.8	7.1	1.0	-1.4	3.8	2.6	7.0	9.5	14.4	14.6
	6	5.5	7.8	-2.8	-2.2	0.7	2.7	0.0	11.0	19.1	23.5
平均・計		7.4	8.0	-1.1	-1.3	2.4	3.2	35.5	51.2	96.3	116.6
2	1	6.5	7.0	-5.0	-2.0	0.5	2.2	0.0	7.9	28.3	20.3
	2	6.9	8.7	-0.7	-1.6	3.1	3.4	39.0	9.2	13.6	20.8
	3	6.0	9.3	-0.8	-1.0	2.3	3.8	14.5	10.1	9.3	18.5
	4	6.9	8.6	-2.9	-0.7	0.9	3.7	1.5	16.0	24.1	20.1
	5	9.9	9.5	1.3	-0.3	5.8	4.9	28.0	16.8	12.5	24.8
	6	6.8	10.2	-1.6	-0.2	2.4	5.1	16.0	11.2	14.3	15.5
平均・計		7.2	8.8	-1.6	-1.0	2.5	3.8	99.0	71.3	102.1	119.9
3	1	11.8	10.4	3.7	0.3	7.8	5.3	38.5	17.2	13.4	22.0
	2	11.6	10.8	4.6	0.3	8.2	5.8	18.5	12.8	6.9	21.8
	3	9.3	12.2	-2.1	1.0	2.6	6.3	0.5	19.2	30.5	26.1
	4	12.0	12.9	1.8	1.7	7.2	7.5	10.5	17.8	18.5	27.1
	5	11.4	13.6	1.8	2.8	6.6	8.0	26.5	22.3	22.3	25.5
	6	13.6	14.3	0.3	2.8	7.8	8.6	41.5	16.4	36.1	32.3
平均・計		11.7	12.4	1.6	1.5	6.7	7.0	136.0	105.8	127.7	154.8
4	1	15.2	16.2	2.5	3.6	8.3	9.4	40.0	15.8	28.3	26.2
	2	15.4	18.1	1.9	5.3	8.7	11.5	3.5	19.6	34.0	33.6
	3	18.5	18.4	8.1	6.1	12.6	12.2	36.5	20.2	26.0	22.1
	4	20.5	19.8	6.8	7.0	13.3	13.8	7.0	17.2	29.3	26.4
	5	23.3	20.1	10.5	7.9	16.7	14.4	7.0	17.2	24.9	26.1
	6	24.8	22.1	9.5	8.4	17.3	14.9	1.5	13.1	31.9	39.5
平均・計		19.6	19.1	6.6	6.4	12.8	12.7	95.5	103.1	174.4	173.9
5	1	21.6	22.7	14.4	10.4	17.7	17.3	27.5	18.9	12.7	35.5
	2	23.7	23.7	10.2	11.1	16.5	17.6	2.5	25.6	20.1	23.8
	3	19.8	22.6	7.0	11.4	14.1	16.9	7.5	35.5	25.4	33.1
	4	24.8	23.5	11.0	12.2	17.9	18.0	0.0	28.6	32.0	23.7
	5	25.2	24.7	12.6	13.2	18.0	19.0	0.5	19.3	11.1	28.7
	6	26.7	25.2	13.1	13.8	19.4	19.5	12.0	18.7	28.6	33.1
平均・計		23.7	23.8	11.4	12.1	17.3	18.1	50.0	146.5	129.9	177.9
6	1	26.6	26.4	15.2	15.1	20.6	20.3	0.0	16.9	13.7	25.7
	2	26.4	26.7	16.9	16.0	21.0	20.9	48.5	24.8	16.5	22.3
	3	26.7	26.6	16.8	16.8	21.5	21.6	4.0	21.4	17.5	25.4
	4	26.6	27.5	19.6	18.0	22.9	22.8	120.0	39.4	6.5	22.9
	5	25.6	26.9	16.8	19.0	20.5	22.8	74.5	42.6	10.2	14.4
	6	27.9	28.1	17.9	20.0	22.6	24.3	3.0	47.7	17.1	13.7
平均・計		26.6	27.0	17.2	17.5	21.5	22.1	250.0	192.8	81.5	124.4

日照時間は2005年4月以降太陽電池式で測定

京都府農林センター(亀岡市)

月	半旬	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
7	1	27.3	28.5	20.6	20.2	23.5	24.8	69.5	34.1	11.8	14.0
	2	28.7	29.7	19.2	21.1	23.5	25.2	54.5	25.4	22.5	11.2
	3	30.3	29.8	22.5	22.0	26.2	25.8	187.0	46.8	8.4	14.2
	4	33.1	30.4	23.3	21.9	27.8	25.6	92.0	43.6	39.8	20.9
	5	32.2	31.9	22.6	22.4	26.3	27.0	35.5	19.3	21.4	31.8
	6	35.7	32.4	23.7	22.7	29.2	27.0	0.0	24.0	58.8	30.7
平均・計		31.4	30.5	22.0	21.7	26.2	25.9	438.5	193.1	162.7	122.9
8	1	34.5	32.9	24.3	22.8	29.1	27.8	0.0	20.9	40.9	37.2
	2	33.5	32.6	21.1	22.5	26.6	27.4	2.5	17.2	41.9	35.1
	3	31.7	32.2	24.2	22.5	27.1	27.0	25.5	24.2	13.7	31.3
	4	35.0	32.0	21.9	22.3	27.5	27.1	8.0	18.2	45.1	40.3
	5	34.4	31.6	22.4	21.6	27.7	26.0	0.5	14.5	42.9	33.4
	6	34.0	31.6	23.3	21.5	28.1	25.7	1.5	30.7	41.9	31.6
平均・計		33.9	32.1	22.9	22.2	27.7	26.8	38.0	125.7	226.4	208.8
9	1	32.3	31.1	21.9	20.8	25.5	25.1	54.0	16.5	30.4	33.9
	2	32.1	29.4	21.4	19.8	25.5	24.3	29.0	28.6	21.5	30.0
	3	31.6	28.3	20.1	19.1	24.6	23.5	30.5	31.7	34.2	27.7
	4	30.2	27.6	21.8	18.3	25.3	22.9	24.0	25.5	30.3	31.3
	5	27.6	26.2	16.7	16.9	21.3	21.3	18.5	31.6	33.2	29.7
	6	26.7	24.7	15.0	15.3	20.4	19.8	74.5	34.6	33.5	24.8
平均・計		30.1	27.9	19.5	18.4	23.8	22.8	230.5	168.4	183.1	177.4
10	1	25.0	24.6	15.4	14.6	19.8	19.3	2.5	21.9	29.7	21.0
	2	24.5	23.1	12.3	13.1	17.8	17.8	6.0	27.8	30.1	25.2
	3	23.7	23.3	10.5	12.5	16.4	17.6	0.0	11.4	30.4	29.9
	4	21.5	21.2	11.2	10.5	16.1	15.8	32.0	24.6	26.7	32.1
	5	22.0	20.8	8.3	9.1	14.0	15.0	43.5	11.7	32.5	21.4
	6	20.6	19.5	8.4	8.3	13.7	13.7	7.5	15.7	27.7	27.8
平均・計		22.8	22.0	10.9	11.3	16.2	16.4	91.5	113.1	177.1	157.4
11	1	16.5	18.8	6.1	7.0	10.8	12.3	2.5	15.5	24.1	26.3
	2	18.3	18.5	6.0	7.2	11.5	12.1	1.5	9.1	27.0	24.1
	3	14.5	16.5	4.1	6.2	9.5	11.5	29.5	13.2	20.8	19.2
	4	14.3	15.4	5.2	4.2	9.4	9.1	42.0	8.7	22.0	20.9
	5	13.7	14.5	4.2	3.1	8.0	8.1	9.0	9.9	16.9	19.2
	6	11.8	13.3	2.3	3.0	6.6	8.3	29.0	15.8	7.8	19.1
平均・計		14.9	16.2	4.7	5.1	9.3	10.2	113.5	72.3	118.6	128.7
12	1	9.5	12.9	0.3	1.8	4.6	7.1	10.0	10.9	12.7	21.3
	2	7.9	11.7	-3.5	1.1	2.0	5.7	2.5	8.0	23.7	22.8
	3	10.4	10.8	-0.9	0.8	3.9	5.4	10.0	6.8	17.2	14.0
	4	9.7	9.9	0.8	-0.1	5.0	4.5	1.5	7.4	14.0	24.6
	5	7.5	9.9	-0.8	-0.1	3.1	4.1	22.5	6.5	15.0	17.1
	6	7.7	9.3	-0.2	-0.6	3.7	3.6	40.0	10.2	21.6	22.6
平均・計		8.7	10.7	-0.7	0.4	3.7	5.0	86.5	49.8	104.2	122.4
年平均・計		19.9	19.9	9.4	9.5	14.2	14.5	1664.5	1393.1	1684.0	1785.1



月	半旬	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
1	1	6.7	8.0	-0.6	0.6	3.0	4.2	53.0	35.6	5.3	8.0
	2	7.6	8.2	0.1	0.0	3.9	4.0	21.5	40.4	6.5	9.0
	3	6.1	7.2	0.7	0.1	3.4	3.6	31.0	46.6	2.7	6.8
	4	8.4	7.7	0.5	-0.3	4.5	3.7	13.5	38.2	7.0	9.6
	5	6.4	6.6	0.6	-1.1	3.5	2.7	115.5	38.7	5.3	8.2
	6	2.9	7.0	-1.9	-1.1	0.5	2.9	80.0	49.4	1.4	11.9
平均・計		6.2	7.4	-0.2	-0.3	3.0	3.5	314.5	248.9	28.2	53.5
2	1	4.4	6.3	-3.9	-1.2	0.3	2.5	27.0	31.2	10.1	8.2
	2	5.1	7.8	-2.9	-1.0	1.1	3.4	59.5	29.2	2.3	12.5
	3	4.5	8.3	-1.6	-0.2	1.5	4.0	13.0	27.8	2.6	12.7
	4	4.8	7.9	-3.9	-0.4	0.4	3.7	31.0	29.6	15.5	11.2
	5	8.0	8.4	-1.4	-0.1	3.3	4.2	13.5	33.4	12.8	14.5
	6	4.8	9.1	-1.7	-0.2	1.5	4.4	10.0	16.5	6.0	9.8
平均・計		5.3	7.9	-2.6	-0.5	1.3	3.7	154.0	167.6	49.3	68.8
3	1	8.9	9.5	0.0	0.3	4.5	5.0	41.0	23.2	13.0	14.7
	2	11.0	10.0	1.7	0.4	6.4	5.2	4.5	20.9	4.8	17.3
	3	8.0	11.6	-2.4	0.8	2.8	6.3	8.5	20.1	22.2	19.7
	4	11.8	12.2	1.8	1.9	6.8	7.0	13.0	21.3	12.5	19.9
	5	9.4	12.7	0.9	2.3	5.2	7.5	47.0	26.0	10.6	18.6
	6	14.8	13.3	1.5	2.5	8.2	7.9	25.5	23.2	31.7	25.1
平均・計		10.8	11.6	0.6	1.4	5.7	6.5	139.5	134.7	94.8	115.2
4	1	14.1	15.0	1.1	3.0	7.6	9.0	17.0	17.8	21.1	26.2
	2	15.0	17.1	2.5	4.7	8.7	10.9	17.0	21.4	30.9	25.6
	3	17.2	16.9	6.5	5.3	11.8	11.1	19.0	21.6	24.4	23.8
	4	18.2	18.8	5.4	6.2	11.8	12.5	3.5	17.7	26.3	29.6
	5	22.1	19.3	10.4	7.2	16.3	13.3	9.0	17.8	28.7	26.9
	6	24.0	21.2	7.7	7.3	15.9	14.2	3.5	12.0	32.0	32.6
平均・計		18.4	18.0	5.6	5.6	12.0	11.8	69.0	108.4	163.4	164.7
5	1	20.5	21.6	13.6	9.1	17.1	15.4	71.0	18.4	17.1	28.2
	2	21.9	22.8	9.1	9.9	15.5	16.3	3.0	22.9	23.1	29.3
	3	18.2	21.5	7.7	10.6	13.0	16.1	16.0	34.5	17.8	25.5
	4	23.1	22.4	10.4	11.3	16.7	16.9	8.5	25.4	30.4	26.3
	5	22.9	23.2	10.7	12.1	16.8	17.7	7.0	18.0	16.6	28.7
	6	23.9	24.0	10.7	12.6	17.3	18.3	1.5	17.3	40.3	33.3
平均・計		21.8	22.6	10.4	11.0	16.1	16.8	107.0	136.6	145.3	171.3
6	1	24.8	24.9	13.7	13.5	19.2	19.1	0.0	14.7	16.4	29.6
	2	24.8	25.1	16.1	14.6	20.5	19.8	41.5	16.5	21.1	24.1
	3	25.9	25.6	16.7	15.4	21.3	20.5	0.5	19.8	23.4	23.3
	4	24.9	26.4	18.3	16.7	21.6	21.5	87.5	26.3	5.0	22.0
	5	23.3	26.1	15.6	17.6	19.5	21.8	15.5	41.1	15.2	15.5
	6	27.9	26.8	16.2	18.5	22.1	22.6	5.5	40.4	31.7	15.5
平均・計		25.3	25.8	16.1	16.0	20.7	20.9	150.5	158.9	112.8	130.0

日照時間は2005年4月以降太陽電池式で測定

月	半旬	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
7	1	26.7	27.5	19.5	19.3	23.1	23.3	70.5	35.8	8.5	17.3
	2	28.1	28.6	18.4	19.8	23.2	24.1	31.5	31.0	21.8	20.0
	3	31.1	28.9	23.2	20.8	27.2	24.8	16.5	45.4	16.2	14.8
	4	33.3	29.4	22.7	20.7	28.0	25.0	15.5	40.0	43.5	23.3
	5	31.1	30.8	22.3	21.3	26.7	26.0	0.0	23.9	34.8	30.2
	6	34.2	31.2	22.7	21.8	28.5	26.4	1.0	19.7	57.4	36.3
平均・計		30.9	29.5	21.5	20.7	26.2	25.0	135.0	195.8	182.2	141.8
8	1	35.3	31.6	22.1	21.9	28.7	26.7	0.0	21.6	55.9	35.0
	2	31.0	32.1	20.9	21.9	25.9	26.9	10.5	15.8	42.9	33.5
	3	32.7	31.5	23.9	21.9	28.3	26.7	51.0	17.2	20.8	29.8
	4	34.6	31.4	23.4	21.6	29.0	26.4	4.5	21.1	50.8	31.3
	5	35.3	30.8	22.1	21.0	28.7	25.8	0.0	31.4	52.3	28.1
	6	34.1	30.5	23.0	20.7	28.6	25.6	1.0	24.2	38.8	35.5
平均・計		33.8	31.3	22.6	21.5	28.2	26.3	67.0	131.2	261.5	193.2
9	1	30.5	29.5	20.9	20.0	25.7	24.7	23.0	27.7	28.2	28.5
	2	30.2	28.0	21.9	18.9	26.1	23.4	24.5	34.8	16.4	20.2
	3	30.8	27.2	19.8	18.2	25.3	22.6	62.0	38.1	30.6	20.3
	4	29.3	26.9	21.1	17.4	25.2	22.1	29.0	37.5	26.0	22.3
	5	25.6	25.5	16.9	16.0	21.3	20.7	29.5	36.4	27.7	18.4
	6	25.3	23.9	15.5	14.5	20.4	19.2	45.0	35.6	21.9	17.9
平均・計		28.6	26.8	19.4	17.5	24.0	22.1	213.0	210.1	150.8	127.6
10	1	24.2	23.9	14.9	14.0	19.5	18.9	95.0	24.9	21.2	19.4
	2	23.0	22.5	12.0	12.4	17.5	17.4	52.0	29.2	14.2	20.1
	3	22.7	22.5	10.0	11.8	16.3	17.1	3.0	25.2	28.3	21.9
	4	21.0	20.8	10.8	10.1	15.9	15.3	53.0	32.8	24.2	22.3
	5	22.1	20.1	8.5	8.6	15.3	14.3	32.0	18.7	35.7	21.9
	6	20.1	19.3	8.3	8.2	14.2	13.7	25.0	30.1	25.9	24.0
平均・計		22.1	21.4	10.7	10.8	16.4	16.0	260.0	160.9	149.5	129.6
11	1	16.5	18.3	7.3	7.2	11.9	12.7	5.5	29.4	12.9	18.7
	2	17.2	18.0	7.8	7.6	12.5	12.4	10.5	25.1	13.2	18.6
	3	14.9	16.3	5.4	6.7	10.1	11.1	41.5	28.1	11.0	13.8
	4	14.7	14.7	6.3	5.3	10.5	10.0	45.5	29.4	19.5	13.6
	5	13.6	14.4	2.5	4.0	8.1	9.1	9.0	28.7	15.0	14.4
	6	11.3	13.0	3.7	4.4	7.5	8.7	45.5	41.0	5.0	10.8
平均・計		14.7	15.8	5.5	5.9	10.1	10.7	157.5	181.6	76.6	90.0
12	1	10.1	13.0	1.2	2.8	5.7	7.8	12.0	36.1	9.5	13.4
	2	6.3	12.0	-0.1	2.4	3.1	7.1	68.0	35.7	3.7	12.7
	3	8.5	10.8	-0.6	1.9	4.0	6.4	39.0	44.9	15.7	9.9
	4	9.5	9.9	2.3	1.1	5.9	5.4	46.5	35.1	4.7	10.4
	5	6.7	9.9	-2.8	1.1	1.9	5.5	60.5	32.3	4.9	9.6
	6	6.6	9.4	-2.1	0.6	2.3	5.0	59.5	46.2	6.8	11.3
平均・計		7.9	10.8	-0.4	1.6	3.7	6.2	285.5	230.4	45.3	67.4
年平均・計		19.9	19.9	9.4	9.5	14.2	14.5	2052.5	1393.1	1459.7	1785.1

